

Master Modelers

Vol.47

タミヤ1/72
フォッケウルフFw190 A-3
ハセガワ1/48
A6M2-K零式練習戦闘機——型
ファインモールド1/48
陸軍一式戦闘機“隼”2型甲

J.S.D.F.の翼たち

The Wings of Japanese Self Defence Force

AIR特集

■タミヤ1/32改造 航空自衛隊三菱F-2A支援戦闘機
■ハセガワ & NMC改造 1/72 川崎P-2Jネプチューン
VAMPIRE IN KAMPFGRUPPE
■タミヤ1/35 半バイア・イン・カンフグループ
■AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/20 Ausf.D ウーバー
■タミヤ & プラモデル改造 1/35 キューベルワーゲン 増設武装搭載型
■イタレリ & NMC改造 1/35 4WD 赤外線増設武装搭載型
■AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/22 赤外線増設武装搭載型
■AFVクラブ1/35 PaK40 赤外線増設武装搭載型
■AFVクラブ1/35 WWIIIドイツ軍夜間戦闘車両
■Sd.Kfz.251/1 Ausf.D フォルク

■ハセガワ1/48 F-104J スターファイター
■ハセガワ1/48 RF-4E ファントムII

タミヤ1/35 チャレンジャー2 イラスト仕様
トランベッター1/35 M1126 トラック
T-34/85 ベッドスプリングアーチ砲台型
戦車博物館のT-34/85中戦車のデカール写真

読者には何れも転載を禁ずる





アメリカ 2 1/2 トン 6x6 カーゴトラック

《新発売》1,890円(本体価格1,600円) 写真の飛行機、アクセサリーは含まれません。

1/48世界の広がり 想像力を喚起する

多彩なアイテムが続々登場する1/48MMシリーズ

ミリタリーモデルの開拓地とも言える1/48スケールを舞台に積極的な展開を進めている1/48MMシリーズ。各国の戦車はもちろん、支援車両や兵士の人形セットもますます充実しています。今月は第二次大戦中に80万台以上が生産されて連合軍の勝利を支えたカーゴトラックが登場。GI道から脱した新しい姿は情景設定の幅を大きく広げます。重量感あるダイキャストシャーシはもちろん、看板式のキャンバスストップや開閉式のリヤゲートが様々なシチュエーションに対応。さらに飛行機モデルの充実する1/48だけに、飛行場での情景や不時着した機体との遭遇など、これまで試みられることの少なかったドラマチックなシーンへの挑戦も楽しみです。多彩なアイテムに想像力が大いに刺激され、1/48ならではの傑作が生まれることでしょう。



戦車や重機を整備したり砲弾を搭載するなど、使い勝手のよいポーズのドイツ戦車兵8体と歩兵1体に加え、各種工具や作業機、脚立、さらにタイガーIを格闘とする戦車4体の砲弾や砲弾本箱など豊富なアクセサリーをセット。人形のポーズを揃めているだけで情景イメージが広がります。

WWIIドイツ戦車兵野戦整備セット 《新発売》945円(本体価格900円) 全長15cm



重装甲で知られるソ連のKV-1重戦車にさらに装甲板を取り付けた増加装甲型が追加されます。増加装甲板はスペースドアーマーの構造から六角ボルトの形状までリアルに再現。砲塔のスローガンなどデカール4種類をセットして、車体に増加装甲を持たないタイプも選べます。

ソビエト KV-1重戦車(増加装甲型) 《新発売》2,100円(本体価格2,000円)

魅力あふれる1/48MMアイテムが数多く開発進行中!

これ以外にも各国の魅力あふれる軍用車種を1/48スケールで数多く開発進行中。5月19日、20日に開催された静岡ホビーショーでは最新アイテムを発表・展示。クルセーダー Mk.IIIの車体に独特な形状のオーブントップ砲塔を搭載したクルセーダー Mk.III 対空戦車 Mk.IIIは個性的なシルエットが斬新。あらゆる戦線で幅広い任務に使われたドイツ軍の傑作軍用車シュタイアー 1500A/01は情景作りにかかせない一台です。ミリタリーファンの注目の的となり、今後のシリーズ展開に期待が高まりました。



TAMIYA SHOP ONLINE ネットでかんたんショッピング。充実したラインナップの中からお選びください。

tamiyashop.jp

●価格はすべてメーカー希望小売価格です。●掲載されているモデルはすべてキットを組立て、塗装したものです。●写真は実際の商品と仕様が異なる場合があります。

タミヤ・カスタマーサービス タミヤ製品についてのお問い合わせなど、お気軽にご相談ください。また、お近くの税関取扱店もご案内しています。

TEL054-283-0003(静岡) 03-3899-3765(東京) 受付時間: 平日・8:00~20:00 土、日、祝日・8:00~17:00

株式会社タミヤ 〒422-8810 静岡県駿河区新田3-7 ●最新情報はタミヤのホームページで [www.tamiya.com]

1/48 Military Miniature Series



MISSION MODELS

GREAT TOOLS BUILD GREAT MODELS

NEW!
ETCH MATE 3C



New Lower
Suggested Retail Price!
\$59.99

ETCH MATE 3C

- New 3 Clamp system for additional gripping pressure when you need it!
- New high tech composite material replaces low-tech aluminum
- Exclusive folding channel
- 360-degree reversible spring-loaded folding head
- Non-reflective surface
- 6 1/2 x 3 1/2 unobstructed work surface
- Pre-assembled, with folding blade and instructions
- Create straight square foolproof folds each and every time
- Quick efficient photo etch alignment
- All surfaces utilized for folding
- Excellent for all aspects of scale modeling
- Works with all scales
- 90 day guarantee against manufacturing defects!
- 100% made in the USA**

MICRO CHISEL

- Machined stainless steel handle with rubber grip
- Razor sharp machined stainless steel 2mm chisel tip
- Removes seam lines, flash, and details without marring surface
- Sculpt in wood, plaster, or modeling putty
- Cuts through plastics, resins, epoxies, white metal, and much more!
- Additional interchangeable tips sets available:
- MIO-10: 1mm tip set
- MIO-11: 2mm tip set
- MIO-12: Panel scribing tip set for square panel lines



GRAB HANDLER

- Constructed from machined carbon steel
- Black Oxide anodized finish
- Laser marked in both inches and millimeters
- Quick and easy to use
- Bends brass, music wire, flat stock, and more
- Create consistent perfect sized grab handles, grab irons, and Z bends every time
- Ideal for all aspects of scale modeling:
- Military, Railroad, Automotive, Ship Railings, and much more!



請勿以任何形式轉載至商業用途



WWW.MISSION MODELS.COM

LOG-ON TODAY AND START BUILDING YOUR NEXT PROJECT TOMMORROW

AVAILABLE IN JAPAN FROM: **WWW.MSMODELS.JP**

M.S.MODELS

email: msmodels@soleil.ocn.ne.jp
Phone: 029-276-7858
Fax: 029-276-7858

WE STOCK:

ACCURATE ARMOUR • MODEL VICTORIA • IWATA AIRBRUSHES • VALLEJO • MINIARM • MASTER PRODUCTIONS • DRAGON • TAMIYA • BRACH MODEL • PANZERSHOP • CROMWELL MODELS
ALL AT COMPETITIVE PRICES!

最高の筆だけが、 最高の作品を作る。

W&N シリーズ7筆 ミニチュア(短毛)——

通常の丸筆よりも根元をやや太く、穂先を短くすることにより、筆先の精密なコントロールをよりしやすくしたシリーズです。

① No.0 短毛タイプ

短毛独特の鋭くエッジの効いた描き心地と、たっぷりした含みの良さを両立させたスタンダード。短毛の個性を知るには、こちらからが始め。

② No.00 短毛タイプ

通常タイプのNo.000と似たタイプながら、やしなりの少ない、鋭角的なエッジが描きやすい番手です。No.000 短毛よりも含みがよく、人気を二分。

③ No.000 短毛タイプ

シリーズ7筆の中でも最も細かい作業がこなせる「超極細」。1/35スケール以下のフィギュアなど、ディテールの描き込みに効果を発揮します。

④ No.2 短毛タイプ

No.1 短毛よりもさらに余裕の含みを持ち、鋭いエッジを描きながらある程度の塗りを塗りつぶすのに威力を発揮。筆オナーの仕上げには必須。

⑤ No.1 短毛タイプ

余裕の含みと鋭い穂先、しなりの少なさでシャープな塗り分け線のフリーハンド描画が可能。航空機モデルのキャノピーなどに好適です。

W&N シリーズ7筆 スタンダード(通常毛)——

潤沢な塗料の含み、しなやかなコシと柔軟性、針のような穂先の揃いを兼ね備えた最高品質の細筆シリーズです。

⑥ No.2

筆塗りオンリーでの仕上げには欠かせない番手です。半端な平筆などが必要なくなる、潤沢な含みとタッチの絶妙さでファンの多い逸品。

⑦ No.1

さらに含みの良いスタンダード。塗装のみならず、このへんの番手を様々な作業に転用すると劇的な精密作業が可能になります。毛も耐久性抜群。

⑧ No.0

穂先はあくまで鋭く、太さもちょうど良いスタンダード番手。シリーズ7の入門には、これがNo.1が最もお薦めです。

⑨ No.00

No.000や短毛タイプよりも含みとしなやかさに秀で、やわらかなラインが描きに際する細筆の黄金定番。あらゆる「細かい仕事」に適します。

⑩ No.000

「点」の描写を短毛タイプの仕事とすれば、こちらは「線」を最も細かに描く「超極細」。フィギュアに髪の毛の一本一本が描き分けられる番手です。

このスタンドが目印。

ウィンザー&ニュートン シリーズ7 筆

好評発売中

① No.2 (短毛タイプ)	軸径: 1.8mm・全長: 178mm	¥1,325(税別)
② No.1 (短毛タイプ)	軸径: 1.5mm・全長: 174mm	¥1,302(税別)
③ No.0 (短毛タイプ)	軸径: 1.2mm・全長: 172mm	¥1,260(税別)
④ No.00 (短毛タイプ)	軸径: 0.7mm・全長: 175mm	¥1,228(税別)
⑤ No.000 (短毛タイプ)	軸径: 0.4mm・全長: 175mm	¥1,197(税別)
⑥ No.2	軸径: 1.8mm・全長: 184mm	¥1,869(税別)
⑦ No.1	軸径: 1.1mm・全長: 180mm	¥1,459(税別)
⑧ No.0	軸径: 0.6mm・全長: 177mm	¥1,333(税別)
⑨ No.00	軸径: 0.4mm・全長: 177mm	¥1,270(税別)
⑩ No.000	軸径: 0.2mm・全長: 177mm	¥1,218(税別)

英ウィンザー&ニュートン代理店
有限会社 トライスター・ジャパン

ウィンザー&ニュートン シリーズ7 筆は全国の模型店などでお求めください。

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-1 三善堂ビル6F
TEL/FAX: 03-3233-0045
URL: <http://www.tristarj.sakura.ne.jp/>
E-MAIL: tristar-japan@bi.wakwak.com

"Choi" Mode New Kits Review!!

シークレットアイテムは飛燕I型丙! IV号F2(G)型、IV号弾薬運搬車、III号N型“ちょい”モデ・キットレビュー!!

ハセガワ1/32 川崎キ61 三式戦闘機 飛燕 I型丙

静岡ホビーショーにおけるハセガワ会場発表新製品は、待望の三式戦闘機 飛燕! 内容も充実、1/32日本戦闘機にぽっかりと空いたスペースを埋める、喜ばしいサプライズ!

■ハセガワ1/32 川崎キ61 三式戦闘機 飛燕 I型丙 ■インジェクションキット ■予定4410円 ○ハセガワ

“会場発表・旧日本陸軍戦闘機”の解答はコレ!



Now Printing!



真ちゅう製“飛燕I型用機銃セット”(予価1050円)も同時発売。



コクピット周辺部はパーツ数は少ないが十分な再現度。



胴体下部は別パーツ化され実機通りにダクトを形成。



大きく進歩したパイロットフィギュア。ヘッドはマスクあり/なし選択式。



尾輪は固定式だが基部は別パーツとなっている。

さまざまな推測を呼んでいたハセガワ1/32新製品は三式戦 飛燕。レベルの1/32キットが約10年も前に店頭から姿を消したため、世界中のファンが待っていたキット。モデルは機首の短いI型丙だが、パーツ構成から甲/乙型のバリエーション展開も容易なはず。

ちょいモデはテストショットを組み立て。モールドは凹スジ彫りに加え、数や深さが控え目なリベットも入っている。工作は簡単でインスト無しで組み立てできるほど。コクピットやラジエーター部の再現も申し分ない。デカールは244戦隊の小林少佐機が用意されるが、初回特典として1/32小林源蔵大尉フィギュアが付属するものうれしい。

永い空白の時間を埋めて余りある本キット、皆さんもぜひこの感動を味わって欲しい。6月中旬予定。[T]

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

ドラゴンモデル1/35 **ドイツIV号戦車Ausf.F2 (G)**

E型発表以来IV号戦車のバリエーションを展開してきたドラゴンモデルだが、F2 (G) 型では設計・監修者が変わり内容が全くの別物となり、決定版キットとして生まれ変わった！

■ドラゴンモデル1/35 ドイツIV号戦車Ausf.F2 (G) スマートキット ■インジェクションキット ■価格4515円 ○ハセガワ

長砲身IV号戦車のスマートな決定版！



従来のドラゴンモデルIV号シリーズは、足回りなどを中心に非常に細かくパーツ分割され、製作に手間のかかる内容だったが、このF2 (G) 型では再現度を落とさず部品数もうまく抑えられ、随所にユーザーを感動させるようなポイントが散りばめられている。特に車体後部下部のパネルの分割はまさに「目からウロコ」という感じで、これならばあらゆる型のIV号が出せる！と感心させられた。全くストレスもなく組みあがる。不要パーツを見る限り、G後期型も出すことを考えているようなので、ぜひぜひ期待したい！[MSK]

ホビーマスター1/48 **M4A3シャーマン戦車 75mm砲搭載型/105mm砲搭載型**

ホビーマスターは1/48や1/72の戦車や飛行機の完成品ブランドだが、今回のM4A3シャーマンでは車両だけではなくフィギュアや装備品を大量に付属したセットをリリース。1/48ジオラマにも流用できそう。

■ホビーマスター1/48 M4A3シャーマン戦車 75mm砲搭載型/105mm砲搭載型 ■完成品 ■価格 各4515円 ○インターアライド



バック入りのアクセサリ。これ以外にも装備パーツ満載の袋が付属。



これまでのシリーズでは車両とディスプレイケースのみという構成だったが、今回の製品では実車に見られるような前後部に予備履帯、木箱、弾薬箱、毛布などを満載した状態を再現できるよう、塗装済みのアクセサリが大量に同梱されている。また同じく塗装済みの米軍歩兵2体、戦車兵1体のフィギュアが付属しており、雰囲気を盛り上げてくれる。肝心のM4A3シャーマンの仕上がりも申し分ない。なお車両は75mm砲塔と105mm砲塔の2種類があるが、同梱されるアクセサリは同じである。

自分でカスタマイズする楽しみを味わうもよし、1/48ジオラマ派なら塗装済みのアクセサリを大量にゲットできるチャンスでもある。[T]



アクセサリ充実の完成品戦車！

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

トランベッター1/35 IV号F型弾薬運搬車

カール重自走臼砲の弾薬を運搬するために、IV号戦車をベースに改造されたのがこの車両。そんななんとも珍妙なレア車両を2種類全て出すトランベッターはすごい！

■トランベッター1/35 IV号F型弾薬運搬車(アルミ製付属) ■インジェクションキット ■価格6000円 ○インターアライド



トランベッターはすでにD/E型ベースの弾薬運搬車を出しているが、今回のキットはF型をベースとした車両。生産数としてはこちらのタイプがほとんどであったようである。といっても外観上の違いはそれほどあるわけでもないで、コンパチキットにしてもよかったんじゃないかという内容。製作に関してはやや手ごわい部分もある。エッチングパーツが大量に入っているが、代替のプラパーツも入っているのでユーザー側で選択できる。履帯も連結式プラとベルト式ゴムの2種類。ゴム履帯は前作から若干進化(?)し、焼き止めから瞬間接着剤で止められる素材に変更されている。クレーン用に付属するヒモは明らかに太すぎるので、もっと細いものに換えよう。前号11~18ページのD/E型作例も参考に。[MSK]



カール臼砲にお仕えする“働く車”!



ズベズダ1/72 ユンカースJu88G-6ナイトファイター

数あるWWIIドイツ機の中でもJu88は代表的な機体ゆえ様々なスケールのキットが多くのメーカーから発売されている。そんな中、登場したズベズダの新製品はいかに？

■ズベズダ1/72 ユンカースJu88G-6ナイトファイター ■インジェクションキット ■価格2500円 ©GSIクレオス



大戦後期ドイツ夜戦部隊の主力機!

最近のズベズダ社のキットはクオリティが高く、それは新製品のJu88G-6にもあてはまる。しっかりしたモールド(付属のフィギュアの出来は素晴らしい!)、繊細な凹ラインのパネル再現、全体的な形状に関しても大きな問題はない。最近のキットはパーツ数がかかなり多くなっている傾向があるが、本キットは1/72として常識的なパーツ構成になっている。

パーツの合いは良好、機首のFuG220の取り付け角度もバッチリ決まる。アンテナ基部に生じる隙間をパテで埋めたり、胴体前後、主翼内/外、エンジンカウルを組む際は仮組みしてパーツの合いを調整しよう。主翼後端やプロペラの肉厚を薄くしたり、機関砲砲身の先端を開口、ヒーター管やアンテナを金属製で作製するなど、若干手を加えれば完成後の見え方はさらに良くなる。[S]



どれも素晴らしい出来の搭乗員フィギュア3体。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

以前発売されていたキットに新規パーツ、エッチング、金属砲身を追加し質の向上をはかる、ドラゴンモデルの意欲を感じるプレミアムエディション。今回はSU-100駆逐戦車が仲間入りした。

■ドラゴンモデル1/35 SU-100駆逐戦車 プレミアムエディション ■インジェクションキット ■価格4253円 ○ハセガワ



プレミアムエディションで再登場!



キットは車体上面などの金型を新規に起こし、エッチングが2枚、金属砲身、整形済み組立式履帯のマジックトラックもセット。履帯のマジック

トラックは袋から出した後装着するだけという便利なもの。ただし起動輪と誘導輪の軸部(パーツA6)は可動としておいた方が履帯の調整が楽。履帯は片側72個を使用した。

エッチングパーツは原型のプラパーツの表現が巧みなので、どちらかを選択して使用できる。ちょいモデでは最小限しか使っていないが、エンジンリル部などはエッチングならではの仕上がり。他にも予備タンクバンド、各フック類、ツールボックス、工具、ハッチレバーなど盛りだくさんのお得なキット。なおキットは戦後型にもできるので(パーツP13)実車資料を参考にすると良いだろう。[BT]

WWII直後に登場したイギリス初の艦上戦闘機シーホーク。1956年のスエズ動乱に参加、オランダ、ドイツでも制式採用された。トランベッターの1/48キットはモールド、組み立てやすさを両立させたおすすめ品。

■トランベッター1/48 イギリス海軍ホーカー シーホークFGA.Mk.VI ■インジェクションキット ■価格3990円 ○インターアライド



イギリス初の
艦上ジェット戦闘機を
1/48キットで!

1/48シーホークとしてはクラシックエアフレームについて2番目のキット。モダライズされたFGA.Mk.6は、Mk.4のエンジンをMk.103に換装した改良型でシーホークの最終タイプである。

1/48といえどパーツ点数はさほど多くなく、すぐに完成してしまう。細部の再現度、白モールドのパネルラインなど全体の仕上げは非常に良くできている。パーツの合いも良好だが、胴体前後の接合部分などにはパテ整形を要する。コクピットは、インパネやシートベルトにエッチングパーツを使ったり、各計器をフィルムで再現するなど1/48スケールの標準的な出来。主翼は通常の状態と折りたたんだ状態を選ぶことができる。シーホークは尻下がり姿勢ゆえ、かなりデルヘビーなので機首内の空きスペースにはオモリを多めにしておくこと。デカールはHMSブルワークの804sqn機、HMSアルビオン801sqn機、HMSセントアの801sqn機の3機。[S]



厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至有聲大陸

タミヤ1/48 ドイツIII号戦車N型

III号戦車の最終タイプとなったN型は短砲身の7.5cm24口径を搭載したもので、運用も北アフリカからクルスクの戦いと幅広く、5cm60口径を装備したL型のスマートさとは違う魅力がある。

■タミヤ1/48 ドイツIII号戦車N型 ■インジェクションキット ■価格1995円 ○タミヤ



これまで1/48 III号バリエーションは何度も紹介されてきたので工作上的ワンポイントを。連結履帯はリターンローラーのみを接着し、その他のホイールはシャフトに挿すだけにして履帯を組み立てていくと、履帯の長さ不足になることがない。キットの組み立ては簡単かつ精密。シュルツェンの薄さや取付部の重なりも表現され、シンプルなパーツ割りでありながらディテール感のある組上がりとなる。

ストレートで作ろうと決めてしまえば、休みの2日もあれば組み上がり、また組み立てる作業自体が楽しい。パーツやディテールは素晴らしいがモデラーにとって製作の苦勞が多いキットとは対極のもの。[BT]

タミヤ1/48 WW IIドイツ戦車兵 野戦整備セット

タミヤの1/48フィギュア新製品はドイツ戦車兵 野戦整備セット。基本的には1/35で発売済みのフィギュアを1/48にスケールダウンしたもののだが、1/35の持つ緻密さは失っていない。

■タミヤ1/48 WW IIドイツ戦車兵 野戦整備セット
■インジェクションキット
■価格945円 ○タミヤ



キットは整備中と弾薬補給中のフィギュア9体で、合いも良くストレスなく組みあがる。組み立てではパーティングラインを丁寧に処理しておこう。付属する工具、砲弾などのアクセサリも豊富で、砲弾はキングタイガー、パンサー、IV号戦車用の砲弾とタイガー用の砲弾が付属する。ただ、1/35に慣れた目からするとやはりパーツが小さいので、細かいパーツのナイフでの切り出しやヤスリがけは慎重に行おう。

このキットと車両を組み合わせればすぐにジオラマを構成することができる。また1/48スケールゆえAIRモデラーにとっても汎用性が高いだろう。[BT]



使い勝手の良いフィギュアセットが登場!

エデュアルド1/72 ニューポールNi.17 コンボキット

最近Fw190Aなど有名機も出しているが、以前の王道であるWWI複葉機もリリースし続けるエデュアルド。今回はフランスの名機ニューポール17が1/72で登場した。

■エデュアルド1/72 ニューポールNi.17 コンボキット ■インジェクションキット ■価格3727円 ○ビーバーコーポレーション

日本人も乗ったWWIフランスの名機!



本キットもエデュアルド得意の2機入り「コンボキット」、エッチングやマスキングなどのパーツも充実。デカールは撃墜王G.ギヌメール機を含む5種類だが、機師鉄血海軍少佐がフランス外人部隊で駆った機体も用意されており、日本人としては見逃せない。

組み立ては難しくはないが、エッチングはプラパーツを削って取り付けるようになっている部分も多く、必要な部分まで削らないよう注意しよう。シートベルトや計器はカラーエッチングで質感十分。エンジンまわりやカウリングのパーツは複数あるのでインストをよく確認のこと。完成すると見るからに軽快そうな「1/2機」戦闘機となる。[T]

請勿以任何形式轉載至會藝大陸

ホビーマスター1/72 A-10Aサンダーボルト“プレイムタイム”/“ミルキラー”

最近飛行機の完成品をリリースし始めたホビーマスターが、1/72のA-10Aを発売。金属製で重量感のあるモデルは、ヘビー級の対地攻撃機A-10Aサンダーボルトにはピッタリだ。

■ホビーマスター1/72 A-10Aサンダーボルト“プレイムタイム”/“ミルキラー” ■完成品 ■価格各6090円 ○インターアライド



重量感がたまらない対地攻撃機!



ダイキャスト製の完成品は出来が……という先入観があったが、ホビーマスターの1/72はそんな思い込みが間違っていることを教えてくれる。今回発売されたのはグリーン系迷彩の“プレイムタイム”とグレー系迷彩の“ミルキラー”だが、どちらも丁寧に塗装され、マーキングもしっかりしている。機体自体も良い出来で、キャノピーは開閉可能、降着装置は飛行状態にもできる。主翼下の兵装は“ホントにこんなに積めるの?”と思うほどに用意されている。

このまま眺めるのももちろん良いが、モデラーならウェザリングなどを施して“自分だけのモデル”に仕立てたい。[T]



ホビーボス1/72 UH-34Aチョクトー/UH-34Dチョクトー/CH-46Dシーナイト/CH-46E/Fシーナイト

大胆な1体成型の1/72大戦機部隊のリリースが記憶に新しいホビーボス。今度は1/72ヘリコプターキットを一気に4機種発売。今度はオゾンボックスなパーツ構成のキットだ。

■ホビーボス1/72 UH-34Aチョクトー/UH-34Dチョクトー/CH-46Dシーナイト/CH-46E/Fシーナイト ■インジェクションキット ■価格各2310円 ○星友社



ヘリキット4機種一気にリリース!



ホビーボスがキット化したUH-34とCH-46は、アメリカはもちろん世界各国で使用されており、塗装やバリエーションを考えるとなかなか正しい選択。

ちょいモデルはまずUH-34Dを製作。パーツ構成や雰囲気はイタレリのキットに似ているが、よりパーツの一体化が進められているところがホビーボスらしさ? モールドも良好で、組み立てだけなら数時間でユーモラスな形状のチョクトーができあがる。続いてCH-46Dを製作。こちらも非常に短時間で組み上げることができる。全体のフォルムは良いが、UH-34より細部のツメが甘い感じ。

どちらのキットも一気に組み立てて塗装を楽しむタイプのキット。塗装バリエーションとしては自衛隊使用機や南極観測隊機などをリクエストしたい。[T]

請の以任何形式轉載至會替大陸
嚴禁商業用途



CONTENTS

AFV特集:バンパイア・イン・カンブグルッペ

WWIIドイツ軍夜間戦闘車両

- 12 **Sd.Kfz.251/20赤外線投射ライト搭載ウーファー**
AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/20 Ausf.Dウーファー/石井優二
- 16 **Sd.Kfz.251/1 赤外線暗視装置搭載ファルケ**
AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘セット Sd.Kfz.251/1ファルケ/徳永達矢
- 21 **キューベルワーゲン 赤外線暗視装置搭載型**
タミヤ1/35 キューベルワーゲン&ブラスト1/35 赤外線暗視装置パーツ/上田昌夫
- 24 **sWS 赤外線投射ライト搭載型**
イタレリ1/35 sWS & NKCモデル1/35 sWSウーファー用改造パーツ/石井優二
- 28 **Sd.Kfz.251/22 バックワーゲン赤外線暗視装置搭載型**
AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘セット Sd.Kfz.251/22/帯金 肇
- 33 **PaK40赤外線暗視装置搭載型**
AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘セット PaK40/帯金 肇
- 35 **WWIIドイツ軍夜間戦闘車両&フィギュア・カタログ**

- 36 **アメリカ陸軍緊急展開部隊の主力車両**
トランベッター1/35 M1126 ストライカー/七星 明
- 46 **イタリア軍ファンは要チェックアイテム!**
ツイステッドグレイズ1/48 WWIIイタリア兵フィギュア
- 113 **バンツァーファースト対策を施した特殊バージョン**
ドラゴンモデル1/35 T-34/85 ベッドスプリングアーマー装備型/長谷川康則
- 117 **戦車博物館のT-34/85中戦車のディテール写真**

特集:The Wings of Japanese Self Defence Force J.S.D.F.の翼たち

- 65 **タミヤ1/32 F-16を、三菱F-2Aに改造する!! Part2**
1/32航空自衛隊 三菱F-2A支援戦闘機/K2
- 70 **ハセガワ1/72 P2V-7を、P-2Jに改造する!!**
NMC 1/72ハセガワP-2Jネプチューン コンバージョンセット/Oamb
- 74 **鹿屋基地の川崎P-2Jネプチューン 実機ディテール写真**
- 76 **撃墜王がマッハ2で飛んだ“最後の有人戦闘機”**
ハセガワ1/48 F-104Jスターファイター“航空自衛隊”/竹内裕昭夫
- 79 **千里を駆ける“白虎”の偵察機**
ハセガワ1/48 RF-4EファントムII“航空自衛隊”/松永富夫

Master Modelers

July 2007 Vol.47

- 3 **素組み、無塗装で新製品を紹介**
ちよいもモデル ニューキッドレビュー1

- ハセガワ1/32 川崎キ61 三式戦闘機飛燕I型四
- ドラゴンモデル1/35 ドイツIV号戦車 Ausf.F2(3) スマートキット
- ドラゴンモデル1/35 SU-100駆逐戦車 プレミアムエディション
- トランベッター1/35 IV号F型標準戦車
- トランベッター1/48 イギリス海軍ホーカー シーホークFQA Mk.VI
- スベズダ1/72 ユンカーズJunkers-6ナイトファイター
- タミヤ1/48 WWIIドイツ戦車兵 野戦整備セット
- タミヤ1/48 ドイツ 田舎戦車N型
- ホビーボス1/72 UH-34Aジョクトー/UH-34Dジョクトー
- ホビーボス1/72 CH-46Dシーナイト/CH-46Eシーナイト
- エデュアルド1/72 ニューボールド17コンボット
- ホビーマスター1/72 A-10Aサンダーボルト“プレミアム”
- ホビーマスター1/48 F2A-2バッドフォロー 米海軍/
- B-339Eバッドフォロー ニュージーランド軍

- 82 **ジオラマ野郎 佐藤太一のDiorama Time**
ハセガワ1/48 A6M2-K零式艦上戦闘機一型/佐藤太一
- 86 **前島敏彦のヒコモケイノススメ**
ファインモデル1/48陸軍一式戦闘機“隼”2型甲/前島敏彦
- ユーロモデラーの超絶モデリング**
- 41 **タミヤ1/35 チャレンジャー2イラク戦仕様/ネアキン・ガルシア・カサ**
- 94 **タミヤ1/72フックハウルフW190 A-3/ブルジョアス・スカルズ**
- 96 **1/144大型機の新アイテム・九六陸攻をイック**
- RLai Systems 1/144 九六式陸上攻撃機22型/編集部
- 国内イベント・レポート**
- 123 **ストール 30th記念展示会**
- 125 **海外イベント・レポート**
Krajowy Konkurs Modelarski 2006 Part2:AFV編
- 50 **おすすめ新刊・洋書**
- 53 **新製品情報**
- 106 **読者のページ**
- 109 **プレゼント**
- 110 **定期購読のお知らせ**

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

嚴禁商業用途

バンパイア・イン・カンパグループ

VAMPIRE IN KAMPFGRUPPE

WWIIドイツ軍夜間戦闘車両



夜間暗視システムは、先の湾岸戦争、イラク戦などの例を見てもわかるように、現代戦においては勝敗を決する要因となるほど重要な必要不可欠な兵器システムとなっている。第二次大戦時、ドイツでは高度な技術力により数多くの画期的な兵器が開発されたが、赤外線暗視システムもそれらの内の一つであった。ドイツはかなり早い時期から夜間用の暗視システムの開発に着手し、そして大戦後半、制空権を失ってからはさらに開発ペースを進めていった。ドイツ地上部隊にとって敵ヤークが活動しない夜間は安全に移動することができ、また暗視システムを使用すれば、兵力に劣る敵に対しても有利に攻撃を加えることができる。ドイツは終戦までに車両搭載用、歩兵携帯用など多種多様な暗視システムを開発し、それらのうちいくつかを実戦で使用し戦果を挙げている。今回のAFV特集は、キット化されているドイツ軍夜間戦闘兵器を取り上げた。ここで紹介した“バンパイア”たちはほとんどが実戦で使用されたものだ。

厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至香港大陸



Sd.Kfz.251/20 D型 “ウーファー”

Sd.Kfz.251/20 Ausf.D UHU



■AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/20 Ausf.D 砲兵装具置換車 “ウーファー”
■製作・文：石井俊二
■AFV Club1/35 Sd.Kfz.251/20 Ausf.D UHU
■Modelled & Text by YUJI ISHII



VAMPIRE
IN KAMPFGRUPPE
WWIIドイツ軍後援戦車用

赤外線暗視システムを搭載した車両としては、キューボラにFG1250を装備したパンターG型とともによく知られているのがSd.Kfz.251ウーファーである。ウーファーは、車体後部に赤外線フィルターを装着した60cm SW36サーチライトとBG1251赤外線暗視スコープ、そして操縦手用に20cm赤外線ライトとFG1252赤外線暗視スコープを装備している。ウーファーが装備した赤外線暗視システムの夜間アクティブ索敵/視認距離は1.5km以上あり、ウーファーはFG1250装備のパンター戦車小隊の指揮観測車として使用されることになっていた。ウーファーは終戦までに60両しか造られ、大戦末期には夜戦仕様パンターG型とともに少数のウーファーが実戦投入され、戦果を上げたと言われている。



AFVクラブのSd.Kfz.251シリーズにファン待望の60cm大型赤外線投射ライトを搭載した“ウーファー”が加わりました。ベースとなるSd.Kfz.251は傑作キットとして高く評価されており、既に多くのバリエーションが発売されています。当然、新作の“ウーファー”も決定版と言っても差し支えないでしょう。

■製作

AFVクラブの製品は極細なパーツが多いので、ランナーからの切り出しとペーパー掛け、パーツ紛失には十分注意しましょう。また新規パーツの取り付け位置が分かりにくい所もあります。組み立て前に実車写真を見てチェックしたり、パーツの仮組などを行うことをおすすめします。

組み立てはキットの説明書に沿って進めま



ウーバーは車体前面右下部に20cm径赤外線ライトを新設。



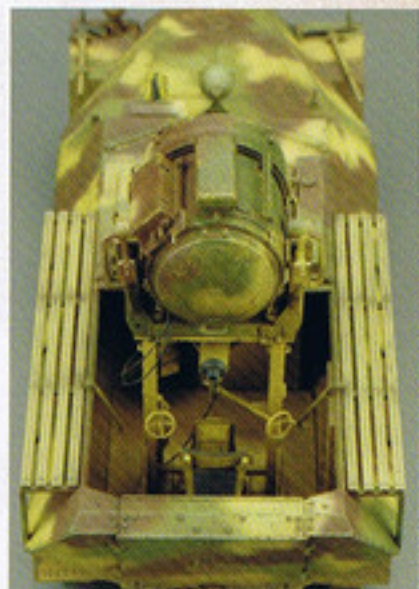
操縦手用視察口にFG1252赤外線暗視スコープを装備。その横には20cm径赤外線ライトが設置されている。



車体後部に大型赤外線投射ライトを装備。投射ライトは全周旋回可能だ。



赤外線投射ライトは60cm径Sw.36サーチライトに赤外線フィルターを装着したもの。



投射ライトの下にはBG1251赤外線暗視スコープを装備している。

した。キット付属の履帯はポリ製ベルト式です。モールドは良くリアルに出来ているので、そのまま使っても全く問題ありませんが、作例では自然な弛みを再現できるよりリアルな同社のプラ製連結可動式履帯「Sd.Kfz.251 Truck Late-model」(品番AF35069)を使っています。

インテリアの組み立てが終わったら、車体上下を接着する前にインテリアの塗装を行いました。製作段階では基本色はドゥンケルゲルプのつもりでしたが、室内も同色としましたが、後に基本色をオリーブグリーンに変更しています。そうすると室内はエフェンバインやプライマー色の方が良かったかもしれません。

計器板、シート、装備品など細部の塗り分けは説明書の指示に従ってアクリル塗料で、

エイジングは油彩で行いました。

車体上部と下部を合わせると0.5mmほど合わないことが判明。フロント部分に0.5mmプラバンを貼り対処、削り取ってしまった溶接跡はプラペーパーで再現しました。また側面の雑具箱と一体になったリアフェンダーは取り付けると上部車体との間に隙間が出来ます。ここも0.5mmプラバンを接着して整形しました。

キットの出来が良いため、あまりディテールアップするところもないのですが、OVMの留め具などはアベールのエッチングパーツ「Armoured Personal Carrier Sd.kfz.251/1 Ausf.D Vol.1 Basic set」(品番35203)を使用。また車輪ボールはファインモールドの「ドイツ軍車輪表示ボールセット1」(品番MG39)に交換しました。



車体両側面には、ライト操作時に使用するフットデッキを装備。



製作時には、前輪がちゃんと接地することを確認することを忘れずに。



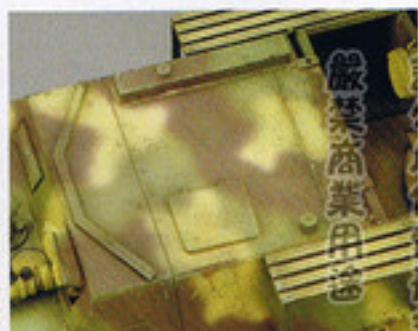
前面下部にある台座には、説明書ではアンテナを取り付けるようになっていますが、Sd.Kfz.251/1ファルケの実車写真を見るとライト取り付け基部が装着されています。となると、赤外線ライトを付けるためのものと想定できます。よってウーファもファルケと同じはずなので、作例では赤外線ライトのパーツを装着しました。

また実車写真を参考に赤外線投射ライトや赤外線暗視スコープにはそれらしく配線を追加しています。投射ライトはかなり造りが複雑なので、塗装をしながら組み立て、すべての作業が完了後に取り付けました。

■塗装

塗装はSd.Kfz.251/1ファルケの実車写真を参考にしました。基本色は大戦末期によく見られるグリーンのようです。迷彩パターンも割と大雑把にイエローとブラウンが入り交じっています。作業はいつもどおり、サーフェイサーを全体に吹き付けた後、濃色したダークブラウンを下地として塗装。次に基本色のオリーブグリーンを下地を活かしつつ薄くまんべんなく吹き付け、ドンケルグレンとロートブラウンで迷彩を入れています。その後、エイジング、ウェザリング、フィルターを施して完成させました。

履帯はAFVクラブから別売されているプラ製連結可動式「Sd.Kfz.251 Truck Late-model」に変更。



戦室前部は装甲天板で覆われている。

請勿以任和形式轉載至會器大陸
嚴禁商業用途



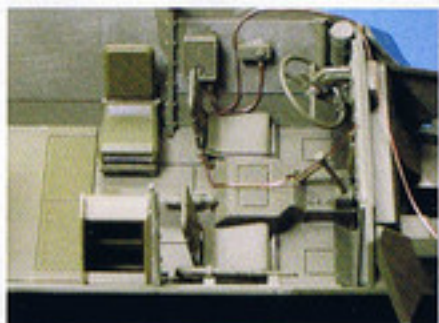
キットでは車体前面左下にアンテナ基部を取り付けるように指示されているが、実車写真を見るとライト基部を装着している。



赤外線暗視スコープに金属線で配線コードを追加。暗視装置関連パーツがかなり余るので、他キットに流用すると良いかも。



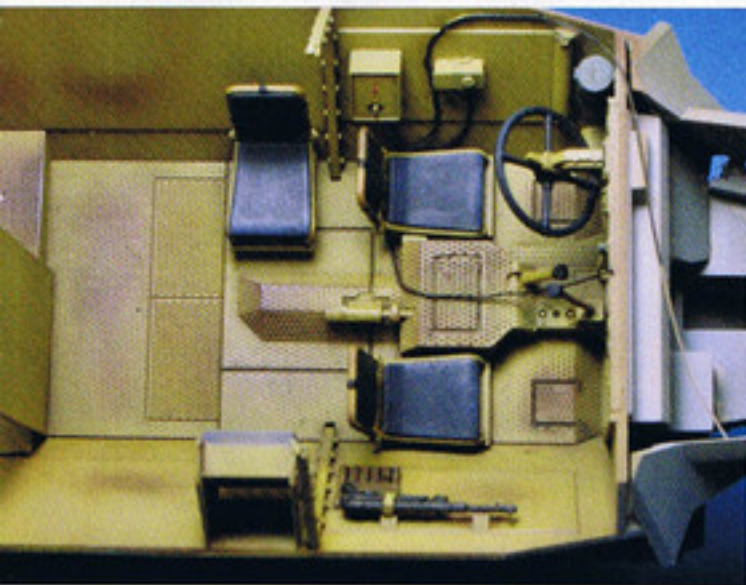
赤外線投射ライトはかなり精密に再現されており、配線を追加したのみ。



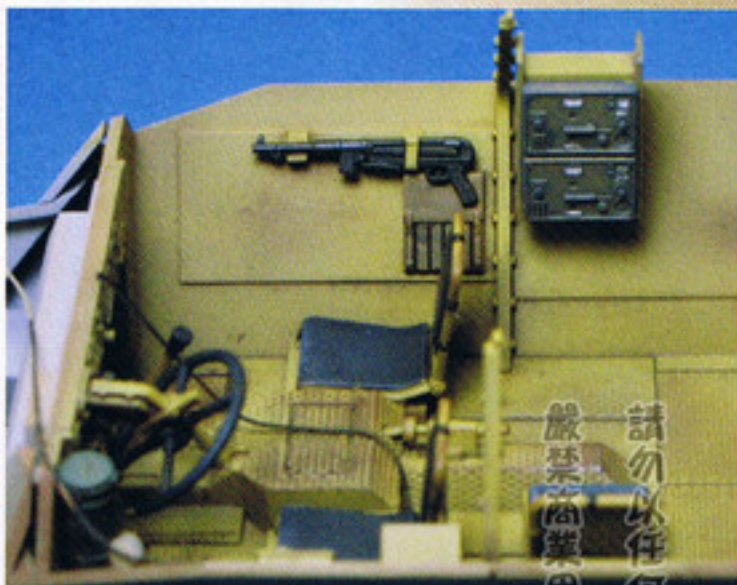
操縦席周囲の電源/スイッチボックスに配線を追加した。



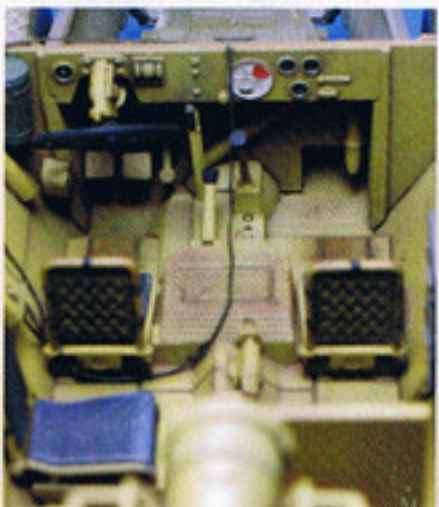
キットでは車体上部前面の装甲バイザー内側も再現されている。



インテリアは車体上部を接合する前に塗装しよう。



請勿以作何形式翻載至香港大陸
嚴禁商業用途



同じく車体上部の内側も車体上下を接合する前に塗装しておく。



車体後部乗降ドアの横にある小火器はダークグリーンで塗ること。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

嚴禁商業用途



■AFVクラブ105 ドイツ軍夜間戦闘3台セット
Sd.Kfz.251/1 Ausf.D. ファルケ
■製作・文：徳永進矢
■AFVクラブ105 Night Fight Group 3 in 1
Sd.Kfz.251/1 Ausf.D. FALKE
■Modeled & Text by TATSUYA TOKUNAGA



Sd.Kfz.251/1 赤外線暗視装置搭載型ファルケ

Sd.Kfz.251/1 FALKE with Infrared Device

夜戦型パンターG型やSd.Kfz.251/20ウーファーに随伴する夜戦部隊用の兵員輸送車として開発されたのが、Sd.Kfz.251/1ファルケである。ファルケはSd.Kfz.251/1の通常型を改裝する形で造られ、操縦手視察口前部にウーファーと同様のFG1252赤外線暗視スコープと20cm赤外線ライトを、戦闘室前部のMG42機銃架にはパンターGのキューボラに装着されたものと同じ器材、FG1250赤外線暗視スコープと20cm赤外線ライトを装備していた。ファルケの生産数や戦歴等の詳細は不明だが、1945年3月以降、かなりの数のファルケが完成し、「ファルケ」中隊が編成され、何回か実戦に投入されている。



ファルケの特徴である操縦手用赤外線暗視装置と同装置付きのMG42機銃架。



キットの説明書では操縦手用装甲バイザーを閉じた状態で提示されているが、開けた状態にすること。



専用MG42機銃架はかなり細かなパーツで構成されているので、パーツ欠損、紛失に要注意。

今回の製作では、アペールのエッチング製パーツ「Armoured Personal Carrier Sd.kfz.251/1 Ausf.D Vol.1 Basic set」(品番35203)やファインモールドの「ドイツ軍車輻射表示ボールセット1」(品番MG39)などを使用してディテールアップを行っています。

■製作

まずはシャシーの製作です。箱組みですが、

特に型も無く、組み立てはストレスなく行うことができます。細かいパーツの一部に見られるバリ、ヒケ、ダボなどは丁寧に処理しましょう。またシャシーの床部分には、後でシートなどを取り付けるためのダボ穴を開けるように指示があります。この作業は、必ず取り付ける予定のパーツを確認しながら、進めてください。

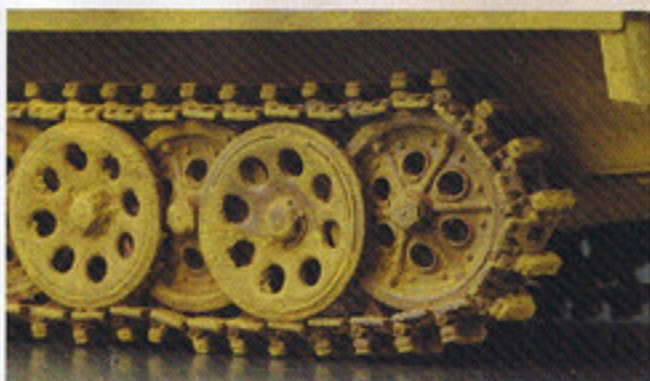
足回りに移ります。起動輪ですが、2つのパーツの合いが、かなりきつめになっていま

す。合いを確認しながら、ぴったりくっつけるようにします。前輪のサスペンション周りは、アペールのエッチングセットを使えば、かなり細部にわたって再現できます。この辺りに凝りたい方は同エッチングを使ってみてはどうでしょうか。サスペンションは、少し手を加えれば可動するようにも加工することができます。転輪部品も組み立ても特に問題ありません。

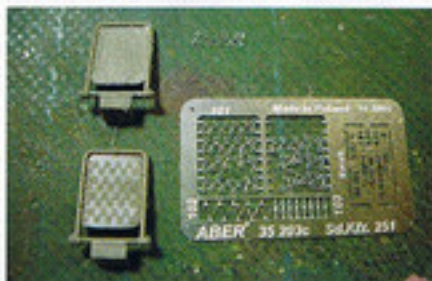
さて、いよいよ運転席周りに取り掛かりま



細部はエッチングでディテールアップ。



ブラ製連結式履帯は実車写真に合わせゴムパッド付き後期タイプに変更。



シート背面のスプリングはアベールのエッチングパーツを使って再現。



アベールのエッチングセット「Armoured Personal Carrier Sd.Kfz. 251/1 Ausf.D Vol.1 Basic set」には計器類のフィルムシートもセットされている。



フィルムの計器類は裏からホワイトで塗装しておく。



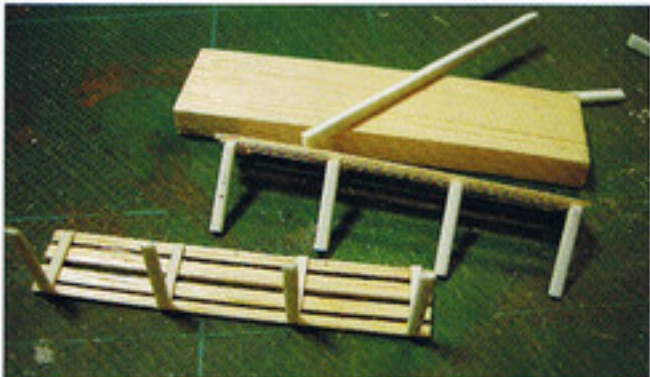
左フロントフェンダーに付くボッシュライトのライトコードを真ちゅう線で追加。



車幅表示ボールはファインモールドの金属製パーツに変更。細くてシャープな同パーツの使用はかなり効果大。



車体側面の道具箱の扉のカギもアベールのエッチングで再現。



車体側面に付くフットデッキをバルサとブラバンで作製。



フットデッキはウーファーと同型で同じ位置に装着。

車体正面の2個のバイザー・スリットですが、ファルケの場合、向かって右側のバイザーは開けた状態で、車体から電源コードを取り回していますので、必ず向かって右のバイザーは開状態で接着するようにしてください。

次に前部フェンダーです。今回はキットのものを使いましたが、ダメージ再現を行いたい方は、アベールのパーツをおすすめします。ツルハシ、斧のクランプはアベールのエッチ

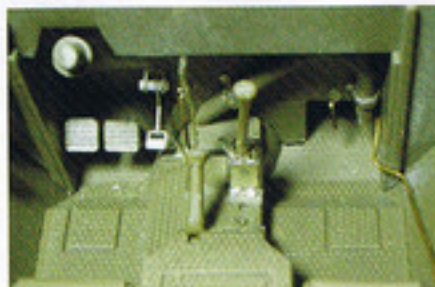
ングを使用しました。車体側面のゲベックカステンを開けた状態にしたい方はこれまたアベールのパーツ使用が効果的でしょう。

暗視装置関連のパーツです。まず、いずれのパーツもコード類の再現がまったくなく、先ほどの運転席周りにように金属線で配線を再現します。この辺は記録写真を参考にしてください。

また、実車の車体サイドには金属&木製の

縦置ラック（フットデッキ?）があるので、キットには含まれていません。ブラバン・アルサの切り出しで自作しました。寸法は、実車写真から割り出して作り上げています。

さて、履帯はブラ製連結式ですが、ゴムパッド無しの最後期タイプが入っています。実車写真を見るとゴム付き後期タイプのようなので、同じAFVクラブの別売「Sd.Kfz.251 Truck Late-model」（品番AF35069）を使



運転席の前部。フットペダルなどはアペールのエッチングを使用。



運転席横の電源ボックスに真ちゅう線などで配線を追加した。



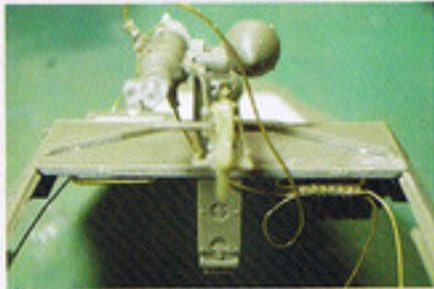
助手席側にも配線を追加。これらの配線はMG機銃架の陸視装置に繋がる。



車体内側上面にも取っ手、配線箱を作製して追加。



キットは操縦手用のFG1252やMG42用のFG1250を多数のパーツでリアルに再現。



実車写真を参考にMG42の陸視装置の配線を再現した。



商業用途

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

用しました。

ボンネットに付くアンテナは、真ちゅう線を削って取り付けられています。最近ではちゃんとテーバーのついた真ちゅう製のアンテナパーツがサードパーティーから販売されているので、それらを活用しても良いでしょう。

■塗装

車体内部を丁寧に塗り分けていきます。特

にアイキャッチとなるような部分は、しっかりと塗り分けましょう。ウェザリングは今回はあっさり目に薄めた黒の油彩で行いました。

ファルケの塗装ですが、実車写真で知られている車体はキットの説明書の指示通りの3色迷彩塗装です。作例では、ダークイエローの単色にしてみました。足回りにはピグメントで汚れを施し、薄めた黒でのウォッシングを中心にあっさり目に仕上げました。



ライフル架のモーゼルKar98kには、エッチング製のスリングを追加。

キューベルワーゲン

赤外線暗視装置搭載型

KÜBELWAGEN with Infrared Device

VAMPIRE
IN KAMPFGRUPPE
WWIIドイツ軍用車両専門

赤外線暗視装置を搭載したSd.Kfz.251やパンター戦車はよく知られているが、ドイツ兵にとってもっとも身近な存在であるキューベルワーゲンも同装置を搭載したテスト車両が造られている。改造は至って簡単で運転手席と助手席の前にそれぞれ1基のFG1252赤外線スコープを設置。それに伴いヘッドライトも赤外線フィルターを装着した赤外線ライトに変更されている。夜間行動用の特殊キューベルが何台製作されたかは不明だが、1945年ドイツ国内のファリンクポストで連合軍に捕獲された車両群の中に赤外線暗視ユニットを搭載したキューベルワーゲンもあったようで、連合軍により同車の性能テストが行われている。



- ブラストモデル1/35 赤外線暗視装置付きキューベルワーゲン(改造パーツ)
- タミヤ1/35 Pkz.1キューベルワーゲン82型
- 製作・文：上田昌典
- 協力：シェブロン
- Blast Models 1/35 Kubelwagen with Infra Red Device
- Tamiya 1/35 German Kubelwagen Type 82
- Modeled & Text by AKIO UEDA

KÜBELWAGEN TYPE 82



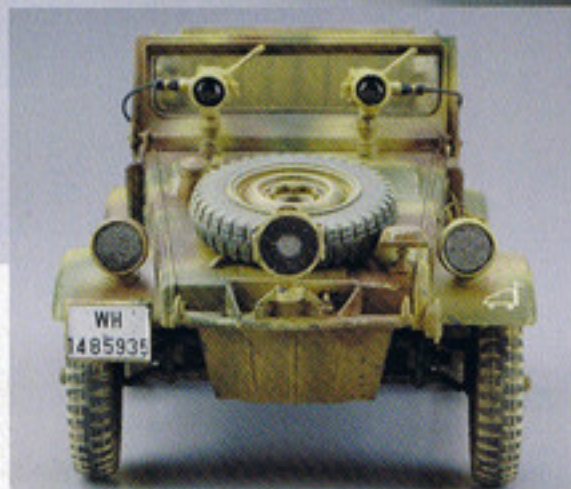
今回製作するのは、フランスのレジンメーカーブラストモデルより発売されているレジン製改造パーツセット「Kubelwagen with Infra Red Device」(品番3504)を取り扱った「シェブロン」です。高精度のレジン製パーツで気泡や欠損はほとんどなく、面割れも少なく成型されているのでパーツの切り出しも容易です。レジンキットを初めて作る方からベテランの方まで万人にお勧めできると思います。通常のキューベルと一味違うタイプなので、車両ファンの方は是非コレクションに加えて下さい！

キット内容は、レジン製の専用計器パネル、電源ユニット、暗視スコープ(FG1252)、赤外線ライトおよび専用ウィンドーと幌パーツ(ディテール良い)などです。ベースとなるキューベルワーゲンはタミヤのキットが指定されています。

製作の参考資料ですが、赤外線ユニット装備したキューベルの実車写真は、ブラストモデル



運転手席と助手席に1基ずつのFG1252赤外線スコープが設置されている。



ヘッドライトは赤外線ライトに換装。車体中央にはさらに1基の赤外線ライトを設置。

夜間暗視可能とはいえ、スコープ内の限られた視野では、運転はかなり難しそう。



リアシートの後部に赤外線暗視装置用の電源ボックスが置かれている。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

の組み立て説明書に小さく3枚掲載されています(出典は不明)。キューベルソーのもののディテール写真は、Tankograd刊「Kübelwagen Type82」やWWP刊「Kübelwagen in detail」掲載のものが大変参考になりました。

■製作

キューベルワゲンは、タミヤの説明書に

従い組み立てますが、パーツの合いも問題なくすぐに基本形が完成します。各部のディテールアップにアベールのエッチングパーツ「KUBELWAGEN Type82」(品番35079)を用いました。このエッチングセットには前輪を左右可動にできるパーツがセットされていますが、シャシーの加工が必要となります。

ボンネット前面のナンバープレート用モールドは削除しフラットに整形した後、レジン製ナ

ンバープレートを右フェンダー上に接着。レジン製の幌パーツは車体後上部のカバーA6を接着した後にセットしました。

フロントウインドー前の暗視スコープにはファルケの実車写真を参考にボイジャーモデルのエッチングパーツ(本誌Vol.40 パンターF型ラインメタル砲塔製作時の余り)で止め具を付加。レジン製フロントウインドーには、タミヤの透明パーツ(6×30mmのサイズでカッ



フロント周りにプラモデルのレジン製パーツ、赤外線ライトや赤外線スコープを装着。



細部はアベールやボイジャーのエッチングパーツでディテールアップしている。



フロントの計器パネルも通常型とは異なり、助手席側に小さなスイッチを配したパネルが追加されている。



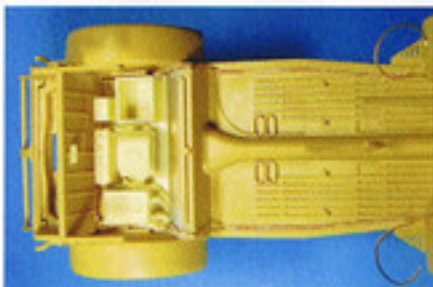
ラゲッジコンパートメントに収まる暗視装置の電源ボックスなどのパーツもセット。



作例は、ラゲッジコンパートメント内部が見えるようにパネルを開状態とした。



プラモデルの改造パーツには雰囲気満点の横バーパーツも付属。シワの再現など良い感じ。



暗視スコープと後部電源ユニットの配線を0.4mmの銅線で再現。



フロントサスはアベールのエッチングパーツを使用し左右にタイヤを切れるように加工。



間隔表示灯はドラゴンのIV号潜水戦車を製作したの余りパーツを使用。

ト)使用。計器パネルをシャシーに仮組みしウインドーの位置決めを行って下さい。

OVMはシャベルのラックのみをアベールのエッチングパーツで、間隔表示灯はドラゴンのIV号潜水戦車製作時の余りパーツを流用し、暗視スコープと後部電源ユニットの配線は0.4mmの銅線で再現しました。

車体上下は、シート類、計器パネルなど細部塗装や汚しが終わってから接着しています。

■塗装

ダークイエローベースの3色迷彩にしました。大戦末期をイメージしダークイエローの面積を減じています。まずタミヤのスーパーフェイサーで下地処理を行った後、下回りには、GSIクレオスのダークイエローとタミヤのダークアースを缶スプレーで軽く混ぜ吹きし下地とし、上部はエアブラシで影付けし

ました。

今回ガイアノーツより発売されたドイツ3色迷彩セットを使用。各迷彩色は明度を上げるためMrカラーのライトカーキとホワイトを添加し用いています。発色も良く使いやすいと思います。

仕上げは、タミヤエナメルやGSIクレオスのウェザリングカラーセットやビグメントを使用しましたが、汚しは控えめにしました。

sWS

赤外線投射ライト 搭載型“ウーファー”

sWS with 60cm Infrared Searchlight "UHU"

- イタレリ1/35 sWS パンツァーヴェルファー42搭載型
- NKCモデル1/35 赤外線観測車 (sWS) ウーファー
- 製作・文：石井俊二
- 協力：M.S. モデルズ
- Italeri 1/35 sWS with Panzerwerfer 42 German Rocket Launcher
- NKC Models 1/35 Infrarot-Beobachtungswagen (sWS) UHU
- Modeled & Text by YUJI ISHII



大型赤外線投射ライトを搭載した車両と言えばSd.Kfz.251/20ウーファーが有名だが、sWSをベースとしたもう一つの“ウーファー”も計画されていた。赤外線監視システムはSd.Kfz.251/20と同様で車体後部に60cm赤外線投射ライト、その下にBG1251赤外線スコープ、そして操縦手用視察口の前にFG1252赤外線スコープと20cm赤外線スコープを装備する予定だった。NKCモデルのレジン製パーツを使用すればこの幻のsWSウーファーを再現することができる。



NKCモデルから発売（絶版の可能性あり）されている1/35レジン製改造パーツ「Infrarot-Beobachtungswagen (sWS) UHU」を使い、sWS “ウーファー” を製作しました。ベースとなるのは、イタレリ1/35のsWS パンツァーヴェルファー42搭載型です。

■製作

イタレリのsWSは出来の良いキットで、組み立てに関してはあまり問題ありません。ただし、足回りの一部、ステアリングパーツの取り付けに焼き止める部分（昔のキットにはよく見られました）がありますので、慣れていない人は周囲のプラを傷めないように慎重に。また金型から外すことを考慮した抜きテーパの関係で張り合わせ面の面出しを行わなければならないところもあります。

請勿以任何形式轉載至會員大陸



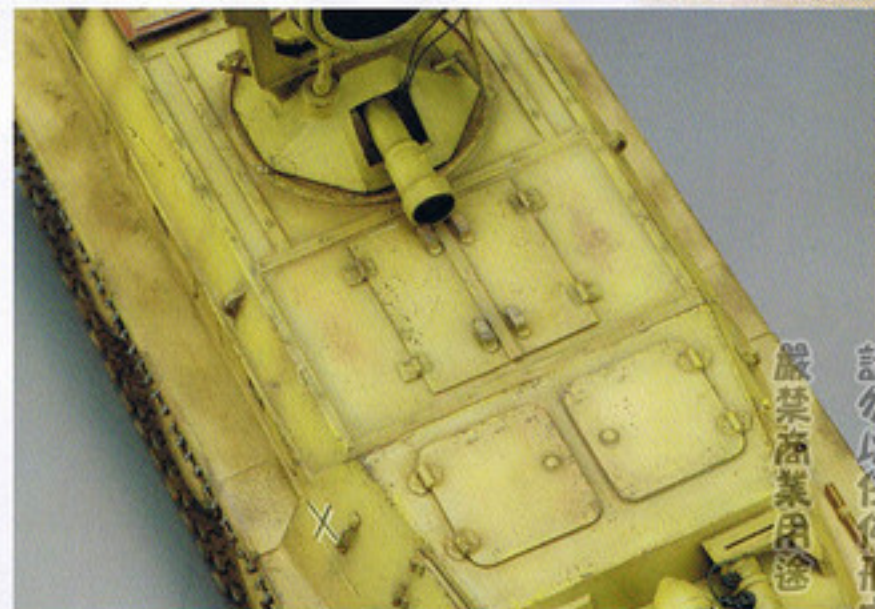
イタリアのキットは出来が良く、若干のディテールアップで十分な仕上がりとなる。



Sd.Kfz. 251/20ウーファーと同様に操縦手視察口前に赤外線増視装置を装備。操縦手用増視装置は20cm径赤外線ライトとFG1252赤外線スコープの組み合わせ。



赤外線投射ライトは60cm径Sw.36サーチライトに赤外線フィルターを装着。ライトの下にはBG1251赤外線スコープを設置。



各ハッチは別パーツにより開閉選択式。インテリアのパーツもセットされている。

請勿以任形式轉載至商業用途

履帯は連結式のプラパーツになっています。このパーツを使用しても問題ありませんが、作例は、よりリアルなフリウルモデルのsWS用メタル連結可動式履帯（品番ATL-44）を使用しました。フリウルの良さは、なんと言っても自重により自然な弛みを再現できることです。また同履帯にメタル製の駆動輪もセットされているので、そのパーツも使っています。

車外装備品は、ドラゴンモデルのキットから適当なパーツを流用。最近のドラゴンモデルの小物パーツは出来が非常に良いので、車外装備品&留め具などを別売りしてほしいくらいです。

操縦手視察口の前にタミヤの「バンサーG型 スチールホイール仕様」に入っている赤外線スコープと赤外線ライトを装着。スコープ左横の突起物はプラバンで作りました。

車体が完成したら、次はNKCのレジン製改造パーツ、赤外線投射ライトです。同製品はモールドといい成形状態といいクオリティが高くおすすめの製品です。このレジン製パーツも組み立て図の通りに組んでいます。入手が難しいので、もし、sWSウーファーを作りたい方は、AFVクラブから発売されている「ドイツSW-36サーチライト& Sd.Ah51トレーラー」のSW-36を改造してみてもどうで



アクセントを付けるため車体後部のハッチのみ黒状部に。
SIG44パンバリアを持った 擧弾兵を乗せるといいかもね。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途

しょうか。インジェクションキットなのでレジン製NKC製品を使用するよりも簡単に、しかも安価に製作できますよ。

■塗装

塗装は、ドゥンケルゲルプ単色としました。sWSIにはこの単色塗装が似合っていると思うのですが、まず、サーフェイサーを全体に吹き、次にダークブラウンで下地作り。ドゥン

ケルゲルプは明度と彩度を変えながら、何度が重ね吹きしています。部分的にオリーブドラブにフラットブラックを混ぜた色で流れ落ちた汚れの跡を表現しました。

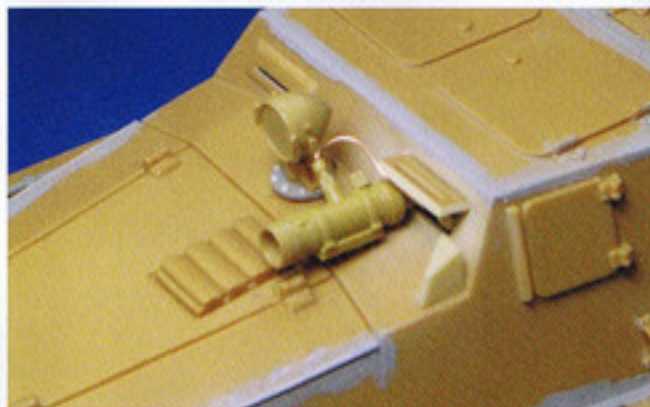
エイジングは油彩のパーントアンバーとエナメルフラットブラックをターペンタインで数十倍に希釈し、文字通り染め付ける要領で行っています。ウォッシングのように後から拭き取ったりはしません。

このままでは全体がくすんだ感じになってしまうので、基本色の明度を上げた色をハイライト部分や退色しそうなところにドライブラシの要領で施し色味を立ち上げました。

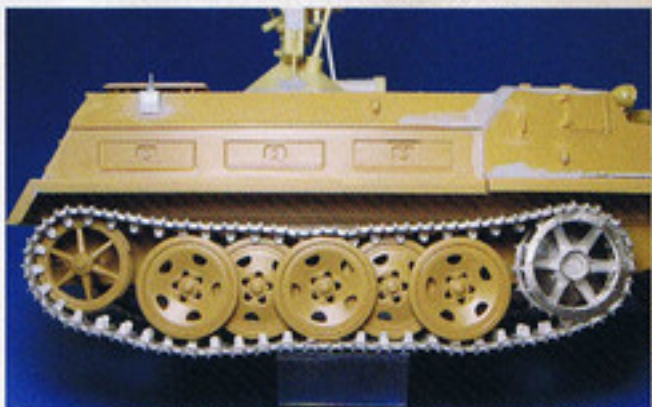
全体のトーンに変化が付いたのを確認したら、パウダーなどを使ってウェザリングを施し、さらにフィルターを掛けて完成させました。



赤外線投射ライトはNKCのレジン製パーツ使用。ディテール仕上げ、成形状態ともに良くできている。



操縦手用赤外線増視装置は、タミヤの「パンサーGスチールホイール仕様」付属のパーツを使った。



履帯フリウルモデルのメタル製連結可動式に交換。履帯セットにはメタル製の駆動輪も付属。



一部のOVMはドラゴンモデルのパーツを流用した。



車体後面の車間表示灯もドラゴンモデルのパーツ使用。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

Sd.Kfz.251/22パックワーゲン 赤外線暗視装置搭載型

Sd.Kfz.251/22 PAKWAGEN with Infrared Device

VAMPIRE
IN KAMPFGRUPPE
WWIIドイツ軍模型製作家



■AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘車3台セット Sd.Kfz.251/22 Ausf.D
■製作・文・写真 榎
■AFV Club 1/35 Night Fight Group 3 in 1 Sd.Kfz.251/22 Ausf.D
■Modelled & Text by HAUME DUBANE



Sd.Kfz.251シリーズをベースとした夜間戦闘用の車両は、Sd.Kfz.251/20クーペーとSd.Kfz.251/1ファルケの2車種が製作されている。AFVクラブがモデルアップした暗視装置を装備したSd.Kfz.251/22パックワーゲンは実車写真ではまだ確認されておらず、またそういった車両が遺られたという資料はない。しかし、赤外線暗視装置を装備したPaK40対戦車砲は実際に製作されているので、ファルケと同様の車体に暗視装置付きPaK40を搭載した姿はそれらしいスタイルに仕上がっている。

Sd.Kfz.251/22は、第2次大戦後半に入りヒトラーの「あらゆる車両に対戦車砲を…」という命令により誕生した車両で、Sd.Kfz.251D型に7.5cm PaK40を搭載しています。AFVクラブのキットは、このSd.Kfz.251/22に赤外線暗視装置を取り付けた車両を再現したものです。

赤外線暗視装置を搭載した車両というとパンターやファルケが写真集で確認できますが、残念ながらSd.Kfz.251/22に暗視装置を取り付けた車両の写真は未だ見たことがありません。実在した車両ではないかもしれませんが、暗視装置の取り付け方（主砲とその下の

赤外線ライトが接触する）などに疑問が残るところもありますが、追加装備類はファルケや暗視装置付きPaK40に準じているので、実車車両っぽくなっています。なお、このキットは限定品なので、店頭ではそろそろ見かけなくなってきています。欲しい方は早めにゲットしましょう。

■製作

AFVクラブのキットは、コンバチブル形式ではなく、Sd.Kfz.251/1ファルケ、Sd.Kfz.251/22パックワーゲン、7.5cm PaK40の3つがコンプリートされています。

AFVクラブのSd.Kfz.251シリーズは非常に良い出来で、本キットも基本的には説明書に従って組んでいけば問題ありません。

ところで、ファルケ、パックワーゲンは、両車ともSd.Kfz.251D型がベースとなっているのですが、ファルケの方はD前期型（ボンネット上のハッチが2枚タイプ）、パックワーゲンの方はD後期型（ボンネット上のハッチが1枚タイプ）の車体で製作するように説明書で指示されています。私はこの事に気付かずパックワーゲンの車体をD型の前期型で製作してしまいました。途中で気付いたのですが、実車写真でよく知られた試作車（トリアル用）はD型前期型の車体を使用しています。大半は後期型車体ですが、前期型ベースの車両もあるのでそのまま組みました。

今回の製作では、アペールのエッチングパーツ「Armoured Personal Carrier Sd.kfz.251/1 Ausf.D Vol.1 Basic set Vol.1」（品番35203）やファインモールドの「ドイツ軍車輻射表示ボールセット1」（品番MG39）を使用してディテールアップを行っています。

製作は、車体下部、足回り、車内インテリアと進めていきます。前輪のサスペンション周辺、インテリアの運転席周辺はアペールの



請勿以任何形式轉載至貴大陸



フィギュアはドラゴンモデルのキットを使用し、ポーズを変更。夜間作戦に向け、時刻を確認している様子を再現。

請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途





車体前面の操縦手視察口の前に設置されたFG1252赤外線スコープ。その横には赤外線ライトを設置。キットの指示どおりだと砲身直下になるので、オフセットしたほうが良いかも。



Sd.Kfz. 251/22はD型ベース。作例は前期型車体で組んだが、キットの指示は251/22としては一般的な最終期型で組むように指示されている。

エッチングパーツを交えながら作っていきます。どちらも組みあがると見えにくくなってしまいますが、アペールのエッチングパーツを使うことによりかなり精密感が得られます。特に運転席の計器類の表現はエッチングパーツならではの出来で、後に見えにくくなってしまふことが残念でなりません。キット自体の車体内部も良く出来ていて、あの重そうなPaK40の支持架の様子もよく解ります。

PaK40は、防盾がエッチング製パーツになっており、特徴ある2重防盾がリアルに再現できます。ただ防盾のリベットのめ合わせがきつ、防盾外側のリベットが潰れてしまったので、改めてモデルカステンのリベットに付け変えています。砲身はアルミ削り出しのパーツが用意されています。

赤外線増視装置は赤外線投光器と赤外線照準器の2つの装置からなり、多数のパーツ分割でリアルに再現され

ています。また増視装置関係のパーツには、変圧器やスイッチボックス、発電機と思われる部品も付属しています。説明書では指示はないのですが、車内に取り付けたこれらのパーツと増視装置とを繋ぐコード、配線類を追加しディテールアップしました。

なお、塗装のことを考えて車体下部、車体上部、PaK40とそれぞれ3ブロックに分けて製作し、塗装後に接合しています。

フィギュアは、手持ちのストック品からドラゴンモデルの物を中心に一部エポキシバネを使い製作。夜間戦闘用車両ですから、フィギュアはそれらしいポーズに。周囲が暗くなり始めた頃「もう、そろそろだな」なんて言いながら時計を見ている様子を再現してみました。

■塗装

塗装はタミヤアクリルを使用。増視装置付きのバックワゴンの写真がないので、一般的な大戦後期の3色迷彩、マーキングはなしとしています。

塗装後、エナメルのブラウンでウォッシング、乾燥後にドライブラシを施し車体に塗装の剥けた表現、足回りには土汚れを再現して完成です。



砲尾左側の照準器の上に赤外線熱視スコープを設置。



防盾中央に赤外線投射ライトを設置。防盾右側には赤外線装置用の電源器を追加装備している。



車面上のPaK40は、実際に作られたPaK40赤外線熱視装置搭載モデルと同様の装備を装備している。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



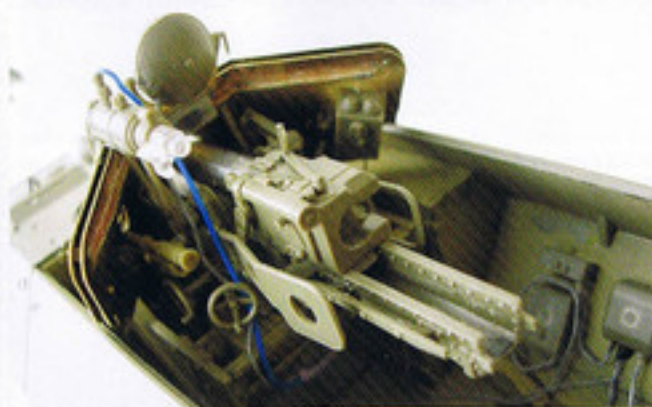
操縦席など車体内部前方。インテリアは車体上部パーツを接着する前に塗装しておく。



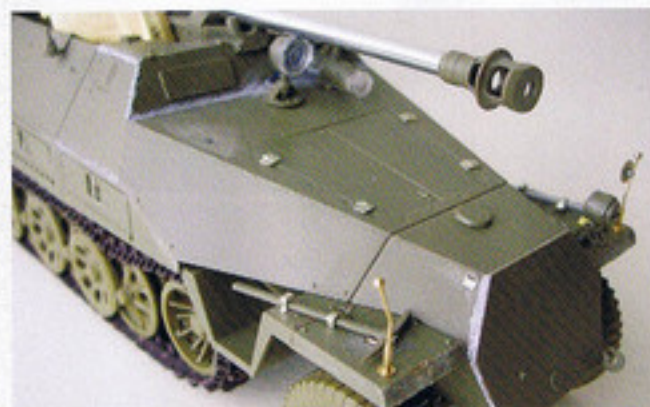
ファルケに準じて車体前方右壁面には変圧器等を設置。機銃装置との配線を追加した。



PaK40の防盾はエッチングで再現。砲身はアルミ製がセットされている。



PaK40はストレート組みで十分なほど精密な仕上がり。



OVM取り付け具やヒンジなどはアペールのエッチング、車輪ボールはフィンモールドの金属パーツを使用。



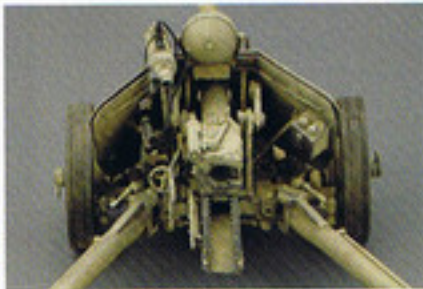
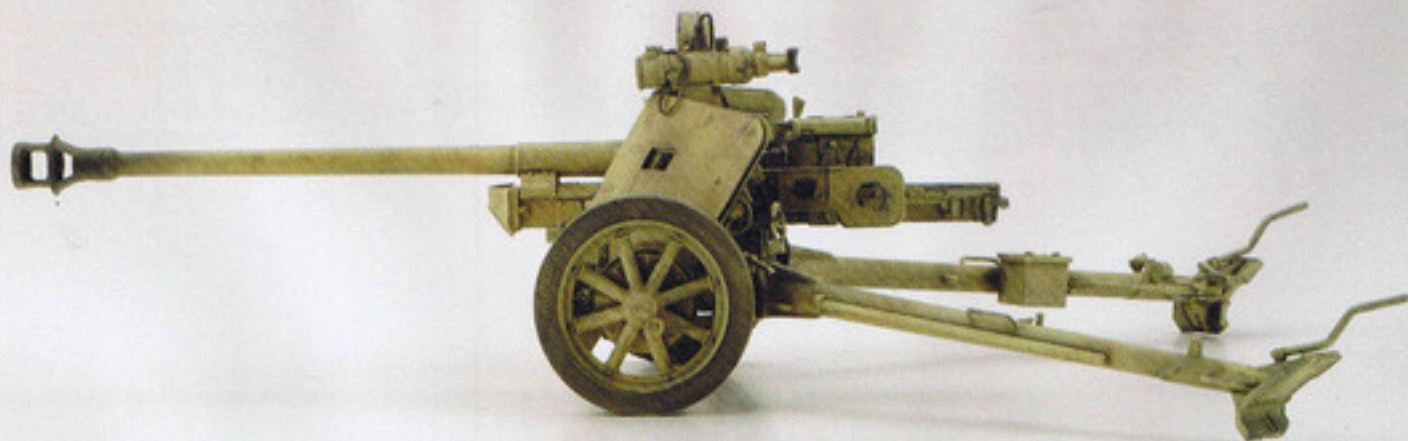
後部ドアの内側の開閉ハンドルなどもアペールのエッチングパーツでディテールアップ。



ドラゴンモデルのフィギュアをベースにしてポーズ変更など改造して使用。

車体後面下部の牽引フックのチェーンもアペールのエッチングを使った

請勿以任形式轉載至貪婪大陸



右側に暗視装置用のバッテリーボックス(?)を装備。



けです。本来ならそれら暗視装置からの配線が発電機、バッテリーなどが繋がっているはずですが、説明書にはそうした指示はありません。

そこで、良い機会なので私もあれこれ調べてみたのですが、結局詳しいことは解りませんでした。噂では暗視装置付きのPaK40は、市街地で破壊された姿の写真が残っているようですが、残念ながら目にすることが出来ま

せませんでした。いずれ当時の発電機やバッテリー、暗視装置への配線方法等が判明するでしょう。

作例では、それらしく暗視装置にコード類の配線を追加作業しました。キットの暗視装置関係のランナー等には説明書での指示はないもののそれらしい部品が付属しています。これらを利用してあれこれ想像しながら作ってしまうのも面白いと思います。



防盾はエッチングパーツによりリアルな仕上がり。ボルトはモデルカステンに交換。



赤外線投射ライトと暗視装置スコープの配線をソフトワイヤーで追加した。正確な配線が不明なので作例はそれらしく。



防盾内側上方に電源ボックスのパーツが付く。

■塗装

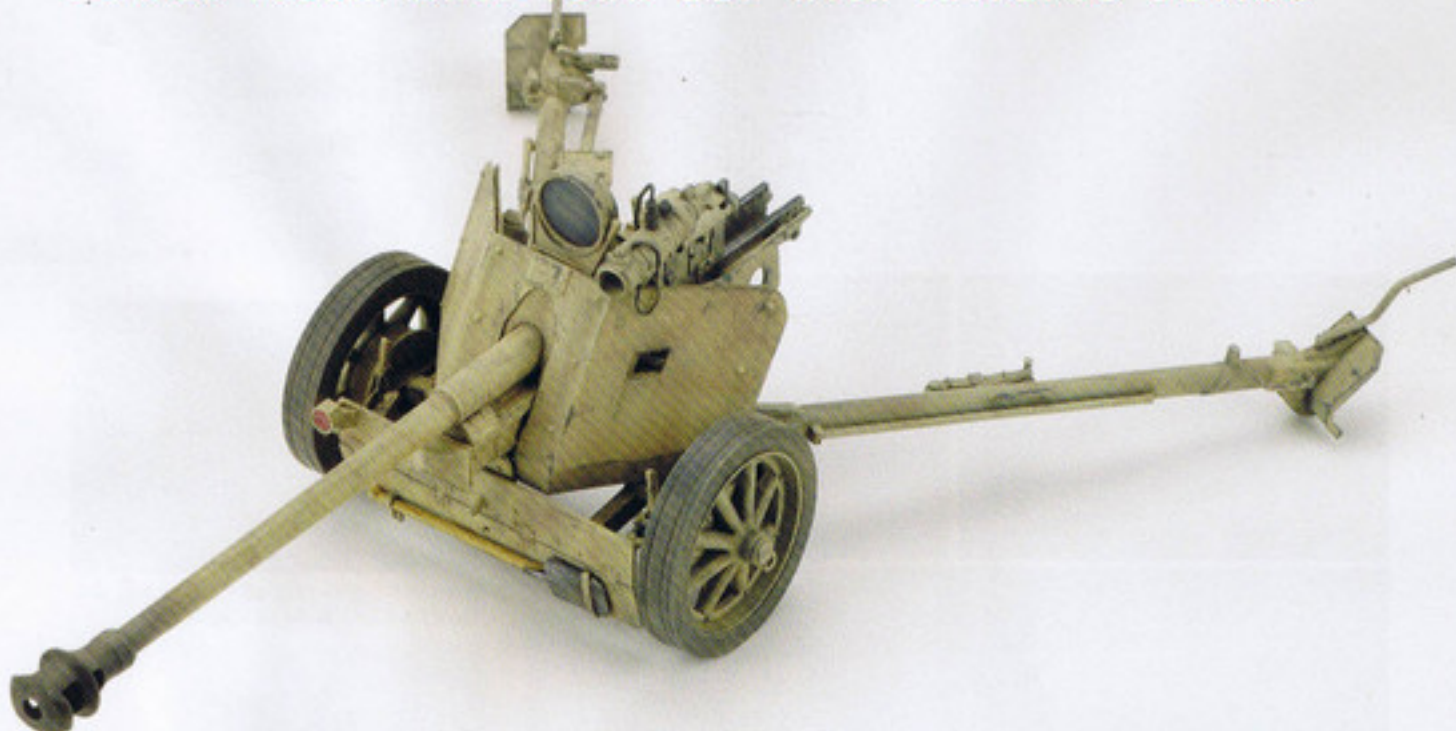
塗装は、アクリルのデッキタンとデザートイエローを混色したものを基本塗装として吹き付けた後、薄くロートブラウンで迷彩を施しました。後は、いつも通り乾燥後にエナメルフラットブラックでウォッシング、さらにドライブラシ、チッピングと進め、最後に砲身先端にバスデルでスス汚れをして完成です。

請勿以任何形式轉載至會聲大陸
嚴禁商業用途

PaK40 7.5cm対戦車砲 赤外線暗視装置搭載型

PaK40 7.5cm Anti-Tank Gun with Infrared Device

バンパイアインkampfgruppe
VAMPIRE
IN KAMPFGRUPPE
WWIIドイツ軍夜間戦闘車両



赤外線暗視装置はドイツ軍の主力対戦車砲だったPaK40においても搭載テストが行われている。PaK40に搭載された機材は、36cm径赤外線投射ライトとFG1250赤外線暗視スコープで構成されたZG1221と呼ばれるアクティブ式夜間暗視システムである。主砲防盾上に赤外線投射ライトを、砲手用照準器上にはFG1250を専用支持架を用いて装備。暗視装置搭載型のPaK40の製造数は不明だが、他の夜戦兵器同様、このPaK40も実戦使用されたといわれている。

■AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘3台セット PaK40
■製作・文：高金 雄
■AFV Club 1/35 Night Fight Group 3 in 1 PaK40 Anti-Tank Gun
■Modeled & Text by HAJIME OSHIGANE



AFVクラブのPaK40は細かなパーツ構成、さらにエッチング製の防盾、アルミ製砲身をセットした出来の良いキット。



防盾中央上部に赤外線投射ライトを、砲手側の照準器の上に赤外線スコープを搭載。



請勿以任何形式
嚴禁商業用途

7.5cm PaK40は、様々なドイツ軍の対戦車砲の中でも最も数多く生産され、戦場写真集でも頻りに目にすることができます。模型を見てもAFVに比べ、キットの種類が極めて少ない火砲キットですが、このPaK40は例外のように1/87~1/6 (!)まであらゆるスケールでキット化されています。主要スケールの1/35ならばタミヤ、イタレリ、ドラゴンモデ

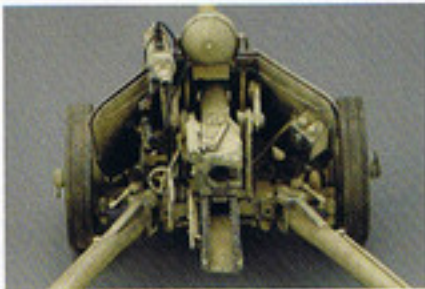
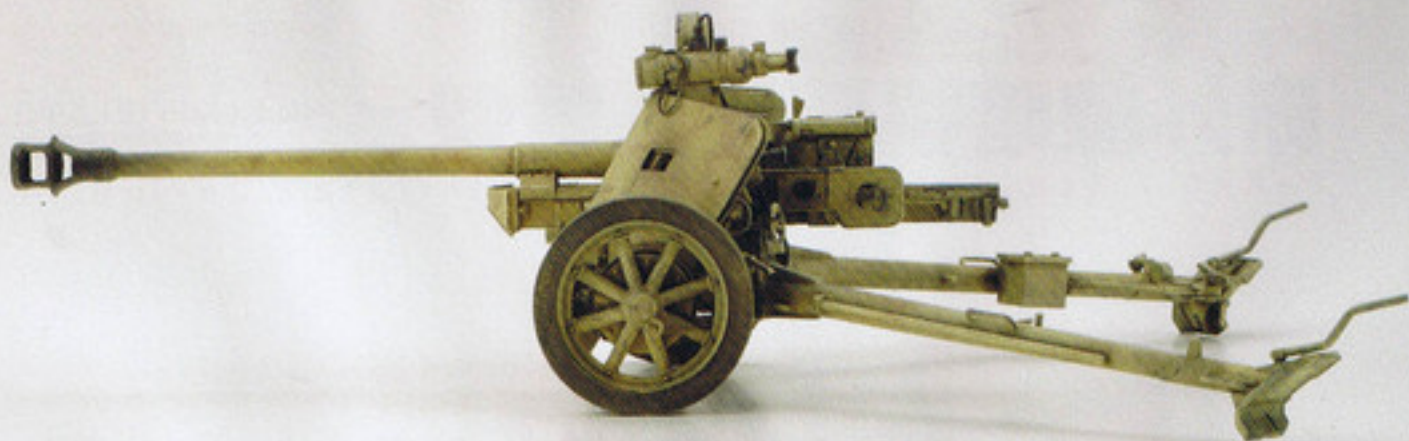
ル、AFVクラブのキットを手にするすることができます。それらの中では後発のドラゴン、AFVクラブの製品は決定版と言っても良いほど素晴らしい内容です。

さて、AFVクラブの「ドイツ夜間戦闘セット」にはPaK40の中でも異色の赤外線暗視装置を装備したキットがセットされています。

■製作

前述のようにキットは非常に出来が良く、明書の指示通り組んでいけば問題ありません。防盾下部のスコープの留め具にアペールのリッチングを使用したのみです。

既に発売されているPaK40との違いは新たに赤外線暗視装置のパーツ類を取り付けるだ



防盾はエッチングパーツによりリアルな仕上がり。ボルトはモデルカステンのパーツに交換。



右側に暗視装置用のバッテリーボックス(?)を装着。



赤外線制御ライトと暗視装置スコープの配線をソフトワイヤーで追加した。正確な配線が不明なので作例はそれらしく。



防盾内側上方に電源ボックスのパーツが付く。

けです。本来ならそれら暗視装置からの配線が発電機、バッテリーなどが繋がっているはずですが、説明書にはそうした指示はありません。

そこで、良い機会なので私もあれこれ調べてみたのですが、結局詳しいことは解りませんでした。暗では暗視装置付きのPaK40は、市街地で破壊された姿の写真が残っているようですが、残念ながら目にすることが出来ま

せませんでした。いずれ当時の発電機やバッテリー、暗視装置への配線方法等が判明するでしょう。

作例では、それらしく暗視装置にコード類の配線を追加作業しました。キットの暗視装置関係のランナー中には説明書での指示はないもののそれらしい部品が付属しています。これらを利用してあれこれ想像しながら作ってしまうのも面白いと思います。

■塗装

塗装は、アクリルのデッキタンとデザートイエローを混色したものを基本塗装として吹付けした後、薄くロートブラウンで迷彩を施しました。後は、いつも通り乾燥後にエナメルブラックでウォッシング、さらにドライブラシ、チッピングと進め、最後に砲身先端にバステルでスス汚れをして完成です。

請勿以任何形式轉載至大陸
嚴禁商業用途

商品化されている“バンパイア”たち

WWIIドイツ軍夜間戦闘車両 & フィギュア・カタログ

VAMPIRE
IN KAMPFGRUPPE
WWIIドイツ軍夜間戦闘車両

ここでは、前ページの制作記事にて紹介できなかった、WWIIドイツ軍の夜間戦闘車両や夜戦装備フィギュアを取り上げてみた。これらは実際にドイツが実戦使用または開発中だった兵器をモデル化したものだが、この他にドイツ計画車両のレジン製キットの中にも赤外線暗視装置のパーツがセットされているものが多数ある。



タミヤ1/35

ドイツ戦車パンサーG スチールホイール仕様

パンサーG初期型のキットに鋼製軽軌（スチールホイール）とともに赤外線暗視装置のパーツを追加。実車写真で知られているG初期型ベースの赤外線暗視装置搭載車を再現することができる。キットには同装置のパーツが3セット入っている。他のキットにもパーツ適用が可能。大戦末期の夜戦型車両や計画車両を製作する際にこのキット付属のパーツは重要。



■製作：石井隆二
■本誌Vol.35にて制作記事紹介

GSイクレオス1/35 パンターG夜間戦闘型

タミヤと異なる、G後期型に赤外線暗視装置を搭載した車両をモデル化。キューボラのMG42機銃、防盾の照準孔、操縦手用ペリスコープの3箇所暗視装置を装備したタイプを再現できる。もちろん、通常のG後期型として組んだ場合は、余った赤外線暗視装置のパーツ類は他キットにも適用可能。



ホビーモデルバウ・シュミット1/35

マードーII赤外線暗視装置搭載型 改造パーツ

ホビーモデルバウ・シュミット社の改造パーツ「IR-Ziel und Fahrergerät / Marder II」は、実際に製作され戦場でテスト使用されたマードーII夜戦型を再現できるパーツセット。パーツはすべてホワイトメタル製で36cm径赤外線投射ライト、砲手用照準用FG1250赤外線暗視スコープ、暗視装置用操作ボックス、操縦手用プリズム式複眼部付きFG1250、フェンダー上の赤外線ライトで構成されている。現時点では入手難。おそらく絶版になっていると思われる。



■製作：佐野隆二
■ベースキット：ドラゴンモデル1/35 マードーII
■本誌Vol.39にて制作記事紹介

ドラゴンモデル1/35

Sd.Kfz.251 Ausf.D 3 in 1

キットは“3 in 1”のコンバージョンキットで、Sd.Kfz.251/1通常型や7.5cm L/24 KwK37を搭載したSd.Kfz.251/9、またはSd.Kfz.251/17フルケのいずれかを製作

することができる。フルケ用の赤外線暗視スコープ、赤外線ライト、電源ボックスや計器箱など各種パーツはちゃんとセットされているが、AFVクラブのキット同様、車体側面に付くサイドデッキのパーツは入っていないので、自作しなくてはならない。キット自体の出来は非常に良く、また同社のフィギュア「NACHTJÄGER (BERLIN 1945)」もセットされている。



ドラゴンモデル1/35

ドイツ・ナハトイエーガー(1945年ベルリン)



M43、M44戦闘車「ライバムスター」迷彩版を適用し、1945年ベルリン戦のドイツ兵を再現。キット付属の武装パーツは、StG44“バンパイア”、典拠銃身“フォアザースト”銃、StG44、フリーガー・フースト（luftfaust）横行対空ロケット弾とかなりマニアック。現在絶版中だが、前述の同社1/35 Sd.Kfz.251 Ausf.D 3 in 1のキットにボーナスパーツとしてセットされている。また同社の他の製品同様、再生産の可能性もある。

ドラゴンモデル1/6

WWIIドイツ陸軍国民擲弾兵 w/StG44バンパイア

ドラゴンモデルの1/6アクションフィギュア。赤外線暗視スコープ“バンパイア”を装備したStG44突撃銃を持つドイツ国民擲弾兵。スプリンター迷彩の防衛ズボンの上に大戦末期らしくM44戦闘服を着用。同1/6シリーズでは過去に“ライバムスター”迷彩版を適用し、StG44“バンパイア”を装備したドイツ兵も発売されている。



ニューコネクション1/35 車両用赤外線暗視装置

ニューコネクション1/35のレジン製パーツ「Infrared Fighting Gear/Vehicles」(品番NC3597)は、Sd.Kfz.251/1フルケやパンターG夜戦型で使用された赤外線暗視スコープと赤外線ライトを装備したMG42機銃架を再現している。ドイツ計画車両や夜戦型改造車両を製作する際におすすめのパーツ。



請の大人任可形大戦載至食大

アメリカ陸軍緊急展開部隊の主力車両

M1126 "Stryker" ICV

M1126 ストライカー歩兵輸送車



■トランベッター1/35
M1126 ストライカー
■製作・文：七瀬 明
■Trumpeter 1/35
M1126 "Stryker" (ICV)
■Modeled & Text by
NEI NANAHOSE

M1126 "Stryker" (ICV)



アメリカ陸軍は、近年大規模な部隊の改編を行っており、その目玉となるのがストライカー装甲車を装備した「ストライカー旅団」だ。歩兵師団内3個旅団の1つが同旅団に改編され、その高い空輸能力から緊急展開部隊の性格が強い。旅団の装備する戦闘車両は、すべてストライカー・ファミリーで占められ、TOWや25mm機関砲塔型、さらに105mm砲を搭載したストライカーMGSも装備されている。そんな話題のストライカーがトランベッター、AFVクラブ、ドラゴンモデルの3社競作となった。まずは先発のトランベッターのキットを紹介しよう。

ストライカーのベースとなったのはスイスのモワク社が開発したピラーニャ8×8装甲車です。そのカナダバージョンがLAV-III装甲車で、それをアメリカ陸軍が採用したのがストライカーになります。ピラーニャ装甲車やLAVは、多くのバリエーションを持ち、各国にも輸出されています。ちなみに、米軍採用までの過程で、

モワク社はアメリカ企業に買収されているので、国産車両といえなくもありません。

トランベッターのキットは、ストライカー・ファミリーの中で基本型ともいえる歩兵輸送型をキット化しています。

■製作

まずちょっと意外に思ったのが、その大きさです。装輪式とスタイルから何となく小さなイメージを受けますが、大戦中のSd.Kfz.251やM3よりも二回りほど大きく、MBTと並べても全く見劣りしないくらいの迫力があります。

キットの内容は、比較的カッチリとした印象で全体の形状が単純なため、組立てに悩む点の注意点はほとんどありません。ただ、パーツによっては、四角形の突き出しピン跡が存在しますから、確実に修正してください。また、パーツの合いは良好なものの、精度が全体的に低めなバリやエッジの乱れが見られるので、少々手が掛かります。実車は現用車同様に細部の造りが結構細かく、キットでそうした箇所をあまり凝り過ぎるとキリがありません。ディテールアップはある程度見切りが必要でしょう。

足周りのサスペンション関係は、問題なく組み上がります。後部の燃料タンク(?)のパーツは実車では面一の状態なので、E9とE11、E10とE12との接合部分をパテで埋めて処理します。タイヤは瞬間接着剤で接着できる素材です。タイヤパーツは中央のブラのハブパーツとの径が合いません。接着してしまった後に気が付いてパテで埋めましたが、パテとタイヤバ

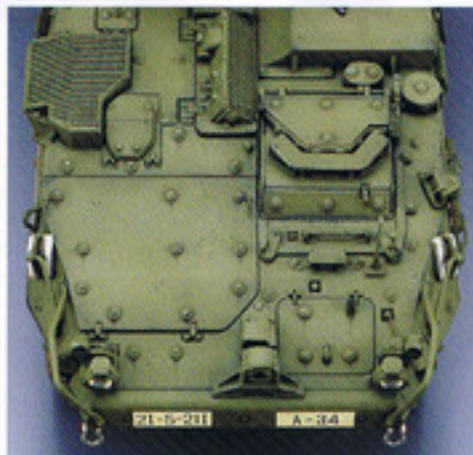




タイヤとホイールハブには隙間が生じるので、組み立てる前に調整しておくこと。



キットの銃機手用ハッチは閉じた状態のみ。



実車写真を見ると、車体上部に実機ワイヤーや防水カバーで覆った道具、予備タイヤなどを積んだ車間も見られる。



ストライカーの基本型M1126では、空輸等の制限により機関砲ターレットではなくRWSプロテクターと呼ばれる小型のリモコン操作式兵器ステーションを装備。

ーツとの相性が良くないため、事前にハブパーツ外側にブラバンを貼って調整しておいた方が良いでしょう。

後部では、牽引フックのベースA18の高さが合いません。ここは、後部パネルを車体と接着した後、ベースの高さをブラバンで調整して牽引フックを取り付けるようにしました。尾灯パーツA13は中央部が凹んでいるので、作例ではウェーブの丸型のHアイズを加工して貼り付けました。

車体上部は、細かなボルト類が一部省略されており、ブラ棒の輪切りやモデルカステンのボルトパーツを付けてディテールアップ。追加装甲を止めるボルトもモールドが甘くなっている箇所があったので、これも同様にブラ棒で直しました。

キットの各ハッチは閉状態を組み立てるようになっています。それでは少々変化に乏しく感じたので、機銃手用のハッチは若干改造し、開けた状態に変更しました。ハッチの取っ手は、真ちゅう線に変更。前部のエンジン用の大型ハッチB7は、取っ手パーツB61が一つか用意されておらず、これも真ちゅう線で作製して

います。

実車には、車体上部のL型のパーツ部分、側面のバスケットの周囲等に装備品を固定するバンド用の小さなフックが無数に付いています。これを再現するのは大変なうえ、既存のエッチングパーツを使っても大きさが合わないの、作例ではオミットしました。

12.7mm機銃はリモコン式で機銃下の前面部にカメラ類が付いていますが、キットはこの部分の表現があっさりしています。ブラバンや他のエッチングパーツ等でディテールを追加し、レンズ部分は前述のウェーブのHアイズを貼り付けました。

車外装備品は、キット付属のパーツとバーリンデンのレジン製のものを使用。キットのパーツは、シワの表現や形も深く良好な出来です。ただし、抜きの関係から、裏面に付けての厚みが足りず、パテ等で補正して使っています。

■塗装

実車は、オリーブドラブ系の単色塗装です。このオリーブドラブの塗装がちょっと曲者で、写真によっては明るく写っていたり、やたら暗

く見えたりと判断に迷います。作例では、ベース色にタミヤアクリルカラーのXF67 NATOグリーンを使用。このまま塗るとウォッシング等で暗くなるため、少量のホワイト、グレー等で明度を上げて塗っています。

ベース色を塗った後、影となる部分にタックブラウンでシャドーを吹きます。その際、平面で構成された本車は、あまりコントラストを付け過ぎると、妙な印象となってしまいますから、溶剤でかなり薄めて、表現が適度になるように注意しました。

その後、エナメル系でウォッシング、ドライブラシ等を施し、最後はパステルのウェザリングで仕上げました。チッピング表現は、実車自体が最新装備ということもあり、少し控えめにしています。

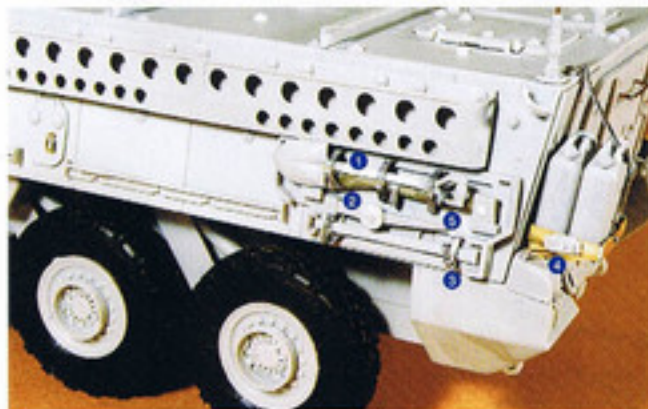
キットのデカールは、細かな注意書きが多く含まれています。ただし、素材がかなり軟らかく、ちょっとしたことで破損や変形が生じるので注意が必要です。ヘタに余白部分を切り取ったりすると、失敗する可能性が高くなりますから、そのまま使用することをお勧めします。



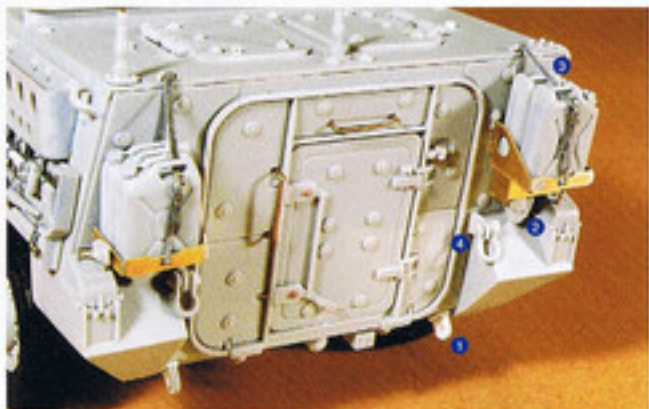
1: モデルカスチンのボルトを模写。2: 釘め穴の開いたサイドプレートの上には多数の小フックが付いている。



1: ヒンジのシャフト部をプラ棒で作製。2: 取っ手を真ちゅう棒で作製。3: 取っ手を真ちゅう棒で作製。



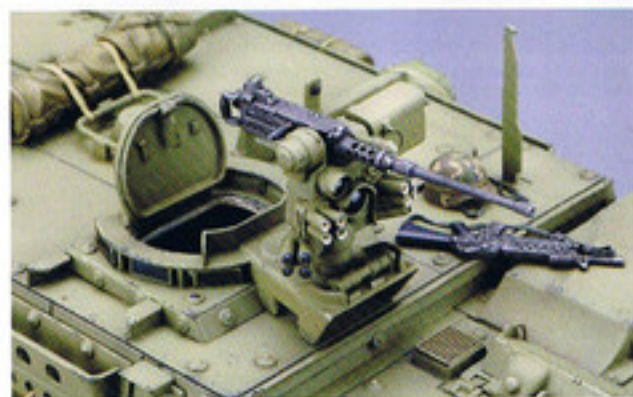
1: スコップの柄の部分にはプラ棒で。2: 柄の基部は他パーツ使用。3: 固定バンドは真ちゅう棒、板鉛、アパールのエッチングで作製。4: 反射板をプラ棒で追加。5: OVMの配置を変更。



1: 車体下部のフックは厚みをアップ。2: 足元にウェーブのHアイズでレンズ再現。3: ジェリカンの固定部は真ちゅう棒、板鉛、エッチングで作製。4: フックの高さを0.5mmプラパンでアップ。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸



12.7mm M2機銃を搭載したRWSプロテクター。熱線映像装置、ビデオカメラ、さらにスモークディチャージャーも装備。



請勿以任
何形式轉
載至貪婪
大陸
嚴禁商業
用途



RWSは12.7mm M2機銃の他に40mm Mk.19オートマチックグレネードランチャーを装備したタイプもある。



実戦で使用されている雰囲気を出したい方は、車体側面にどっさり荷物を取り付けることをおすすめ。



DESERT CHALLENGER 2

in IRAQ バトルブルーにされたイギリス陸軍MBT

独レオパルト2、米M1エイブラムスとともに第3世代MBTを代表的する英国のチャレンジャー。前2車種に比べより武骨で重厚な雰囲気を醸し出し、なおかつ実戦投入の度に多くの追加装備が施されていく姿はモデラーにとっては実に魅力的な存在。日本では今ひとつ人気がないチャレンジャーだが、やはりヨーロッパではレオパルト2、M1に負けず劣らず人気が高いようだ。

今回のユーロモデラーは、本誌初登場のJ.G.ガスケス氏。同氏がイラク戦のチャレンジャー2をリアルに再現する。



■タミヤ1/35 イギリス主力戦車チャレンジャー2 イラク戦仕様
■製作・文：J.G.ガスケス・ガスケス
■Tamiya 1/35 British Main Battle Tank Challenger 2 (Desertised)
■Modeled & Text by Joaquin Garcia Gasquez



車体前部に追加
装甲ブロックを追加。
装甲ブロック
はサンドカラーの
リペイントではな
く、ヨーロッパ
迷彩のままとした。



チャレンジャー1と2の大きな相違は新型の砲塔。チャレンジャーの弱点
の一つだったFCSは新型を搭載し、射撃能力は大幅に向上している。



請勿以任何形式
翻印或再行
嚴禁商業用途

■実車について

チャレンジャー2はピッカーズ・ディフェンス・システムズ社が開発したイギリス軍の現MBTです。チャレンジャー2は一言で言えば、チャレンジャー1のグレードアップ型といえます。

砲塔は完全な新設計になり、複合装甲は新型のチョバムアーマーを採用、熱線映像装置とレーザー測距器を内蔵した車長用パノラマサイトなどを装備しFCSを改良するなど大幅

な性能向上が図られています。主砲は新型のL30 120mmライフル砲を搭載し、それに伴い砲弾も新型のL26劣化ウラン弾が採用されました。

一方、車体はほとんどチャレンジャー1と変わらず、トランスミッションを新型のTN54に変更したり、履帯をドイツのディーゼル製としたくらいでエンジンは1200hpのパーキンスコンダ液冷ディーゼルのままです。そのため同世代のMBTの中では機動力はあまり高くなく、最高速度は56km/hにとどまっ

ています。

しかし湾岸戦争、イラク戦と2度に渡る戦争ではチャレンジャーは、その性能の高さを実証するとともに、問題視されていた機動性の悪さも実用上あまり問題とはならなかったとされています。

■キット製作

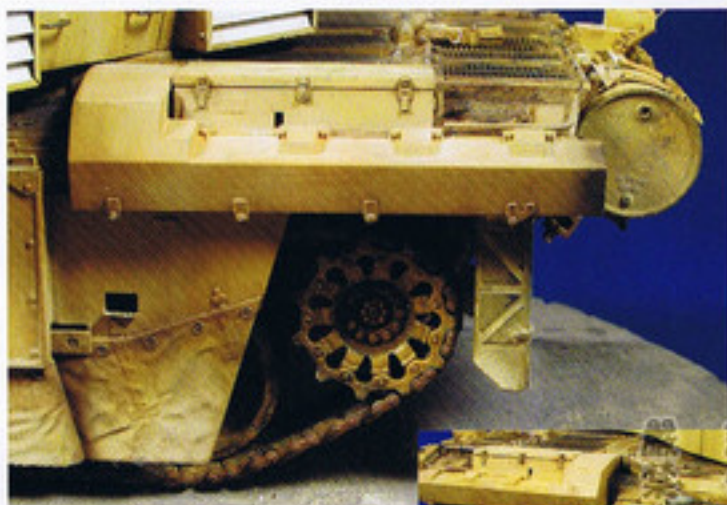
モデラーなら各人、それぞれの模型に対する自分なりのイメージというものを抱いていると思います。チャレンジャー2に対する私



エンジンデッキはスス汚れ、油汚れなどを強調し、リアルに仕上げられている。



砲塔の白いパネルは、味方の誤射を防ぐための敵味方識別用のCIPパネル。



大型のサイドスカートのおかげで足回りがほとんど隠れてしまっているが、砂・泥汚れをリアルに再現。



のイメージは、イラクの戦場で活動する、塗料の汚れや剥がれが多いサンドカラーの車体です。

使用したタミヤのキットは非常に優れた製品です。砲塔、車体上部は新金型パーツですが、車体下部パーツなどは20年以上前に発売されたチャレンジャー1を使用しています。しかしそれらの旧パーツのクオリティは現在見ても遜色ありません。モールドは繊細でディテールも精密に再現されています。

製作に際して、まず手を加えたのは、砲塔、車体上面に施された“滑り止め”モールド（表面がザラついた仕上げ加工）です。この再現には、ヨーロッパのモデラー、Pawel “Vodnik” Krupowicz氏が自身のウェブサイト (<http://www.vodnik.net>) で紹介しているテクニックを使っています。

作業は、最初に“滑り止め”モールドを施す必要のない部分、溶接ラインやヒンジ、アンテナ基部、ハッチ周辺、機関室周辺をマス

キングします。マスキングにはタミヤのマスキングテープやマスコール、ブル・タックなどを使用。

その後、モールドを再現したい個所にGSクレオスのMr.サーフェイサー500を吹き付けていきました。こうした作業を行う際はマスクやゴーグルを着用し、換気もちゃんと行いましょう。

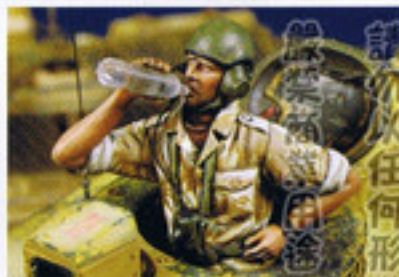
パテが乾いた後に各部を組み立てていきました。作例では、細部のディテールアップに



THE MODELLING by European Modellers

ヘッドはホーネットの「1/35 Heads in Modern UK AFV Helmets (4)」に交換。ポーズを変更しディテールも追加。

フィギュアはバーリンデンの「1/35 British Tank Crew 80's - 90's Gulf War」をベースに改造。



以下のアフターパーツ類を使用しています。

- エデュアルド 1/35 「Challenger II Desert」 (品番35743)
- ボイジャーモデル 1/35 「Challenger 2 Heavy PE Update」 (品番PE35037)
- ライオンマーク・モデル・デザイン1/35 「Challenger II Barrel Replacement」 (品番RLM20000)
- アキュレイト・アーマー1/35 「Modern British Military Fire Extinguishers」 (品番

A079)

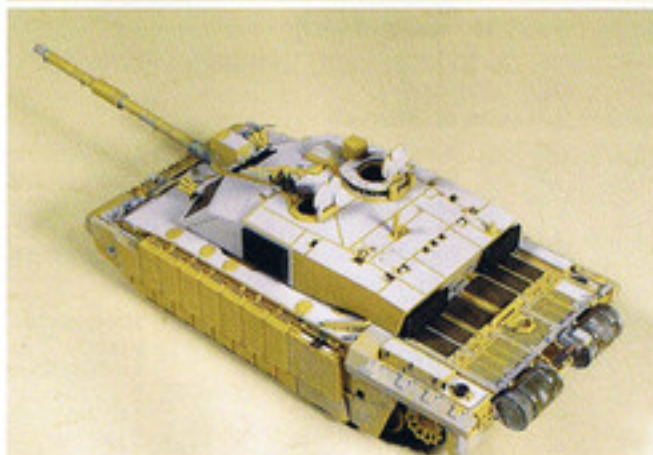
■ フィギュア

現用イギリス戦車兵のフィギュアはあまり発売されていません。そこで、自作することにしました。まずベースとして選んだのは、バーリンデン・プロダクションズの「1/35 British Tank Crew 80's - 90's Gulf War」 (品番0675) です。ヘッドはホーネットの「1/35 Heads in Modern UK AFV

Helmets (4)」 (品番HBH11) のパーツに交換。ポーズを変更し、パテを使ってディテールを追加しました。

■ 塗装

塗装は何よりもリアルに見えることを目指して行っています。まず基本色のサンドカラーはMr.カラーH79サンディイエローに、タミヤアクリルシンナーで希釈したXF3マットイエローをほんの少量加え全体に吹き付



細部のディテールアップには、エデュアルドやボイジャーモデル、ライオンマーク・モデル・デザインなどのエッチングパーツを使用。

基本色の塗装、細部の塗り分けを行った状態。この後、チッピング、ウェザリング、ウォッシングなどを行い仕上げていく。



乗員の乗降・移動などによって塗料が擦り剥がれる箇所はとくにチッピングやスクラッチ表現を強調している。



請勿以任何形式轉載至香港及大陸
嚴禁商業用途

ートし、基本色と迷彩色やチッピングなどを施した部分の色調を整えます。場所によっては綺麗なシンナーを筆に付けて塗りました。

エナメルシンナーを使って油彩でオイルウォッシュし、さらに土・砂汚れを表現するためにピグメントにエナメルシンナーで希釈したアースカラーの油彩を混ぜて使用。またエンジンデッキの汚れや油汚れ、サビなども筆を使って表現。エンジングリルや排気管はア

クリルのマットブラックでドライブラシしています。車体下部の泥の付着は、まずバテを塗り付け、その上にタミヤのXF57バフで塗装、さらにバフに少量の異なる色を混ぜ、ハイライト部とシャドウ部を表現していきました。

■ ベース製作

ベース設定はイラク南部の街、バスラの通

りを進むチャレンジャー2です。木製ベース台の上にポリフォームなどで路盤を製作。照明はMIGプロダクションのパーツを使用。橋面に落ちたポスターはインターネットから該当ものをダウンロードして作製しました。

塗装後、ウォッシング、ウェザリング、ピグメントによる汚しなどを行い完成です。

Twisting Toyz 1/6 WWII Italian Soldiers

ツイステイングトイズ1/6 WWIIイタリア兵フィギュア

1/72~1/35のイタリア兵キットが極めて少ないせいか、同軍兵士の軍装は日本ではあまり知られていない。今回紹介するツイステイングトイズ社のWWIIイタリア兵は地元イタリアのミリタリー研究家が協力しているだけありユニフォーム、小火器、装備品などがかなりリアルに再現されている。コレクションとして、また立体資料としてフィギュアモデラーなら要チェックの製品だ。

■協力:ツイステイングトイズ ■Special thanks to Twisting Toyz
www.twisting-toyz.com

1/6ミリタリーアクションフィギュアはスケールモデルの1カテゴリーとして多くのファンに支持されている。この分野はすでに現用アメリカ兵とWWIIドイツ兵の2本柱が主流となってしまった感があるが、そうした傾向の中でツイステイングトイズ社の製品ラインナップはなかなかユニークだ。当初は現用ヨーロッパ軍、現用ソ連軍兵などを発売、そして最近ではWWIIイタリア軍兵士に力を入れている。今回紹介するツイステイングトイズ社の



“トレント”自動車化師団第7ベルサグリエリ連隊軍曹

■エル・アラメイン戦 1942年10~11月

SERGEANT 7th BERSAGLIERI REGIMENT "TRENTO" MOTORIZED DIVISION

BATTLE OF EL ALAMEIN, OCT/NOV 1942



北アフリカ戦線最大の激戦地エル・アラメインで戦った第7ベルサグリエリ連隊の兵士を再現。ユニフォームはCamiciotto Saharianoという熱帯地帯専用の“セカンド・タイプ”と呼ばれるモデルを着用。ヘルメットもこれまた熱帯地帯用。同連隊のトレードマークの羽根飾りもちゃんと再現されている。



武器はカルカノM1891カービンと6.5mm弾5発装填クリップ×4個、SRGMモデル35手榴弾×2発。



服はCamiciotto Saharianoの“セカンド・タイプ”を着用。マガジンポーチは茶色革製タイプを再現。



ショルダーバック式の大規模な水筒も付属。

熱帯地帯用ヘルメットの他にフェルト製“フェズ(円錐形のトルコ帽)”もセット。

“パビア”歩兵師団第28歩兵連隊機関銃手

■エル・アラメイン戦 1942年10~11月

MACHINEGUNNER 28th REGIMENT "PAVIA" BATTLE OF EL ALAMEIN, OCT/NOV 1942



同じくエル・アラメインのイタリア兵だが、こちらは第28歩兵連隊所属ブレダM1937重機関銃手を再現。ユニフォームは3個ボタン・ブルオーバー式の熱帯地帯Camiciotto Saharianoだがポケットのフラップがストレート(第7ベルサグリエリ連隊兵は波形)になったタイプを再現している。



このセットの目玉ともいえる8mmブレダM1937重機関銃。リアサイト、レシーバーデッキ可動、三脚の脚は伸び縮み可能、さらに三脚に設置した機銃は上下左右に可動する。総弾用20発弾匣は2個セット。

ベルトにベレッタM1934のホルスターを装着。ホルスターの中にはちゃんとM1934が入っている。



記章、階級章、部隊章なども細かく再現されている。



海兵隊“サンマルコ”大隊兵士

■1942年トブルク防衛戦

MARINE "SAN MARCO" BTG.
DEFENCE OF TOBRUK, 1942



トブルク戦で果敢に戦ったことで知られるサンマルコ海兵隊兵士を再現。サンドカラーのセーラー服タイプの熱帯地用ジャケットとM1933ヘルメット、長いキャンパス製ゲートルを着用。ヘルメットに描かれた海兵隊のマークもしっかり再現されている。



銃はベレッタ M1938A短機関銃。さらにM1938A用パヨネット、20連マガジン×2個、水筒タイプの帽子とタイが付属。



サンマルコ海兵隊兵士の特徴ともいえるサンドカラーのセーラー服タイプのジャケットを再現。水筒、旧型のM1938小銃用パヨネット、雑誌を装着。



M1938A用パヨネットは折りたたみ可能。折りたたむと通常のシースナイフとしても利用できる。



全フィギュアには予備の手首も付属。ツメ、シワのモールドがリアル。



“ベニト・ムッソリーニ”第1ベルサグリエリ大隊兵士

■イタリア/ユーゴスラビア国境防衛戦 1945年4月

"B.MUSSOLINI" BERSAGLIERI BTG.
DEFENCE OF THE ITALO-YUGOSLAV BORDER, APRIL 1945



1943年9月のイタリア休戦後、枢軸イタリアRSI軍として大戦末期にイタリア/ユーゴ国境付近で戦っていた第1ベルサグリエリ大隊兵士の姿を再現。カーキのブルオーバー式のジャケット、グレイグリーンのズボンを着用。M1933ヘルメットには同大隊特有の羽根飾りが付く。



腰に付けたスコップと旧型のM1938小銃用パヨネット。

M1935ガスマスク・パック。戦場では手榴弾や銃弾入れとしても代用された。



ユニフォームは襟章、階級章など細部まで再現。ベルトには首掛け式の2連式マガジンポーチを装着。



カルカノM1938ライフルの他にドイツ軍のパンファースト60、M1938用7.35mm弾薬弾クリップ×2個、さらに赤いフェルト帽もセット。

"モンテ・セルピノ"アルピニ・スキー大隊兵士

■ソ連/ニコライエウカ 1943年1月

"MONTE CERVINO" ALPINI SKI BTG.

NIKOLAJEWKA-RUSSIA, JANUARY 1943



上下セパレートの白いスノースーツ、そして白い布製マガジンポーチなどいかにも山岳スキー部隊らしい服装が特徴。ヘルメット、帽子、2種のマガジンポーチ、大型リュックサックなど装備品も多数セットされている。



アルペン山岳帽を兼用することもできる。



山岳部隊用リュックサック。



山岳部隊らしくパヨネットとピッケルを装備。



カバー無しのM1933ヘルメットを付けた状態。部隊マークと羽根飾りもちゃんと再現されている。

カルカノM1891カービン(スパイク式パヨネットは折りたたみ可能)と専用弾薬クリップ×2個、SRCMモデル35手榴弾、さらに予備の手首もセット。

ネンボ独立空挺大隊兵士

■イタリア/ローマ カステル・ディ・デシマ 1944年6月4日

NEMBO INDEPENDENT PARACHUTE BTG.

CASTEL DI DECIMA, ROME-ITALY JUNE 4TH 1944



イタリア休戦後、枢軸側イタリアRSI軍として戦った「ネンボ」パラトルーパーを忠実に再現。ユニフォームはM1929迷彩布地の空挺兵士用スモックの下にM1941ジャケットとM1941空挺兵士用ズボン。頭にはM1929迷彩カバーを被せたM1942空挺ヘルメットを兼用した典型的な伊空挺兵のスタイル。



空挺用弾帯ベストは前面に5本の短機関銃用予備マガジンポーチと6発の手榴弾ポーチを配置。背面には7本の短機関銃用マガジンポーチを装着。



迷彩スモックの下にはグレイグリンの襟無しM1941ジャケット、ロールネックのセーターを兼用。



付属の武器は、ベレッタM1938A短機関銃、30連予備マガジン×12本、SRCMモデル35手榴弾×6発。

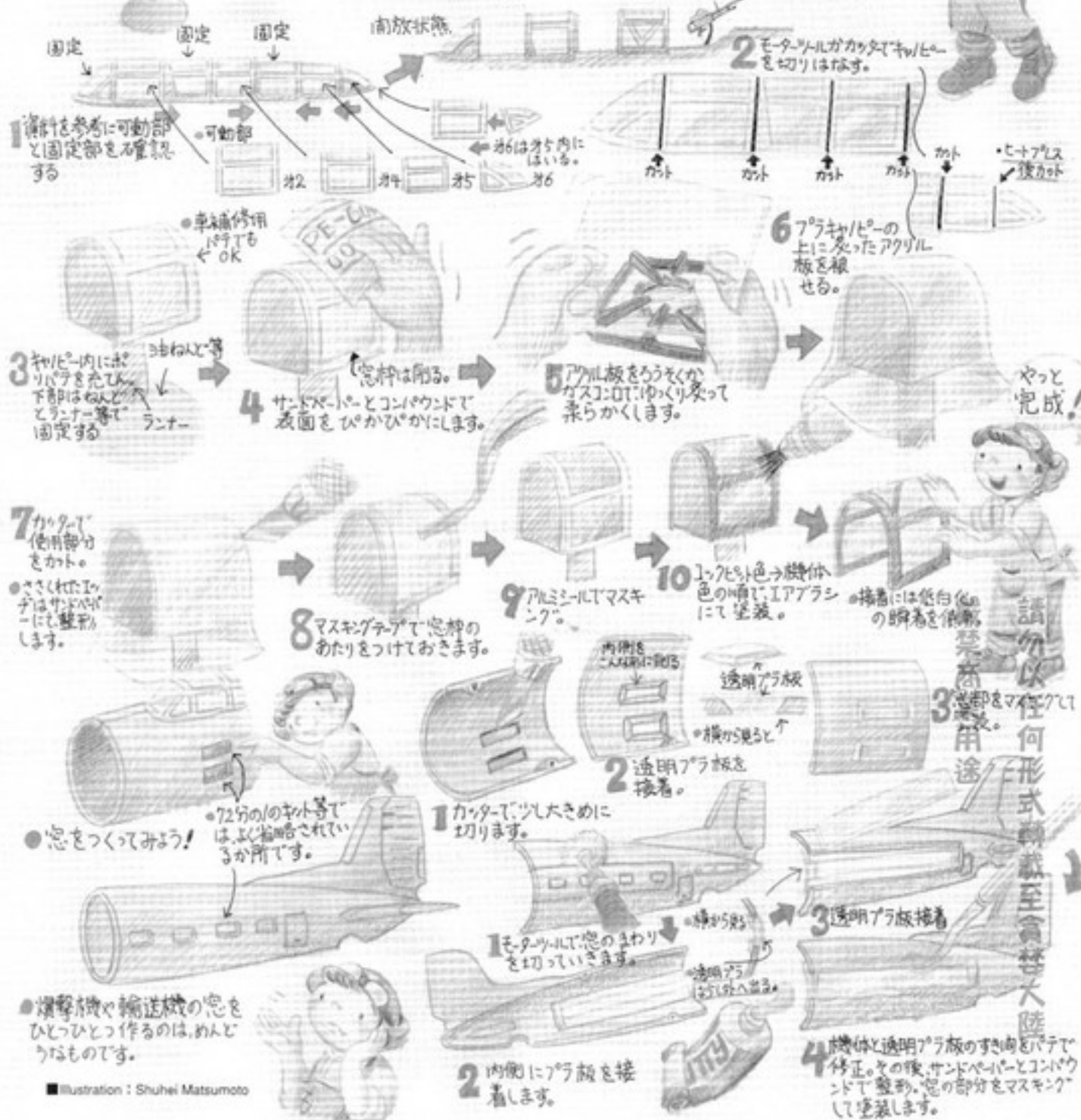
請勿以任何形式轉載至貪婪大陸



●中絶速報(キヤ/ピーを南けてみよう!)

今回はキャビネ等透明化についてお話しします。せっかく
ソフトを作ったとしても、キャビネを凍らせてしまう。見えなくな
ってしまうとやっぱり悲しい。特に複座以上の場合は、いかりキャ
ビネを凍らせてコックピットやパイロットも見えるように演出しましょ
う。エアモデルの世界が、もっと楽しいものになります。めんどくさ
がらないで時間を少しかけて、キャビネを作ってみませんか。
また、輸送機等。特に72分の1のモデルは、機体の窓を掘削
したシートが90%あります。その時も同分を窓を作ってみよう

●図面や写真を見て開放状態を確認する。



PRESENT VEHICLE LINE No.17

Stryker in detail

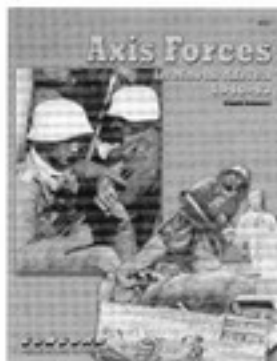


アメリカ陸軍のストライカー装輪装甲車は、今もっとも注目されている車両のひとつ。トランベッター、AFVクラブ、ドラゴンモデルが立て続けに1/35キットを発表しているが、本書の発売は非常にタイムリーでありたい。収録されている車両は、基本型ともいえる、50口径M2機銃装備型とMk.19グレネードランチャー装備型のM1126兵員輸送型2車種(キット化されているのはM2機銃タイプ)をはじめ、M1127偵察車型、M1130指揮車型まで網羅。車体外装部、インテリアなど各ディテールはもちろん、スラット装甲、ドーザーブレード、メインブラウといった追加装備品の写真も満載。

■WWP刊
■英語 132ページ
■5670円(税込み)
■問い合わせ: 西山洋書



Axis Forces in North Africa 1940-43



1940~1943年北アフリカ戦線で戦ったドイツ軍とイタリア軍の兵士たちを捉えた多数の戦場写真とカラーイラストで構成された写真資料本。フィギュアモデラーやジオラマビルダーにお勧めの1冊だ。とくにイタリア兵の資料をお探しの方にオススメしたい。なんと本書の3/5がイタリア兵に充てられており、同軍兵士のユニフォーム、軍装、小武器などがよく分かる。カラーイラストはフィギュア塗装時に大変参考になる。

■Concord刊
■英語 52ページ
■1575円(税込み)
■問い合わせ: ハセガワ



Landing Ship, Tank (LST): 1942-2002



Vietnam Riverine Craft 1962-75



British Submarines 1939-45



New Vanguard

No.115 Landing Ship, Tank (LST) 1942-2002

No.128 Vietnam Riverine Craft 1962-75

No.129 British Submarines 1939-45

オスプレイ社ニューバングード・シリーズの断片はいずれも艦船・船舶モノ。No.115は第二次大戦のアメリカ軍上陸用舟艇LST。No.128はベトナム戦争時に活躍した河川哨戒艇。そしてNo.129は第二次大戦のイギリス海軍潜水艦にスポットを当て、多数の戦中写真とカラーイラストを交えて詳細に解説している。艦船の中でもとくに資料が少ないアイテムなので、本書3冊の資料的価値は高い。

■Osprey刊
■英語 48ページ
■2993円(税込み)
■問い合わせ: 西山洋書

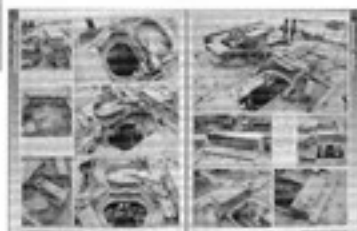
In Detail Special No.4

Strv 103B/C

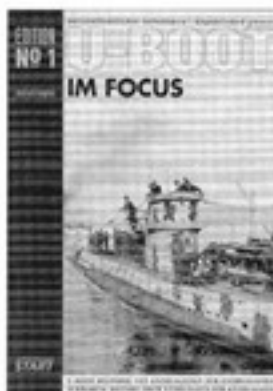


Strv.103のディテール写真集。「S戦車」は特異なスタイルでそれなりに人気があるにもかかわらず、模型製作に役立つ資料がほとんどなかった。本書の発売を喜んでAFVモデラーは多いはず。撮影対象となっているのはベルギー王立陸軍博物館所有のC型。車体の各部はもとより、戦闘室内やエンジン、さらに車体前面に追加装備したスラット装甲(1)まで多数の写真でしっかり網羅されている。これで安心してトランベッターのキットを製作することができる。

■WWP刊
■英語 72ページ
■5670円(税込み)
■問い合わせ: 西山洋書



U-BOOT IM FOCUS No.1



第二次大戦のドイツUボートの活動と特定の艦にスポットを当て詳細に解説。登場する艦はII型U-9、VIIA型U-28、U-29、U-31、U-33、VIIB型U-53、U-202、U-95、VIIC型U-604、U-404、U-202、U-480、IX型U-67、U-108、XXI型U-2360、U-3038など。実艦の写真をはじめ艦長、クルーの写真多数。さらに艦橋のパーソナルマークのクローズアップ写真やカラーイラストも掲載されている。

■Star刊
■ドイツ語/英語 50ページ
■4232円(税込み)
■問い合わせ: 西山洋書



Osprey Modelling

No.35 Modelling the US Army M4 (75mm) Sherman Medium Tank

No.36 Modelling the Messerschmitt Bf 109F and early G series

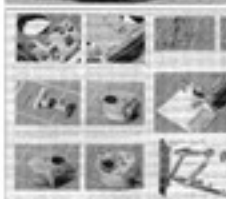
Modelling the US Army M4 (75mm) Sherman Medium Tank



Modelling the Messerschmitt Bf 109F and early G series



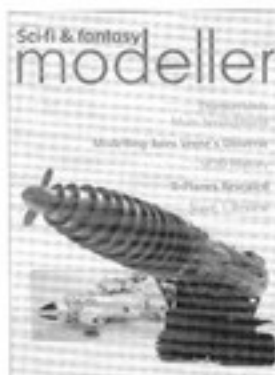
No.35は1/35のM4 75mm砲装輪型。デリングミヤ、ドラゴンモデル、レリなどのキットをベースに改造・自作したり、他のキットのパーツや市販のディテールアップ&アクセサリパーツを多用し制作した作品はいずれもかなりの力作なのでM4を作りた方は必見である。No.36はハセガワ、ファインモールド、トランベッター等の1/72~1/48 Bf109F/G初期型を製作。ディテールアップや自作・改造などの製作工程、さらに塗装工程もカラー写真を多用して丁寧に解説している。



■Osprey刊
■英語 80ページ
■4095円(税込み)
■問い合わせ: 西山洋書

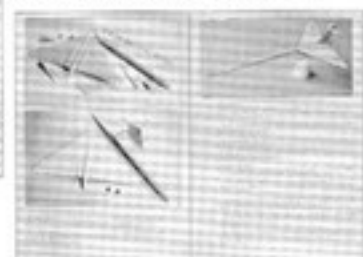


Sci-fi & fantasy modeller Vol.4



■Happy Medium Press刊
■英語 98ページ
■4767円(税込)
■問い合わせ:西山洋書

いわゆる宇宙SF模型のモデリングガイド。製作記事は「サンダーバード」ジェットモグラ(オリジナルでは「モル」って言うんですね)、「ジョー90」エクスパローシブ・トラック、「スタートレック」エンタープライズNX-01、「海底2万哩」ノーチラス号、「スターウォーズ」スレイブ1などのSFモノやハッブル宇宙望遠鏡、アポロ730超音速爆撃機など宇宙と航空機モノなど盛りだくさん。40代以上の方にはなつかしめなオムニバード。



REPLIC No.187



■D.T.U.Studio刊
■フランス語日本語訳付き 66ページ
■1575円(税込)
■問い合わせ:ホビーショップ・ガネット

フランスの飛行機プラモデル。製作記事は、アズール148 ボテース631、ドラゴンモデル148 ユンカースJu88P-1、MDC 1/32 ホーカー・タイフーンMK.Ib。製作記事はカラー写真で各工程をわかりやすく解説。またユンカースJu88の記事には24機分のカラー塗装&マーキング・イラストを併載。これらは当然、製作の際に参考になる。さらに新製品、新刊情報なども見所多し。とにかく飛行機モデラーなら要チェックの1冊である。



Steel Art No.40



■Auriga Publishing刊
■イタリア語 66ページ
■価格未定(入荷時期は要確認)
■問い合わせ:西山洋書

同じくAuriga社から発行されているAFV模型専門誌。最新号の製作記事はレベル1/72 ティーガーII、レベル1/72 T-72M、タミヤ1/35 ティーガーII、ドラゴンモデル1/35 III号突撃砲G初期型、タミヤ&ドラゴン改造 IV号突撃砲戦車後期型、AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251ウーフェ、さらに1/35フィギュア製作法など。各製作記事はオールカラーで製作工程を詳細に解説。とくに1/35 ティーガーIIは内部を完全再現し、ジオラマにした力作。ティーガーIIとG突撃の記事には実車写真も併載。新製品や新刊情報も充実している。



「問い合わせ」
当コーナーで紹介した書籍の問い合わせの際は、「マスターモデルズ第47号を見て～」と先方にお話ください。

●西山洋書
●銀座店
●池袋店
●神戸店
●通販店
〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-13 成田屋ビル3F
Tel 03-3562-0820
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-2-2 ウエストワン1F
Tel 03-3981-6301
〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町2-11-1
センタープラザ西館3F アクセルワーク内
Tel 078-332-3596

TAMIYA Model MAGAZINE No.137



■ADH Publishing刊
■英語日本語訳付き 66ページ
■145円(税込)
■問い合わせ:タミヤ

製作記事は、タミヤ1/48 KV-2、タミヤ1/32 雷式水上戦闘機21型(カラー塗装図併載)、ホワイトエンジン1/350 HMS L級駆逐艦速龍、タミヤ1/35改造 ドイツ戦車兵、1/43 フェラーリ575 2004年セプリング12時間レース仕様など。各製作記事はディテールアップや塗装の仕方を丁寧に工程を追って解説している。注目の新製品や洋書新刊などの情報も満載だ。

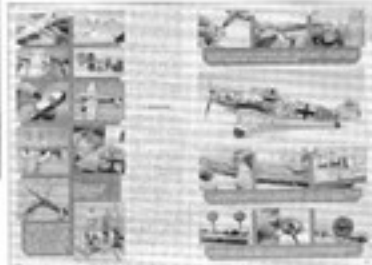


MODEL TIME No.129



■Auriga Publishing刊
■イタリア語 74ページ
■価格未定(入荷時期は要確認)
■問い合わせ:西山洋書

イタリアの月刊模型専門誌。製作記事は、ヤンキーモデルワークス1/350 日本海軍戦艦 霧島、アズムット1/35 フランス重戦車FCM35軽戦車、フジミ1/48 メッサーシュミットBf109G5、ハセガワ1/72 川西 強風、タメオ1/43 ティレル・フォード008、イタレリ1/35 PT 596魚雷艇など。さらにイタリアでの模型イベント・レポートや新製品&新刊情報なども掲載。



月刊グランドパワーNo.157 2007年6月号



■144ページ
■2350円(税込)
■問い合わせ:ガリレオ出版

特集は74式戦車のパート1。74式戦車の開発史を詳細に解説。開発途中や試作時の貴重な写真が満載。さらに74式の開発に際してこれまでにありなかった秘話など見逃し読みあり。その他、多数の実車写真やイラストを交えマーダーIIH型、アズモンに改造されたオランダ軍車両、日本の防弾鋼板、イギリス戦車デトロイトの走行機構などを掲載。



請ふ以任何形式轉載至貴社大陸

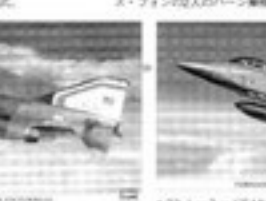
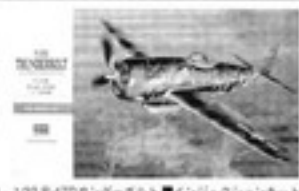
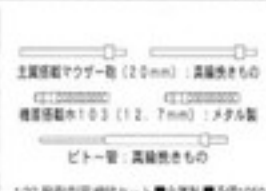
●ホビーショップ ガネット
〒662-0047 兵庫県西宮市青町2-35
コーワビルディング2F
Tel 0798-26-6168
●タミヤ
〒422-8610 静岡県静岡市蓮田3-7
Tel 054-281-1340/054-283-0003

●ガリレオ出版
〒101-0061 東京都千代田区三輪町2-2-13
Tel 03-3556-3099
●ハセガワ
〒425-8711 静岡県焼津市八幡3-1-2
Tel 054-628-8241

Pick up the pieces!

静岡ホビーショーで陸海空の新製品が続々登場！ ハセガワ1/32三式戦闘機 飛燕I型丙、1/350宗谷「第三次南極探検隊」、1/700重運青葉/衣笠、タミヤ1/35駆逐戦車ヘッツナー、1/35 UEトラクター、1/350伊-400、ドラゴンモデル1/35 パンサーG w/スチールホイール、ドラゴンモデル&トランベッター 1/35 ディッカーマックス、ビットロード1/144 エアクション艦LCAC、……。

■ハセガワ ③ハセガワ



■タミヤ ○タミヤ



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



1/12 ガワサキ
Ninja ZX-RR
■インジェク
ションキット
■予価2475円
■6月中旬予定



1/12 ガワサキ Ninja ZX-RR フロントフォークセット
■全品別 ■予価1890円 ■6月中旬予定

日本ショー販売新製品 (スケール関連)

- 1/35 ドイツ駆逐戦車ヘッサー ■インジェクションキット ■価格880円 ■8月中旬予定
- 1/35 フランス駆逐車UEトトラクター ■インジェクションキット ■予価2830円 ■8月中旬予定
- 1/48 ドイツ大型軍用車シュタイヤー1500A01 ■インジェクションキット ■予価1890円 ■7月中旬予定
- 1/48 イギリスフルセーダーMA3022駆逐車MA ■インジェクションキット ■価格880円 ■7月中旬予定
- 1/48 アメリカ多兵部隊休息セット ■インジェクションキット ■価格880円 ■8月中旬予定
- 1/48 フィアットCM42自走砲 ■ドイツ完成 ■インジェクションキット ■価格880円 ■7月中旬予定
- 1/72 ユンカーズJunkers Ju-87 スターク ■インジェクションキット ■予価1365円 ■7月中旬予定
- 1/350 日本陸軍歩兵隊伊400 ■インジェクションキット ■価格880円 ■7月中旬予定
- 1/48 ドイツ駆逐戦車エレファント 300mm口径榴弾砲 第149師 1944年 ■20品 ■予価171500円 ■6月中旬予定
- 1/48 ドイツ駆逐戦車タイガーI 88mm口径榴弾砲 アフリカ戦 第501重戦車大隊 第49師 1944年 ■20品 ■予価14500円 ■6月中旬予定
- タミヤV12 (80mm) ■フル ■価格2940円 ■7月中旬予定
- サーフワイヤー (80mm) 40mm口径 ■フル ■価格2150円 ■7月中旬予定

■ドラゴンモデル ○ハセガワ



1/35 パンサーG 40mmスチールホイール ■インジェクション
キット ■価格2990円 ■300mmスチールホイールを新規開発、
マジックトラックなどを採用したスマートキット。



1/35 UH-1D ヒューイ ■インジェクションキット ■価格
3990円 ■ハットラム機などでも採用した製作ヘリが1/35で
リリース。カラーシタリングが付属。



1/35 IV号A型 10.5cm対戦車自走砲「ディッカーマックス」 ■
インジェクションキット ■価格3990円 ■V号系ながら戦用
パーツを大量投入。トランベッターとガンコ機員の自由砲。



1/35 ドイツ自走砲クルー ■インジェクションキット ■価格
1134円 ■マードラー30などの自走砲車内に乗込る4体のフィ
ギュアセット。



1/35 トチンコープ戦団「ブダペスト1945」プレミアムエディ
ション ■インジェクションキット ■価格 1292円 ■武装パー
ツなどもGent規格にしたプレミアム版で再リリース。



1/72 M4A1 シャーマン 105mm HVSS ■インジェクション
キット ■価格1575円 ■105mm砲塔前後、HVSSサスの
M4A3を再現。ファーストエディションボックスが新登場。



1/72 シャーマンM4A3 ■インジェクションキット ■価格1575
円 ■基本キットに砲塔パーツを追加し、105mm砲塔1/72
で実車シャーマンが完成。



1/72 Sd Kfz 251/10 Ausf C 3.7cm対戦車自走砲 ■インジェ
クションキット ■価格1575円 ■まだに展開する251シリーズ
。今回は新登場の7.9cmPakを追加し、251-10を再現。



1/72 T-34/76 Mod.1942 製品改良 ■インジェクション
キット ■価格1575円 ■砲塔を新登場のレプリカ製ともいわれる
真の真実タイプ1942年型T-34を再現。



1/72 M4A1(76)W シャーマン ■インジェクションキット ■
価格1575円 ■車体上部、VVSSサスなどを新登場とし、
M4A1 76mm砲塔を再現。アルミ砲身も付属。



1/72 バイナクA4M219B-1 ■インジェクションキット ■価格
2730円 ■A型キットに新しい実装を追加。キャノピーを
新設計として8+1型を再現。



1/700 U.S.S.イングラハム FFG-61 ■インジェクション
キット ■価格2730円 ■100mm海軍ミサイルフリゲート艦、ハイ
ドローイル型ミサイルも付属。

■ドラゴンアーマー ○ハセガワ



1/72 Sd Kfz 251/7 Ausf C 8cm自走砲 (リベットタイプ)
■完成品 ■価格2415円



1/72 Sd Kfz 165 フンメル砲台型 第19装甲師団 第19装甲
師団 東部戦線1944 ■完成品 ■価格2415円



1/72 Sd Kfz 165 フンメル 第1装甲師団 第19装甲師団 砲
台型 1943年 ■完成品 ■価格2415円



1/72 Sd Kfz 251/7 Ausf C 8cm自走砲 第19装甲師団 砲
台型 1944 ■完成品 ■価格2415円

■ドラゴンウィングス ○ハセガワ



1/72 ユンカーズJunkers Ju-87 スターク
ウルリッヒ ルーデル 第100師団
完成品 ■価格4200円



1/72 M4A1(76)W シャーマン 砲台型 第19装甲師団 砲
台型 1944 ■完成品 ■価格2075円



1/72 Sd Kfz 181 タイガーI ハイブリッド 第506重戦車大隊
アルデンズ1944 ■完成品 ■価格2415円

■トランベッター ○インターアライド



1/350 イギリス 海軍艦艇 ウェ
アラース 16機入
■インジェク
ションキット ■価
格900円

1/350 イギリス 海軍艦艇 フェ
アリーII F 16
機入 ■イン
ジェクシ
ョンキ
ット ■価
格900円

1/350 アメリカ 海軍艦艇 OSG
リキッドフ
ォー
ン機入 ■
インジェ
クション
キット ■価
格900円

1/350 アメリカ 海軍艦艇 SC-
1シーカー 16
機入 ■イン
ジェクシ
ョンキ
ット ■価
格900円

1/35 IV号A型 10.5cm対戦車自走砲 ディッカーマックス 砲
塔特別仕様 ■インジェクションキット ■価格3570円 ■ド
イツの30mm自走砲キット化。2000個限定のオリジナルパ
ッケージ。アルミ砲身付属。

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸



1/72 イタリア陸軍 C1 アリエテ ■インジェクションキット
■価格1575円 ■1/72インジェクションで約4リソースと
なるイタリア陸軍C1。新機はスタイルが新機。



1/72 イギリス陸軍 チャレンジャーII (300R) ■インジェ
クションキット ■価格1575円 ■英国陸軍MBT。前面にドー
ザーブレードを装備したコソバ型最新鋭戦車の車体を再現。

1/350 アメリカ海軍 101
エッジワース SS
ジョン・W・
ブラウン ■イ
ンジェクション
キット ■品
価4830円 ■
フルマシンの
上乗せ組立の
「40年」に参
加した船員、
フルマシンの
再現。



■ホビーマスター ○インターアライド



1/56 タイガーI (200) 武備SS「ミヒル・ヒットマン」 戦車
88mm戦車砲3連装 ■完成品 ■価格3675円



1/72 TBM-3 アベンジャー 「フューダ・トラリアンブル」
■完成品 ■価格5040円



1/72 TBF-10 アベンジャー 「ジョージ・ブッシュ」 ■完成
品 ■価格5040円



1/72 F4F ヘルキャット 「フランス海軍」 ■完成品 ■価格
3990円

■イージーモデル ○インターアライド



1/72 ソビエト軍 T-34/76 1943年型 ■完成品 ■価格1575円



▲1/72 ソビエト軍 T-34/76 1943年型 ■完成品 ■価格1575円



1/72 ソビエト軍 T-34/76 1943年型 各車体 ■完成品 ■品
価1575円



1/72 ソビエト軍 T-34/76 1943年型 2色塗装 ■完成品 ■品
価1575円



1/72 イタリア陸軍 C1 アリエテ ■完成品 ■価格1890円



1/72 イタリア陸軍 C1 アリエテ ■完成品 ■価格1890円



1/72 イタリア陸軍 C1 アリエテ 3色塗装 ■完成品 ■価格
1890円



1/72 M4A3 シェーマン (76) W 第4戦車大隊 1機中隊 ■完成
品 ■価格1575円



1/72 M4A3 シェーマン (76) W 第14戦車大隊 12機中隊
■完成品 ■価格1575円



1/72 M4A3 シェーマン (76) W 第37戦車大隊 4機中隊 ■
完成品 ■価格1575円



1/72 M4A3 シェーマン (M4) 第10戦車大隊 ■完成品 ■品
価1575円



1/72 M4A3 シェーマン (M4) アメリカ陸軍 ■完成品 ■品
価1575円



1/700 ロシア海軍 アクラ級潜水艦 ■完成品 ■価格1260円



1/700 アメリカ海軍 SSN-21 シーウルフ ■完成品 ■価格
1260円



1/700 アメリカ海軍 SSN-21 シーウルフ ■完成品 ■品
価1575円



1/72 M4A3 シェーマン (M4) 「CLASSY PEG」 ■完成品
■価格1575円

■GSIクレオス ○GSIクレオス



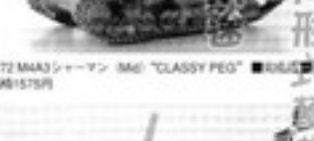
Mr. カラーGX ケールホワイト/スーパークリアー ■価格1210円 ■より鮮やかな
発色と、下地の色を隠す力。さらに強い塗膜を実現したGXシリーズが登場。従来のMr.カ
ラーと塗料も両方使う事も使用可能。重量も軽い。今後のカラーも開発予定。



1/72 S-56A フォクター フランス海軍 ■完成品 ■価格2940円



1/72 S-56A フォクター 西ドイツ海軍 ■完成品 ■価格2940円



1/72 S-56A フォクター 西ドイツ海軍 ■完成品 ■価格2940円



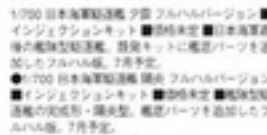
1/72 S-56A フォクター ヘルミー空軍 ■完成品 ■
価格2940円

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸



1/700 海上自衛隊航空母艦 あかぎ ■完成品 ■予定
5040円 ■全長平均を拡大エディション版を内蔵した海上自衛隊航空母艦。6月予定。

1/700 海上自衛隊航空母艦 くらき ■完成品 ■予定
5040円 ■全長平均を拡大エディション版を内蔵した海上自衛隊航空母艦。6月予定。



1/700 日本海軍航空母艦 空母 フルハルバージョン ■インジェクションキット ■価格未定 ■日本海軍最後の艦型航空母艦。開発キットに艦型パーツを追加したフルハル版。7月予定。
●1/700 日本海軍航空母艦 空母 フルハルバージョン ■インジェクションキット ■価格未定 ■艦型航空母艦の完成形・艦型。艦型パーツを追加したフルハル版。7月予定。



■MARS FIGURES

○バウマン



1/72 ソビエト空軍機 567745 アフガン戦 36体 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 アメリカ海兵隊 30体 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 ノルマン戦 48体 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 サラセン戦 40体 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 サラセン戦 40体 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 十字軍騎士 48体 ■インジェクションキット ■価格未定

■レッドボックス

○バウマン



1/72 戦国時代の戦士 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 戦国時代の戦士 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 戦国時代の戦士 ■インジェクションキット ■価格未定

■Aモデル

○バウマン



1/144 デハビランD-8A (DHC-5) バックローター機 ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 ラボラトリー ■インジェクションキット ■価格未定



1/72 デハビランD-60 ■インジェクションキット ■価格未定

■マスターボックス

○バウマン



1/35 戦 ■インジェクションキット ■価格未定



1/35 戦 ■インジェクションキット ■価格未定



1/35 戦 ■インジェクションキット ■価格未定

1/35 戦 ■インジェクションキット ■価格未定

1/35 戦 ■インジェクションキット ■価格未定

1/35 戦 ■インジェクションキット ■価格未定



1/16 大東亜戦争シリーズ第一弾 大日本帝国海軍搭乗員



※写真は完全彩色完成品です



- 組み立てキット 4,000円
- ブロンズ調完成品 15,000円
- 完全彩色完成品 19,800円

第二弾 大日本帝国陸軍航空兵
近日発売!! (予約受付中)

電話 0476-95-8077
FAX 0476-80-2727

Ishida Models

http://www.abs-plaza.com/ishidamodel/

■AZモデルのピーパーコーポレーション



■アルマゲドン ①ビバーコーポレーション

■ **ブラネット** ○ビーバーコーポレーション

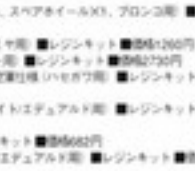
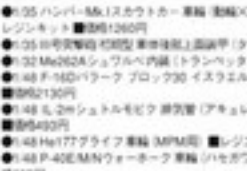
■スペシャルホビー ①ビーバーコーポレーション



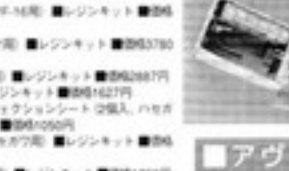
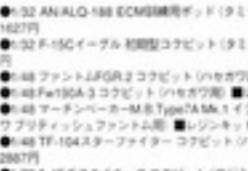
■スペシャルアーマー 〇ゼーバー・コーポレーション



CMK のビーバーユーザレギュレーション



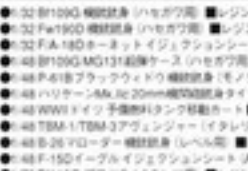
■アイリス ◎ビーバー・コーポレーション



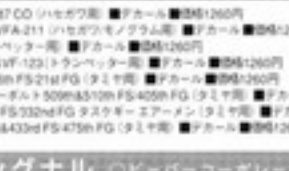
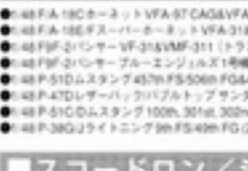
■アヴィオニクス ○ピーパーコーポレーション



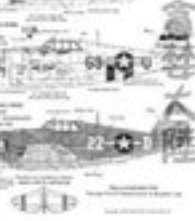
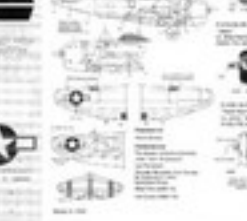
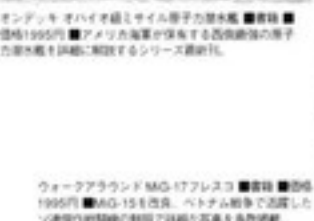
■ クイックブースト ○ ビーバーコーポレーション



■ スーパースケール ○ピーパーコーポレーション



■スコードロン／シグナル ○ビーバーコーポレーション



■ブラッツ



1/144 P-47D サンダーボルト (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1260円 ■4月予定
1/144でも登場、今更手。



1/144 戦闘機 P-51 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1260円 ■4月予定
型に似る多量生産機が大きい。初期型登場。343型戦闘機の機体も作れる。

●1/144 P-51D ロケットチューブ付 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1260円 ■5月予定
機内510の空に343型戦闘機下ロケットチューブを追加したキット。6月予定。



1/144 戦闘機 P-51A 通常塗装 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■7月予定。



1/144 戦闘機 P-47D 空自100年記念塗装機 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■7月予定。



1/144 戦闘機 P-51 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■7月予定。



1/144 戦闘機 P-51A 戦闘1379 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■7月予定。



1/144 戦闘機 P-1 第3飛行隊 (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■7月予定。



1/100 T-4ブルーインパルス ■完成品 ■価格1365円 ■新金型 T-4ブルーインパルス塗装完成品登場。全長130mmで半分に縮小。7月予定。



1/100 ワールドグランプリ 2006 セントポール・ジョー アスロバティックス 日本グランプリ ■DVD ■価格2000円 ■2006年11月開催のスカイグランプリをスリリングカット撮影に収録。オンボード映像もあり。
●ブルーインパルス 2007 サーター・ス DVD ■DVD ■価格1000円 ■07年のチームがすべてわかるガイドブック2007年度版が登場。これを見てから航空ショーへGo!

■ACE

▲ F-14D SUPER TOMCAT 1/144



1/144 F-14D スーパートムキャット ■インジェクションキット ■価格945円 ■1月予定。

▲ Tomcat GR1 RAF 1/144



1/144 トーネード GR1 ■インジェクションキット ■価格945円 ■1月予定。

▲ TF-104G SCARFIGHTER 1/144



1/144 TF-104G ■インジェクションキット ■価格945円 ■1月予定。

▲ Dassault Rafale M 1/144



1/144 ラファール M ■インジェクションキット ■価格945円 ■1月予定。

■ドラゴン アクションフィギュア



1/6 WW2 アメリカ陸軍第3歩兵師団 "トム・グリーン" 第3歩兵師団 第7連隊 コルマール河 アルザス地方 1945年 ■完成品 ■価格1140円 ■2月予定
第3歩兵師団 第7連隊 コルマール河 アルザス地方 1945年。新金型の完成品も採用した。全長300mmヘルメットも新製。



1/6 WW2 ドイツ空軍機務員パイロット "ルードヴィッヒ・ボッシュマン" ■完成品 ■価格1140円 ■2月予定
機務員パイロットをフィギュア化。シープスキンの飛行スポンは新規開発。

■エフトイズ



●1/100 名匠の翼コレクション ■完成品 ■価格399円 ■1/144では不可能な大型機も、新たに1,000シリーズを開始して実現。全7種シリーズ。東日本6月より発売。

●1/1 世界最大大形 第2種 世界のキャブトムシ・クワガタ ■完成品 ■価格3,990円 ■ヘラクレスオカブトをはじめとする巨大甲虫の模写。全長10cm。可動ボディ。全長10cm。可動ボディ。全長10cm。可動ボディ。

■ガイアノーツ



ガイアカラー 第4弾 22 (全5色) ■完成品 ■価格178円~262円 ■1/2に縮小して新色が登場。セットからの完成品は1/2に縮小して新色が登場。

●022 セミダブルブラック ■178円
●022 スターライトブルー ■262円
●011 ドンファンダグ (ジョー・グレイ) ■100円
●022 オキサイドレッド ■WW2 ドイツ戦車下パイロット ■262円
●023 インディアナカー ■WW2 ドイツ戦車内 ■262円



■大将モデリング

○ミニチュアパーク

1/35 ロス海軍の英雄 パロウ西 従軍兵 1945 ■完成品 ■価格2,910円

■ジャクレイミニチュア

●35 イギリス軍 アフリカ戦線の戦車兵 ■完成品 ■価格2415円
●35 イギリス軍 アフリカ戦線の戦車兵 ■完成品 ■価格2415円
●35 イギリス軍 戦車兵 ■完成品 ■価格2415円
●35 イギリス軍 戦車兵 ■完成品 ■価格2415円
●35 イギリス軍 戦車兵 ■完成品 ■価格2415円
●35 イギリス軍 戦車兵 ■完成品 ■価格2415円
●35 イギリス軍 戦車兵 ■完成品 ■価格2415円



■COMPENDIUM FILMS

○ミニチュアパーク



エアブラシ ペインティングテクニク (英語版) ■DVD ■価格4515円

ミタリィーフィギュアの塗装法 (英語版) ■DVD ■価格4515円

62



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

The Wings of Japanese Self Defence Force

J.S.D.Fの翼たち

昭和29(1954)年に発足し、2007年現在は陸上500機、海上203機、航空472機を装備するに至った“自衛隊”。初期の航空装備は米軍のものをそのまま運用していたが、徐々に装備の拡大と独自性を高めていく。独自の型式となったF-104J戦闘機、P2V-7を改造したP-2J対潜哨戒機、F-16をベースに開発されたF-2A支援戦闘機など、自衛隊ならではの装備機も少なくない。これらの過去から現在の自衛隊機をスケールモデルで製作する。

三菱F-2A支援戦闘機

Part.2

先月はアウトラインが出来上がったデカモデラー・K2の1/32三菱F-2A。しかしベースキットのF-16があるとはいえ実機はまったく別物。生半かな慣性で完成するものではありません。スジ彫り、ウェポン類の自作、細部工作、迷彩塗装などやるべきことはまだまだ山あり谷あり。最後まで緊張感のあるモデリングが続きます!



■1/32 航空自衛隊 三菱F-2A支援戦闘機 (タミヤ1/32 F-16CJブロック50(ファイトニングファルコン)改造)
■製作・文:K2
■1/32 JASDF Mitsubishi F-2A (Scratch Build from Tamiya 1/32 F-16CJ Block 50 Fighting Falcon)
■Modeled & Text by K2



さて、前回に引き続きF-2AのPart.2です。前述していた通り、ある程度形が出来上がっただけで、やるべきことはまだまだあります。ここまではたいしたトラブルもなくスムーズに作業が進んだのですが、油断は禁物です。気を引き締めて作業に移りましょう。

■バラしてスジ彫る

全体のフォルムを確認するため前回まで仮

組みしていた機体をパーツごとに分割します。再度機体にモールドを入れ直すためののですが、F-16とF-2では機体モールドが異なる部分が多いので、両方の図面を確認しながら凹モールドを入れ直します。またパーツに打たれているリベットやモールドも数回吹き付けたサーフェイサーのために埋まってしまった部分がほとんどで、結局はすべてのモールドを彫り直すことになりました。

プラ材でスクラッチしたりパテ処理した部分が多いので、新たに彫り直すところはいつも以上に慎重に作業を進めました。特に機体中央に数個、大きさも何種類もある横円のモールドはプラバンでゲージを作らなければなりませんでした。それでもモールドがズレてしまったり、パテの部分が欠けてしまったりと悪戦苦闘の連続です。

結局モールド作業だけで約1週間ほどかかりました。想像していたよりも手間がかかり、タイムテーブルがズレ始めたようです。

■ウェポンを作る

すべてのパイロン類や燃料タンクはF-16の物とは異なるので、オリジナルのパーツやジャンクパーツをベースにそれらしく改造しています。

ミサイル類ですが、F-2にはAIM-9LサイドワインダーやAIM-7Mスパローも搭載可能なので手を抜く!という方法もありましたが、搭載するのならやはり国産ミサイル、完成した時の見栄えが数段違うだろうと考えてスクラッチです。

まずASM-2空対空ミサイルは手元にあった

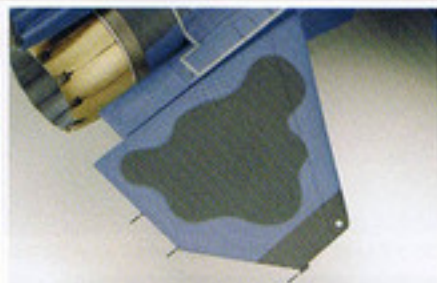




機首前部。レドームの形状や太さ、キャノピー前部、エ
アインテイクなどを改造。



主翼は一部を除きほとんどプラバンで製作。パイロン、ウ
ェポン類も同様にスクラッチ。



水平尾翼は面積や形状が異なっているためキットのバ
ーツをベースにプラバンで製作。

9mm径塩ビパイプ（おそらくエアブラシのニ
ードル入れ）を加工して本体を作り、0.3mm
厚のプラバンでフィンを取り付け。先端部分
のシーカーはクリアブルーの亚克力材を
使用しました。AAM-3空空対空ミサイルはすべ
てプラ材からフルスクラッチ。AAM-4空空対空
ミサイルはスパローのジャンクパーツをベー
スにセミスクリッチしています。

なおパイロンおよびすべてのウェポン類は
詳しい資料がなかったため、いつもの通り
“適当にそれらしくスクラッチ” になっていま
すので悪しからず。

■細部パーツのあまりの 多さにぶち切れる

F-16とF-2では機体フォルムはもちろんの
こと、細かな部分も異なるところが多々あり
ます。あまりにも膨大なので記述しますと、
各IEWSアンテナ10数ヶ所、小エアインテ
イク数ヶ所、エンジン内壁部分、各ナビゲー
ションランプ、ウインドシールド前部のAFF
（先進敵味方識別装置）、レドームのライト
ニングストリップ、機体後部のドラッグシュ
ート、etc……です。すべてプラ材や金属線、エ

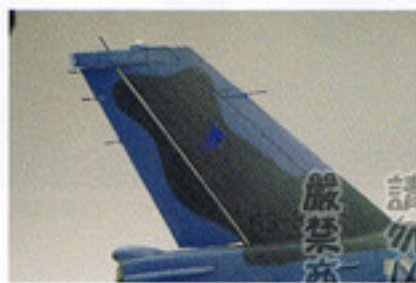
ボキシバテなどを用いてのフルスクラッチで
すが、何せラジスケールといえども細かな
パーツばかりなので、その膨大な数ともシン
クロしてぶち切れそうになりました。前述し
たウェポン類とこの細部パーツ類の作業だけ
で、おそらく1/48スケール数機分を完成さ
せるマンパワーを消費しただろうと思われま
す……はあ〜しんど。あっ！ 忘れてた。前
部キャノピーもバキュームしなければ……。

■やっと組み立てる

何とかキャノピーをバキュームして、やっ
と機体を組みます。仮組みしていたので主翼
と胴体の接合部以外はほとんどバテを必要と
しませんでした。しかしウェポン類の多さを
考慮して、主翼と胴体の接合部分は金属線な
どでしっかりと固定して、瞬間接着剤で圧
着しております。

全体にホワイトサーフェイサーを吹き、バ
テで埋まってしまったモールドを再度彫り直
して、800番〜2000番の耐水ペーパーでサ
ンディングし塗装に備えます。

■仕上げる



垂直尾翼は基部を除きパーツが流用できる数少ない
箇所。マーキングは自作デカール。

ウォークウェイラインを塗装で再現するた
めに、GS1クレオスのMr.カラー317番に若干
白を加えた物を吹き付けます。同じくGS1
クレオスから発売された“Mr.細切りマスキ
ングシート”の1mm幅を用いてウォークウェイ
ラインをマスキングしていきます。このマス
キングシートは初めて使用したのですが非常
に使えます。欲をいえば、もう少し細い幅も
発売してくれればうれしいのですが。

次にパネルラインにブラックでシャドーを
付け、Mr.カラー7番ミディアムブルーを吹
き付けます。ハセガワ1/48キットに付属し
ていた塗装図を1/32スケールに拡大して、

実機通りのコンバージョン

改造キットでハセガワ1/72 P2V-7をP-2Jへ!



P-2J

NMC 1/72 海上自衛隊 川崎 ネプチューンコンバージョンセット

日本独自の対潜哨戒機として約25年運用され、退役まで事故損失ゼロという偉業を成し遂げた海上自衛隊の名機・P-2Jネプチューン。美しいスタイリングと、ホワイトとシーブルーグレーの2トーンカラーがマッチした魅力的な姿は、モデラーの強い制作意欲をそそる。これまではハセガワP2V-7からの困難な改造を強いられていたが、このほどNMCがレジン製コンバージョンキットをリリース。これで自衛隊機コレクションのブランクを埋められる!



- NMC 1/72 海上自衛隊 川崎P-2Jネプチューン コンバージョンセット(ハセガワ1/72 P2V-7用)
- ハセガワ 1/72 P-2H (P2V-7) ネプチューン "J.M.S.D.F."
- 製作・文: Gemb
- NMC 1/72 JMSDF Kawasaki P-2J Neptune Conversion Set (for Hasegawa P2V-7)
- Hasegawa 1/72 P-2H (P2V-7) Neptune "J.M.S.D.F."
- Modeled & Text by Gemb

■川崎P-2Jネプチューンについて

1960年代、海上自衛隊は次期対潜哨戒機P-Xの選定を始めましたが、その導入までの間として現用のロッキードP2V-7を国情に合わせて改造することに決定しました。

改造は川崎が担当。主エンジンのターボプロップ化、補助ジェットエンジン、探索用レーダー換装、機体を約1.3m延長、TACCO(戦術航空士)席増設、降着装置のダブルタイヤ化、ラダー増設などの改造の結果、機体出力が低下したものの自重が軽くなり、操縦性などの諸性能がP2Vより格段に改善されました。

1969年から就役が始まったP-2Jは約10年間で総計83機を製造、1994年に全機が退役しましたが、その間事故による損耗がゼロというギネスブックにも掲載された快挙を成し遂げています。

■キットについて

今回NMCよりリリースされたハセガワ1/72 P2V-7用レジン製P-2Jコンバージョンキットは、意外なほど改造箇所が多いP-2Jの製作に二の足を踏んでいた自衛隊フリークには朗報といえるキットです。

キット内容は胴体前部とエンジンナセル、レドームなどのレジンパーツ、シャフトや排





機首のライトニングストリップ、ウインドシールド前部のAFFは追加工作。



機首下面は一見変更がないように見えるが、実は約3.5mm延長、1.2mm拡張。



コックピット部。第1風防は塩ビ板をバキューム成型して自作。内部もエッチングパーツでMFDを取り付けるなどディテールアップ。



前脚も流用可能な部分だが、エアインテイク周りは改造必須!



胴体中央部は13mm延長。ストレーキの形状も大きく変更されている。



主翼部分はF-16のパーツが流用できる。

迷彩用のマスキングシートを作り、14番ネービーブルーを塗装します。このときマスキングシートの裏に5mm幅の両面テープをこより状にして若干浮かし気味に貼り、塗り分け部分の微妙なぼかしを再現します。

バテだらけの機体なので、塗装後はいつも以上に慎重にマスキングシートをはがしていきます。塗装のザラつきを2000~6000番までの耐水ペーパーで平滑にして、デカールに備えてクリアーを吹きます。

エナメルでスミ入れた後、知人に頼んでいた自作デカールと手持ちのデカールを併用してマーキングを施します。乾燥した後、ツヤ消しクリアーを吹き付けて塗装終了です。

さてここからが最後のヤマです。とんでもない数のウェポン類やアンテナ類の取り付け

作業なのですが、塗装後の接着作業ですのでより慎重に作業を進めなければならず、小物類の取り付けだけで丸2日を要しました。

最後にキャノピーを磨いてカンシェーイ!です。

■最後に論じる

久しぶりの大改造でしたが、たいしたトラブルもなく約50日間の作業時間で完成しました。出来上がった機体を眺めてみて、「本当にできた!」というのが正直な感想です。細かな部分で手抜きが多いので、J.S.D.Fファンの読者の方々にはご指摘を受けそうですが、ここは「大人のシカト」でお願いいたします。またいつか大改造の作例にも挑みたいと思います。次は量産型のラプターあたりかな……。



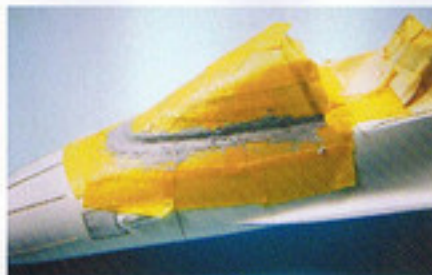
フルスクラッチのASM-2対艦ミサイル、AAM-4空対空ミサイル、AAM-3空対空ミサイル。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



パイロン、ウェポン類はすべてスクラッチ。1/48キット数機分のマンパワーが必要でした。



塩ビ板でバキューム成型した前部キャノピー。塗装前に胴体に接着し縫い目はパテで整形。



機首のライトニング・ストリップを伸ばしランナーを貼り付けて再現。



モールドの彫り直し。機内のモールドはプラバンでゲージを作って彫る。



塩ビ板でバキューム成型した前部キャノピー。塗装前に胴体に接着し縫い目はパテで整形。



ミディアムブルーを吹いた後、1/48キットの迷彩図を1/32に拡大した型紙でマスキング。



ネービーブルーを塗装。マスキングシートは両面テープで若干浮かせ、境界をばかす。



ウォークウェイラインのマスキングを慎重にはがし、基本塗装は完了。



パソコンで自作してもらったデカール。下段は別キット用(読者のみなさんなら何の機体かわかりますよね?)

The Wings of Japanese Self Defence Force

J.S.D.Fの翼たち



厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至中國大陸



気管などの金属パーツ、補強板再現用のブラシートなど多数のパーツからなり、「P-2JとP2V-7は別物」ということが良くわかります。

デカールはプリンター印刷で、厚木の第3航空隊をはじめ5種類の部隊マークとシリアル番号が付属しますが、P2V-7と共通のマークはベースキットのものを使用するようになっています。また1/72スケールの3面図やカラー塗装図も付属します。

■製作

基本的にはインストに沿って各工程を丁寧に工作すれば、それほど難しい改造ではありません。ただしレジンパーツゆえの特性として微かな収縮があるので、その辺を念頭において作業すると良いでしょう。

1) レジンパーツの洗浄と切り出し

レジンパーツに付いた離型剤は、ダスキンの「住まいの洗剤」を薄めた液に浸けて落とします。パーツの切り出しは、雨りすぎないようにナイフなどでギリギリまで削ったら、あとはヤスリで処理します。

レジンパーツには気泡がつきものですが、ほとんどの場合はエッジなどにある気泡なので、雨り難い側にマスキングテープを貼り、プライマーを一吹きした後黒い瞬間接着剤を垂らして再度プライマーを一吹きすれば簡単に修正



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

できます。

2) ベースキットの加工

まず付属の3面図を見ながら改造パーツに合わせジグ彫りを行っておきます。左右胴体を接合する前に窓のクリアパーツを忘れずに。バブル型の後部見張り窓も改造キットに付属しています。また垂直尾翼のエアホールも忘れずに開けておきます。

胴体のカットは、失敗や調整する際の切り





代としてカット位置から約1mm前側をレーザーソーで切断後、ヤスリで削っていきます。また左右胴体の接着面積が少ないので、補強のため主翼の個所だけ5×1mmほどのプラ材を胴体内側に貼っておきました。

主翼はパーツ段階で切り出します。上翼を基準にインストの指示位置からコの字型にカットしますが、胴体と同様に1mmほど内側を切り出してからヤスリで調整しましょう。両脇をレーザーソーで切断、奥側はカッターナイフで3〜4回なぞった後で折り取るようにするとキレイに切り取れます。

3) コックピット

キャノピーが広く内部がよく見えますので、コックピットは少々手を入れます。シートはヘッドレストを削り込み、プラ材で肘受け、薄い鉛板でシートベルトを追加。操縦席にはサイドコンソール、後方に電子装置らしきものを追加。操縦桿はコイル状に巻いた銅線を半月に切ったものとプラ材で自作。機首見張り員席もプラ材と伸ばしランナーでそれらし

く作っています。

4) 胴体

コックピットと機首見張り員席を組み込んで前部胴体左右を接着しますが、脚座のあたりに5gほどオモリを仕込んでおくのを忘れずに。ベースキットとの接合は機軸線が一直線になるよう調整し、段差はパテで面一にします。

ベースキットのキャノピーはレンズ状に厚みがあり、レジンパーツとの合いも良いとはいえ、作例では削り込みと溶きパテ埋めで対応。塩ビ板で作り直すか、ファルコンのクリアバックキャノピーなどの別売パーツに交換するとよいでしょう。

5) 主翼

3分割された改造キットのエンジンナセルを削り合わせ、主翼に組み込みます。組立順は上翼とナセルを接着後、下外翼、下内翼の順に接着。段差はパテ盛り修正。主翼が変形している場合は、真っ直ぐになるよう接着時

に角材などで添え木をしておきます。

6) 塗装

塗装は改造キットの指示通り、上面をGSIクレオスのMr.カラー-C316ホワイトを塗った後、C339エンジングレーを塗りますが、ベースキットのデカールが通けるので、日の丸の下地となる部分はホワイトで丸く抜いておきました。

7) 仕上げ

改造キットのデカールは白とカラーが別売りで、部隊マークは白を貼った後カラーを重ね貼りするようになっています。作例ではオメガマークの第7航空隊を選びましたが、白とカラーの大きさもマッチしておりクリアーでオーバーコートしても溶け出すことはありませんでした。

■まとめ

P-2Jは元のP2Vから胴体が延長され、カツい空冷レシプロから機身のターボプロップに換装されたため、一層スマートさが強調された美しい機体になっています。ちょっとした努力でこれがあなたのものに。皆さんもガンバってください！

なお製作・販売元のNMCのホームページ(<http://nmc.amuse-net.biz/>)では、製作過程が細かく掲載されています。

請勿以任何形式轉載至其他大陸

Kawasaki P-2J Neptune

鹿屋航空基地の川崎P-2Jネプチューン

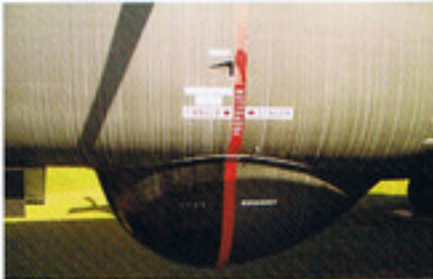
撮影：編集部
協力：鹿屋航空基地史料館



視界の良い前方見張り員席。上部は日除けフィルム、下部には方位角ゲージがある。



シルバーで塗装された前車輪。展示状態のため、オレオがフル圧縮になっている。



P2V-7に比べ小型化された胴体下部のレドーム。縦の赤線はプロペラ翼成線。



主翼取り付け部と爆弾倉。外板の継ぎ目は溶接となっているため滑らか。



主翼後部の胴体左側。下部のレドームは64号機以降から装備された新設計のもの。



補助ジェットエンジンの排気口



左翼の翼端ナセルと補助ジェットエンジンIHI J3-7Cのナセル。



エンジンナセル側面。そこかしこにエアスクープやスリットが設置されている。



胴体内部。脚柱はシルバー、カバー内部は白、胴体内部はインテリアグリーンで塗装。



同基地にはP2V-7も展示されており、その場で相違点を比較することができる。



尾翼側から見た胴体右側。リベット打ちの外板、バブル型の後部見張り窓に注意。



鹿屋基地に展示されている2機のP-2Jのうちの1機、4783号機。P-2J最終号機である。左翼の補助エンジンナセル。通常通り空気取入口カバーを付けた状態。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

F-104J

ハセガワ1/48

スターファイター “航空自衛隊”



■ハセガワ1/48 F-104J スターファイター“航空自衛隊”
■製作・文：竹内城雄夫
■Hasegawa 1/48 F-104J Starfighter “J.A.S.D.F.”
■Modelled & Text: KIKUO TAKEUCHI

航空自衛隊にF-104Jの配備が始まったのは40年以上前の1963(昭和38)年、全機が1997(平成9)年に退役しすでに10年が経っている。しかしミサイルのようなフォルム、カミソリのように薄い主尾翼、大型の翼端タンクなど、最大速度マッハ2を目指して開発された妥協のない先鋭的なデザインは今でも色あせることはない。太平洋戦争の撃墜王・黒江保彦も乗ったという伝説の戦闘機をハセガワの傑作でモデリング。

Close to the Edge 40年を経てなお輝き続ける“栄光”



■F-104Jスターファイターについて

ロッキードF-104Jスターファイターは航空自衛隊がF-86Fセイバーに続いて採用した全天候迎撃ジェット戦闘機です。J型は日本独自の型式名ですが、実際にはNATO諸国向けのF-104Gとほぼ同一の機体です。防衛庁から“栄光”という愛称をつけられたF-104Jは1963(昭和38)年から部隊配備を開始、1967(昭和42)年に全230機の生産を完了。1985(昭和60)年までにF-4EJファントムIIやF-15Jと交替し、少数機が無人標的機として1994年(平成9)年まで使われました。

■キットについて

ハセガワ1/48のF-104Jはこのスケールでのベストキット。製作には何の問題もなく、誰でもすばらしいF-104Jを手にすることができるでしょう。パイロットフィギュアと兵装パーツは付属していませんが、どちらも他キットから流用できます。

今回は1965(昭和40)年に石川原小松基地で新編された当時の第6航空団第205飛行隊(205SQ)所属機を作ります。当時の第6航空団は、太平洋戦争での51機撃墜の陸軍エース・黒江保彦司令が率いており、自らもF-104研修を受けマッハ2をマーク、205SQは“司令自らが搭乗できる戦闘飛行隊”として異色の存在でした。

■製作

コクピットは申し分のない出来。材質類はモールド表現ですがデカールも用意されています。マスキングテープでシートベルトを追加、ウェーブの1mm A・スプリングでホースを追加した程度です。キャノピーのマスキングはシャープに仕上げたかったのでスコッチのメンディングテープを使いました。第2、第3風防下部に見られるフレームのシール布部分は内側からバフを塗装しておきます。

胴体前部の20mmバルカン砲口はエボキシパテで埋めました。なお機首にオモリを入れる必要はありません。胴体後部の上面2ヵ所、下面3ヵ所の補助エアインテイクを開口。同時に着陸時に使用するドラッグシュート格納部をエッチングソーで切り取って開状態にしました。

請ひ以住何形式編輯者本誌



Mr.カラーのシルバー、シルバー+ダークアースなどで塗り分けました。

■デカールと仕上げ

新編当時は205SQの尾翼の部隊マークはなし、黒江司令の乗った機体番号もわからず、当時の雑誌に載っていた写真から「46-8634」号機としました。

デカールは薄くて貼りがやすく、マークセッターやマークソフターを併用すれば完璧。一体の注意書き類は切り取って別々に貼った方が仕上がりが良くなります。

主翼やタンクを取り付け、最後にもう1度スーパークリアーIIIをかけ、タミヤエナメルでスミ入れ。シルバーの部分はフラットブラック+フラットブラウン、主翼上面のみダークシーグレイ+フラットアースで。最後に細部パーツを取り付けて完成です。

■完成して

資料として読んだ「世界の傑作機No.104 ロッキードF-104J/DJ「栄光」」(文林堂)には、故・ロック岩崎氏が航空自衛隊時代に空中戦訓練で米軍のF-15を撃墜した(!)という話が載っていて、いたく感動しました。こんな伝説もF-104Jが放つ「栄光」なのかもね。

読者の任何形式翻載を禁ずる大禁

別パーツの主翼前後縁フラップやエルロンは下側に押し出しピン跡があるので、GSIクレオスのMr.溶きパテで埋めました。降着装置やウィングチップタンクなどは機体に接せず塗装後に取り付けます。

■塗装

塗装はエアブラシ。まず主翼上面はGSIクレオスから発売されたMr.カラー-GX クールホワイト。下地の隠れ力が強く、仕上がりも非常にキレイ。これまでのMr.カラーとの混色も可能で薄め液も共用できます。白塗装の新しい定番としてオススメです。

機首のレドームや防眩塗装などを塗り分けたら、いよいよ機体全体の塗装。今回はスパッツスティックスの「ミラークロームV1」(取扱説明/ワイズソリューションズ 011-520-2861 <http://www.spazstix.jp/>)を

使用しました。「ミラークローム」は非常に細かい粒子の顔料を使用し鏡のようなクローム仕上げを実現する塗料で、「V1」は廉価な初期版ですが必要にして十分なクオリティを持っています。薄め液などはMr.カラーのものが使用できるのもうれしいところ。

まずMr.カラーのブラックで下地塗装を行ってからミラークロームV1を吹きます。塗料はピン生で薄めずとも通常のラッカー系塗料と同様の感覚で吹ける濃度ですが、塗る前に1分ほど攪拌しておくのを忘れず。乾燥時間は非常に短く仕上がりは鏡面仕上げのような輝きを持ち、まるでメッキ仕上げのようで大満足。

塗装後は表面を保護するためにクリアーをかけますが、ここでも新発売のMr.カラー-GX スーパークリアーIIIを使用。これまでのクリアー以上のツヤと使いやすさです。パネルは



鮮やかな発色、隠れ力が強化されたMr.カラーGX「クールホワイト」(取扱説明/GSIクレオス)



同じくMr.カラーGX「スーパークリアーIII」。今後他のカラーも発売予定。



鏡のような仕上がりのスパッツスティックス「ミラークロームV1」(取扱説明/ワイズソリューションズ 011-520-2861 <http://www.spazstix.jp/>)

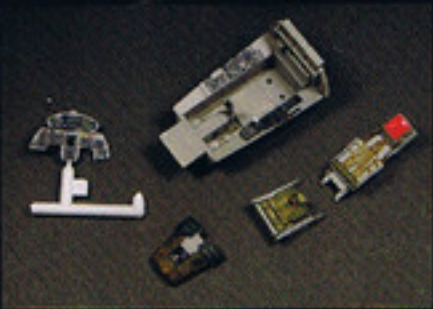




胴体上面の補助エアインテイクを2ヶ所開口。ブラバンのドアを内側から付ける。



胴体下面は合計3ヶ所のエアインテイクがある。ドラッグシュート格納部も開口した。



コクピット関係パーツ。すべて塗装したが、計器盤などはデカールも用意されている。



20mmバルカン砲は導入当初は装備されていないので砲口をエボキシパテでふさぐ。



胴体側面のエアインテイクは内部が隠れるところを塗装しておく。



前後縁フラップや補助翼の裏側の押し出しピン跡はMr.溶きパテを使って埋める。



ドラッグシュート格納部はブラバンと紙で。内部はクロメイトイエロープライマー。



キャノピーのマスクングはスコッチのメンディングテープで行った。



キャノピーは胴体と一緒に塗装するため、マスクングゾルで仮止めしておく。



エアインテイクはマスクングテープとブルー・タックでマスクングしておく。



背中のパフを塗装。簡易装置の穴につまようじを差しこんで足のかわりにしている。



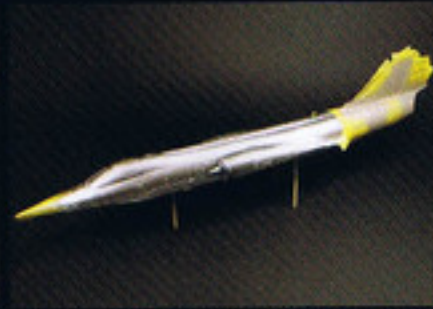
機首レドーム、防眩塗装を塗装。細い部分のマスクングは細切りテープで行う。



下地としてMr.カラーのツヤありブラックで全体を塗装。これはこれでカッコいい？



ミラークロームV1で塗装。まるでメッキをしたように輝きまわります。



スーパークリアーIIIでクリアーがけした後、マスクングしてパネルラインの塗り分け。

請勿以任和形式轉載至育達大陸
嚴禁商業用途

RF-4E

ハセガワ1/48

ファントムII “航空自衛隊”



■ハセガワ1/48 RF-4EファントムII“航空自衛隊”
■製作・文：松本富夫
■Hasegawa 1/48 RF-4E Phantom II“J.A.S.D.F.”
■Modeled & Text by TOMIO MATSUNAGA

RF-4はF-4ファントムII戦闘機の偵察型で、RF-4EはF-4Eをベースにした輸出用のタイプ。低高度／高高度パノラマ／前方フレームの3種のカメラによって雨中、夜間でも偵察・撮影が可能で、航空自衛隊のほかドイツ、イスラエルなどが採用している。航空自衛隊では戦闘機型のF-4EJに偵察用ポッドを装備したRF-4EJ偵察機とともに27機が運用され、本来の戦術偵察任務のほか、雲仙普賢岳噴火や奥尻島津波などで被災地を撮影、災害対策を支援している。

Tri-color Camouflage Phantom 日本独自の3色迷彩ファントム

■よくぞキット化！の偵察型

今月は自衛隊特集ということでハセガワの1/48 RF-4EファントムIIです。今回の戦術偵察型ファントムRF-4Eは、カメラを搭載する機首形状の違いから金型の大規模改修が必要とされるため、“よくぞキット化してくれた！”とファントムファンならずとも拍手喝采もんです。

ハセガワから1/48のファントムIIが発売されてもう20年以上ですか……。当時高校生だった私は模型屋さんで予約購入し、小走りで帰宅。当時としては大きく感じたその箱を、親の目をかすめるように自室に持ち込み、わくわくしながら箱を開けてすごい感動したのを

今でもはっきり覚えています。それは国産の飛行機模型がモノグラム、イタレリなどといった海外キットをついに打ち負かした記念すべきキットといっても過言ではなく、凸ラインながら見事なモールドとすばらしいプロポーション、完璧な合の良さなど、どこをとっても究極のキットでした。感動のままに徹夜して、水性アクリル塗料をべたべた筆塗りし、翌日学校に持って行って皆を驚かせたのも、今では楽しい思い出です。

この究極のファントムは各型式やスペシャルデカール版などが次々発売。さらにパーツ追加や凸ライン改修などが行われ現在でも発売中、息の長いベストキットになりました。

■製作

コクピットは各計器盤全てモールド仕上げ。デカールなどという手ぬるいものはないので、気合を入れて一筆入魂です。2名のパイロットフィギュアとマーチンベーカー射出座席は初版から変わらぬいい出来です。パイロットスーツがオレンジ色なのも、今では懐かしいかな。

バスタブコクピットが終わると、機首のカメラの製作です。完成後も意外によく見える箇所なので手抜きは厳禁ですが、前方偵察カメラKS-87Bや高高度パノラミックカメラKA-91B、低高度パノラミックカメラKA-56Eなどが少ないパーツで小気味良くまとめられているので、丁寧に塗り分けするだけでパッチ



請勿以任何形式轉載至中國大陸
嚴禁商業用途



ります。

胴体を左右接合するとファントムの美しいプロポーションが姿を現します。やっぱファントムはカッコええわ!

主翼はわずか3パーツで完成。これでもかというくらい見事な凹ラインが入ってます。機体やエアインテイクとの合いが良いので分割塗装後接合してやってもいいくらい。下面エアブレーキは開閉選択式です。

RF-4Eは固定武装を持たないため全てパイロン搭載となりますが、中でも空自のRFでは武装と呼べるものは搭載してません。キットに

付属するものは600ガロンおよび370ガロンドロップタンクとALQ-131 ACMボッドのみ。他のタイプとの共通金型の関係で付属するスパローやサイドワインダーなどのミサイルは不要部品となります。

しかしプラモでもなんやかんやと細かいパーツが多いですな。実機も空自の方に「整備性なんて最悪」とお話を伺ったことがあります。

■塗装とデカール

塗装は全てGSIクレオスの特色でカバーされているので楽勝ですね。一見キモい3色迷彩

ですが、日本の風土に考慮した迷彩効果をあげているようで、他国では見られないファントムが再現できます。グレー塗装に銘きた現用機ファンには新鮮なカラーじゃないですか?

空自のRFは百里の501SQのみなのでデカールはおのずと限定されるのですが、1994年の戦線参加のスペシャルマーキングがセットされていて、麒麟・白虎・朱雀・玄武の4種が選択できます。“今年もイケイケ タイガース!”でなわけで作例は当然白虎です!



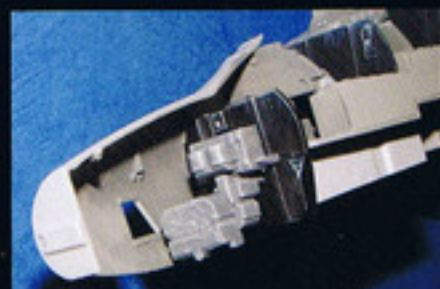
デカールには唯一の偵察飛行隊、305SQのスペシャルマーキング4種類が含まれる。



RF-4E用の追加パーツ。外観の異なる部分はもちろん、コクピット内の計器盤まで再現。



コクピットはモールド表現。デカールはなければ真合を入れて一筆入魂!



機体内部に装備されるカメラなどの偵察機材。完成後も意外と見えるので手抜き厳禁。



コクピットと偵察装備を仕込んで、いざ胴体接合。ファントムらしくなってきた!



主翼と胴体を接合する直前。分割塗装後に接合してもいいくらいに合いが良い!

請うた何形式も再現可能! 大規模な商業用キット



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途

前島敏彦の ヒコーキモケイ スス

■ファインモールド1/48
■日本陸軍 中島キ-43 陸軍一式戦闘機 隼2型(前期型)
■制作・文：前島敏彦
■Finemolds 1/48
■Imperial Japanese Army Fighter Nakajima Ki-43 II Type 1
■Fighter Hayabusa (Oscar)
■Modeled & Text by TOSHIOHKO MAEJIMA
■制作日数：約2週間



ファインモールド1/48
陸軍一式戦闘機

“隼”2型甲

飛行第59戦隊 南郷茂男大尉機

Finemolds 1/48

Imperial Japanese Army Fighter Nakajima Ki-43 II Type 1 Fighter

Hayabusa(Oscar)

59th FR, F/Lt Shigeo Nango

貧弱な装備、強力な連合軍機、厳しい自然環境などにより戦闘機操縦者の
損耗率が約20%に達したニューギニア戦線。陸軍飛行第59戦隊・南郷茂
男大尉は戦隊指揮官として奮闘、この困難な消耗戦の中で15機を撃墜する
エースとなり「ニューギニアは南郷で持つ」と激賞された。教官として内地に
帰還することが内定していた南郷大尉だったが、その1週間前の昭和19
(1944)年1月23日、連合軍約70機に対する迎撃戦闘で未帰還となった。



請勿以任何形式
嚴禁商業用途

請勿以任何形式
嚴禁商業用途





「隼」は、エースの搭乗機とそのマーキングが判明しているものが多く、それに刺激されるとズラッと並べたくなるほどハマッてしまいます。我が部屋にも7機ほどのキットが完成を待って眠っています。今回は数年前にJMC展東京会場にクラブ合同出品した「隼」をご紹介します。

イメージを伝えることに もっとこだわろう

今回の2大テーマ。

- (1) 隼の軽やかな空戦性能を感じさせたい。
- (2) 消耗戦中のエース、飛行第59戦隊・南郷大尉機を、渡部利久氏のカラーイラストから立体再現。

コクピットからの攻略

別売レジンパーツのサポートはいらないくらいによく出来たコクピット。シートベルトもモールドで再現され、ていねいに塗りこむだけで完璧。後で気づいたが、シートの高さはもう少し高くしたほうがいいのかも。

インパネは私の好きなデカール表現(手描きは嫌いですが)。ただしデカールのデカリをとるため、フラットクリアーを吹くのは必須。

主翼と胴体の関係修復

やはり、若干のすき間が上面、下面周辺に発生。プラバンやランナーをさし込み、ポリバテを盛って解決。この作業では左右の上反角が狂わないように注意。

「隼」の軽やかなイメージを、 どう表現するか

このテーマ攻略を、「工作上での表現」と「塗

装面の仕上げ方」との両面からアタック。

まず機体各所の「うす削り作戦」。各翼の後縁は充分薄く成型されているのでパス。(1)機首機銃口を細丸ヤスリで薄く。(2)機首上面の機銃ガス抜き穴を開け、裏側から薄く削る。(3)排気管のエッジをリューターで薄く。(4)機首下面のオイルクーラー前後のエッジをリューターで薄く。(5)カウルフラップを裏側から薄く削る。(6)脚カバーを裏側からモールドが消えない程度に薄く削る。(7)主翼上面の脚出し確認ステイクのモールドをカットし、プラ材でシャープに変換。

次に「塗装面の処理作戦」。プラ材を通した外部光の微妙な透過が機体の重量感にマイナスイメージを出してしまうので、いつもの私なりの

ルールで表面にはサーフェイサーを塗布、大物キットには裏面全体にブラックを塗布しています。今回は軽さの演出上、パテ処理部だけにサーフェイサー塗布。全体塗装後にハセガワトライトールのセラミックコンパウンドで磨き出し(機首上面の防眩塗装と左主翼付け根の滑り止め部は除く)。最後のクリアーも6分ツヤくらいの光沢をつけた。自分なりに効果は出たと思いますが、読者の厳しい目ではいかがでしょうか？

いつものからのピンポイント演出

脚柱にプレーキコード(モデラーズの0.45mm プラグコード)を付加。今回モデルの「南郷大尉機」はアンテナ柱を撤去していたので、キットの

請勿以任何形式轉載至各大大陸
嚴禁商業用途





取り付け穴は塞いでおく。ヒーター管は金属パイプと金属線に置き換える。コクピット内の照準器リフレクターを塩ビ板材に代えてシャープに。

イラスト立体化の マーキングと塗装作戦

第2のテーマとなった渡部利久氏の描く素晴らしいイラストに出会ったのは「世界の傑作機

No.65 陸軍1式戦闘機「隼」(文林堂)の扉折込みの、飛行第59戦隊本部付・南郷大尉乗機。昭和18年末、ニューギニア。この機体は2型甲・後期型でアンテナ柱を撤去し、2本の青い胴帯(戦隊本部先任将校乗機を示す)を巻いた、彼自身の固有機である。彼のプロフィールは有名で詳細は省くが、10数機撃墜のニューギニアのエースも、昭和19年1月23日カイル島

沖でP-38の大群と乱戦になり、ついに帰らぬ人となってしまった。

イラストと照らし合わせつつ、若干の主観を入れて着色作業進行。コクピット色はかなり迷います。緑味の強い青竹色も捨てがたいが、とりあえずGSクレオスのMr.カラーNo.127コクピット色(中島系)にブラックを若干加え、明度ダウンさせた色を使用。機体上面色は



▲中島系戦闘機の特徴でもある開口部を極力小さくしたコクピット。



▲胴体および垂直/水平尾翼の派手なマーキング。胴体帯は戦隊本部先任将校乗機を示す。



主脚柱には0.45mmプラグコードを付加。南郷機は落下タンクを左翼下のみに装備。



機体塗装後にセラミックコンパウンドで磨き、6分ツヤクリアをかけ「輝き」を演出。

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



勝敗のゆくえは?! Settled a sumo match

ハセガワ1/48 A6M2-K 零式練習戦闘機一一型

むかへし昔子供の頃に、つま先でガリガリと地面を引っ掻いて土俵を作る時、できるだけ丸くしようとコンパスのように片足を支点に土俵を作ると……小せえ小さえ。まあ大人になるとそんなこともなくなるのだが、大きくなっても地面グリグリやって相撲取るなんて……。しかし昔はことあるごとに相撲取ってたように思うのだけれど。

■ハセガワ1/48 A6M2-K 零式練習戦闘機一一型
■製作・文：佐藤太一
■Hasegawa 1/48 A6M2-K Zero Fighter Trainer Type 11
■Modeled & Text by TAICHI SATO



■今回のイメージは

射撃訓練の順番争い。訓練場の中で「俺が先だ」「いや、俺だ」ってんで相撲で勝負したら、準備のできた標的機がブワッとエンジン吹かして「ホラ、先行ってんぞ」ってんで、ちょうど勝負のつきそうな時にみんな飛行機の方見てたもんで、こりゃまたもめろ。そのあいだに他の奴がさっさと空に上がっちゃうんだよね(笑)。でも実際には順番は教官の指示で決まってるので、地上で相撲取ってるのはその日に射撃訓練をやらない待機組だね。

■さてイメージできたら作ろうか

ハセガワ1/48零戦セットの中でも異色の零式練習戦闘機。さらにその中でも生産開始の昭和17年春から夏までの短い期間に製造されたオレンジの練習機。その後は戦局の推移で緑色で塗られるようになったという。戦争後半に中堅として活躍することになる戦闘機搭乗員を育てた影の立役者である。

キットの製作にあたっては何も文句つけるところはない。エンジンにプラグコード付けてディテールアップしてもらくに見えないし。操縦

桿1個吹っ飛ばして失くしちゃってもパイロット乗せれば見えないし(汗)。枠の多いキャンピーのマスキングは、慣れると使いやすいハセガワのマスキングリキッド。マスキングしてからキャンピーを取り付けろ。取り付けからマスキングするか悩むところ。

塗装はいつものように白で下塗り、レッドブラウンでパネルラインを塗っておく。基本色に黄橙色を吹き付けてからオレンジを重ねていくが、今回はデカールの貼り付けを考えて、クリアオレンジを混ぜてツヤツヤの肌に着ていく。好みのムラが出たら1日乾燥、青味を

形式転載至貪婪大陸



足したジャーマングレーで機首の黒塗装を吹きつければ基本塗装は終了。

■デカール貼りはのんびりと

今回は日の丸から全て付属のデカールを使

ってみた。のんびりユルユルとデカール貼り。デカール貼りのコツはのんびりやること。位置を決めて軟化材を塗ったら2時間は触らない。モールドで浮いてたりしたら、半乾きの時に濡らした綿棒で垂直に押えて、もう1度軟化材を

塗っておけば綺麗に馴染む。綿棒を転がしたり擦ったりは厳禁だ。デカールの余白は普通なら切り取っておいたほうがフチが目立たずに良いが、このキットに限っては縁をカットする必要はない。それほど薄く綺麗に仕上がっている。薄くて良さそうなのに硬くてなかなか馴染まないデカールとかあるけど、最近はそのようなものも少なくなってるよね。

1~2日乾燥させた後、ガイアカラーのグリーナーを8倍程度に薄め、2時間おきに3回ほど薄く吹きつける。1日乾燥させた後もう1回、最初より少し濃い目のクリアーを吹き付けておけば、デカールの段差は全然目立たなくなる。

薄いクリアーを1日乾燥させるのは、デカールの上のクリアーをしっかりと乾燥させるため。ここであせるとクリアーの中でデカールが溶け出し、変形したりするので気を付けよう。半日程度で乾いたかなとデカールの上を指で触るのも厳禁！下手したら指紋がグニュッと付いてしまうぞ。アクリルのクリアーを使ったりは、ちょっと厚塗りすると2日くらい経つ前からグニュッと変形したりしたことがあったけど、ガイアカラーに変えてからは1日で安心して触れるようになった。





仕上げはアクリルのクリアブルーを薄くパネルラインに吹き付けて、油彩でスミ入れ。カウリングに軽く銀剥げを付けて、タイヤにバステルで土汚れつけて完成です。

■フィギュア

フィギュアは手持ちの日本海軍を総動員かけ

零戦戦の特徴である複座席。操縦者と教官の2体のフィギュアもキットに付属する。



て、キット付属のパイロット2体+ファインモールドの烈風付属の者と、タミヤのゼロ戦32型に付いてる“お見送りセット”。年代の違いでちょっとクオリティに差があるけど、改造するには“お見送りセット”くらいの方が気が楽。手足をバシバシと切り離して相撲の投げの打ち合い。右はもう上手が切れて膝も伸び切っているが、



左はまだ若干膝にゆとりがある。どちらが勝ったかは一目瞭然だね。でも誰も勝負の行方を見てないや(笑)。



▲尾部の整流コーンは外され、尾輪を高くし標的の吹流しの牽引フックを付けた。
 ◀主翼下面には左右それぞれに吹流しを格納したポッドを懸吊。

厳禁商業用途



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸



▲機敏に付属のフィギュア2体。
ポーズも自然でいい感じです。



▲エンジンには0.3mmの銅線でプラグコードを追加。
でも完成すりゃほとんど見えない。



▲風防はマスキングしてから取り付けるか、
取り付けてからマスキングするか、悩みどころ？



▲タミヤ零戦32型に付属の若者。
大きくポーズ変えるときは腰からダイナミックに切り離す。



▲切り刻んだフィギュアを接着。
隙間は黒い脱脂綿で埋めて形を整える。

ジオラマ野郎
兵隊の
Diorama Life

A6M2-K 零式練習戦闘機一機



◀ハセガワのマスキング
グリッド。見やすい半
透明のオレンジ色、薄
い皮膜でカットも容易。

請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



ULTIMATE BIPLANE ATTACKER

ロケット弾を装備した“究極の複葉攻撃機”

ソードフィッシュMk.II

タミヤ1/48

傑作キットと名高いMk.Iのリリースから幾星霜、今か今かと待ち続けていたソードフィッシュMk.IIがようやくタミヤからドロップ。最近の模型業界はオヤジ世代をターゲットにした新製品が目白押し、州平のオッチャンも見事に乗せられ、このところ新製品作例が続いている。明の文句にもあるように“古い者はど新しい物を欲しがるものでございます”。今月もお付き合いください。



■タミヤ1/48 フェアリー ソードフィッシュMk.II
 ■制作・文：松本裕子
 ■Tamiya 1/48 Fairey Swordfish Mk.II
 ■Modeled & Text by SHUHEI MATSUMOTO



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
 嚴禁商業用途



■ソードフィッシュMk. IIについて

1936年にイギリス海軍に採用されたソードフィッシュは、第一次大戦の航空機構造を引きずる鋼管フレームに羽布張りの複葉機という古色蒼然とした艦上攻撃機であります。Mk.IIではエンジンをプリストル・ペガサス30（750馬力）に換装し消炎排気管を追加、ロケット弾装備の必要から下翼下面を全周張りに変更、オイルクーラーの大型化、主翼支柱にはレーダーを装着しましたが、この結果Mk.Iでは230km/hあった最高速度は222km/hに減速しております。しかしながら夜間や悪天候下での見通しに優れ、また短い飛行甲板での運用が可能であったため、本

来の雷撃任務よりも沿岸哨戒やUボート狩りなどで活躍、大戦末期まで使用されることとなります。ただイタリアのタラント軍港の奇襲作戦、ビスマルク追撃戦など輝かしい戦歴を持つMk.IIに比べると、いささか地味な存在ではあります。

■ソードフィッシュとの馴れ初め

私が「ソードフィッシュ」なる航空機を初めて知ったのは、幼少の頃テレビで見ました「ビスマルク号を撃沈せよ」という洋画です。当時はもうすでに九七艦攻、デバスター、アベンジャーなどの攻撃機を知っておりましたので、その古臭い機体に唖然とし「カッコワリー」と素直に思っていました。あんなブ

ッサイクな飛行機に沈められた戦艦ビスマルクもいかなものかと。

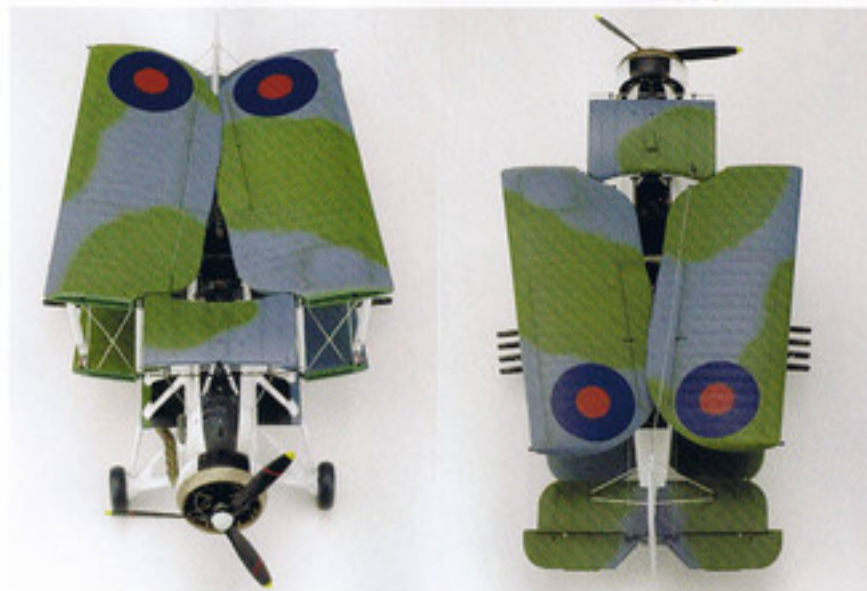
その後何10年も経過し、イギリスの海軍機に興味を持ち調べておりました、まあ出てくるは出てくるは。フェアリー・フライキャッチャー、ブラックバーン・ブラックバーン Mk.II、ブラックバーン・シャークなどなどブッサイクな機体の数々（嫌いじゃないですけど）。そんな中にありましては、ソードフィッシュがかなりまともに見えてきたのです。第一次大戦機に手を伸ばしはじめた頃には、特にロケット弾を下翼に装備したMk.IIIは、「これは、ある意味究極の複葉攻撃機かもしれん。なんと、カッコエーじゃん」と劇的に嗜好が変化していたのです。

そんな昨今の私にとって、タミヤ社による1/48ソードフィッシュMk.IIIは持ちこたに待つキットリリースでありました。まして翼折り畳み状態まで再現可能とあればもう「買う」やる買うやる、2機は買うやるです。

■製作

コックピットは、ストレート組みでじゅうぶん臨賞に耐えるものはできますが、シートベルトがデカール表現になっていますので、今回のようにパイロットを乗せない場合は、適当なエッチングパーツを組み込むか、私のようにデカールの上からリタッチして、リアルに見えるようにすればよいでしょう。別売エッチングパーツを組み込む場合は、事前にすり合わせをしておきます。

その他の部分は、ストレスなくカッチリ組みあがっていきます。ピトー管とコード、ラ



ダー、方向舵のワイヤー、アンテナ線を自作したのみにとどまっています。

■塗装

ラッカー塗料により第836飛行隊所属機を、キット付属塗装図を参考にして表現しました。翼および機体上面のグレイバイオレット/ダークグリーンによる雲形迷彩は、きっちりマスキングを施して2色間の境界線をはっきりさせた後、エアブラシのノズルを絞りダークグリーンのボカシを境界線に沿って細めに入れて描きます。この方法だと、直接エ

アブラシを使ってボカシを入れるより、イギリス空軍によく見られる“ボケてるのかはっきりしてるのか悩ましい”あの雲形を比較的表現しやすいです。

今回もデカールの馴染みを考えて、全体をツヤありに塗装。デカールをしっかりと乾燥させた後、フラットベースを薄く溶いたものをエアブラシで数回に分けて吹いています。最後はエナメル塗料によるスミ入力で完成です。

このキットはディテールと全体のフォルムがよくできています。ストレスなく複製機を完成させたい方にはもってこいでしょう。



請勿以任何形式轉載至香港大陸
嚴禁商業用途



コックピットは鋼管フレーム構造を再現。シートベルトはデカールをタッチアップ。



計器盤と側面の機銃もキットのままで十分。計器部分はデカールが用意されている。



胴体にコックピットを組み込み。胴体側面は羽布張りなのでバフで塗装。



ブリistol・ペガサス30エンジンはタミヤ純正エッチングパーツでディテールアップ。



胴体部分が完成。対潜迷彩のホワイトの機体はなかなか新鮮。



最終組み立て前に記念撮影。複製機の前には3人乗りで意外とデカイ飛行機。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



Early Focke-Wulf

初期型Fw190A傑作キットをジオラマ展開!



■タミヤ1/72 フォッケウルフFw190A-3
■製作・文：ブルツェミスラフ・スクルスキ
■Tamiya 1/72 Focke-Wulf Fw190A-3
■Modeled & Text by Przemyslaw Skulski

タミヤ1/72

フォッケウルフFw190A-3

ドイツ空軍のフォッケウルフFw190AはWWII戦闘機の中でも特に人気の高いアイテム。初期の本格的な生産型であるA-3は1941年末に登場、イギリス空軍のスピットファイアMk.Vを圧倒し多くのエースを生み出した。スクルスキ氏はタミヤの1/72傑作キットとフィギュアやアクセサリなどのアフターパーツ、そして比較的身近なマテリアルを使い、西部戦線に展開したエース機のジオラマを実現している。



ジオラマ全景。枠は写真店で購入した木製のフォトフレームを流用。



タミヤのFw190A-3は1/72スケールではベストキット。JG26のW.ガート大尉機を再現。



コックピットとフラップのみエデュアルドのエッチングパーツでディテールアップした。



フィギュアはCMKのレジン製2種類を使用。ディテールは申し分なく塗装映える。



アタックのクラウ57K乗用車を配置。ディテールはそこそこだがその存在感は抜群。

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

■Fw190A-3の製作

第二次大戦機で最も人気がある機体のひとつがドイツのフォッケウルフFw190戦闘機である。その初期型Fw190A-3の1/72スケール最高のキットをタミヤがリリースしてくれた(品番60766)。このキットは正確かつ精密に設計されており、製作も非常に簡単である。すべてのパーツは合いが良く、バテはまったく必要ない。

今回の作例ではエデュアルドの2つのエッチングパーツ「フラップ」(品番72383)および「ズーム」(品番SS176)を使い、少しでもディテールアップを施した。ちなみに「ズーム」とはコクピット用のみのエッチングパーツセットである。

塗装は1943年にフランスに展開したStab./JG 26所属のヴィルヘルム・ガート大尉の機体を再現した。この機体は初期のFw190Aの標準的なカラースキーム(RLM74/75/76)である。塗料はタミヤアクリルを使用している。

キット付属のデカールは良質なもので、機体の表面にデカールを密着させるためにエアロマスターの軟化剤を使用した。何の問題もなく貼ることができた。

最後の工程はウェザリングだ。表面割れがのちipping、オイルの垂れ、パネルラインの

スミ入れなどを行っている。

■ジオラマおよびアクセサリーの製作

このフォッケウルフを展示するためにジオラマベースを製作した。サイズは22x27.5cm。枠には写真店で購入した木製のフォトフレームを使った。

草地には「プラスティシ」(モデリング粘土の一種)を盛り、タミヤアクリルのダークアースで塗装した後、ファーラーの草をベースに植えた。草地はダークグリーンで基本塗装した後、ライトグリーン、イエローでハイライトを入れている。小さな灌木は休日に森で見つけたコケを使ったが、乾燥後に塗装するとなかなか良い感じに仕上がった。

飛行場のエプロンは2mmのプラバンから作成。全体をライトグレーで塗装し、パネルのすき間はダークグレー。さらに明るいグレーでドライブラシをかけ、GSIクレオスの水性塗料でオイル染みを描いた。

このジオラマにはタトラ57K乗用車とFlak38 2cm対空機関砲も置いてみた。タトラはアタックの製品(品番72812)でほぼ「素組み」。キットの出来はシンプルだが、ちょっと目新しい車両で存在感がある。Flakの方はポーランドのメーカーARMOのレジンキットだが、金属砲身も付属、組み立ても簡単で、1/72ジオラマビルダーにはおすすめの好キ

つだ。

地上整備員とパイロットのフィギュアはCMKのレジンキット(品番72037、72078)。歩哨の国防軍兵士はブライザーのインジェクションである。その他ジオラマに使った木箱、ドラム缶、石油缶、工具、木板、雑草などのアクセサリー類はほとんどがARMOのもので、酸素ボンベ運搬台、砂箱などはブライザーから持ってきた。ブライザーのものは実際は鉄道模型HOゲージ用の1/87スケールだが、1/72のジオラマに加えても違和感はなく有効に利用できる。



Flak38 2cm対空機関砲はARMOのレジン製。金属砲身まで付属する出来のいいキット。

ドラム缶などの小物はARMOとブライザーを併用。ブライザーは1/87だが違和感はない。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

九六式 陸上攻撃機 22型

RLai Systems 1/144 Military Aircraft Collection Vol.3 BIGBIRD Vol.2

■RLai Systems 1/144 九六式陸上攻撃機22型
■製作・文：竹内雄雄夫
■RLai Systems 1/144 Type 96 Attack Bomber Model 22
■Modeled & Text: KIKUO TAKEUCHI

RLai Systems (アールレイ・システムズ) から彩色済み半完成モデル“BIGBIRD”シリーズ第2弾が登場。日本の九六陸攻、ドイツのHe111、アメリカのP-61とバランスの取れた3機種。この中から日本海軍の九六式陸上攻撃機のキットを選び、無塗装パーツ状態からイッキに作ってみよう!



機体内部はXF-71コックピット色(日本海軍)とH63青竹色の2色で塗り分けしてみた。



まず迷彩の茶色を筆塗り。Mr.カラーのC22ダークグリーンをパターンよりやや大きめに。



続いて緑色はスイートの蜜蝋・暗緑色。1/144用に明るく調色されてイイ感じ。



下面をシルバーで塗ったら、迷彩の境界をダークグリーンのドライブラシでボカす。



日の丸の余りデカールをサークルカッターで切り抜き。主翼と胴体の合計6ヶ所必要。



スジ彫りは目立つけど、一応エナメルフラットブラックでスミ入して完成ー!



RLai Systems 1/144 Military Aircraft Collection Vol.3 BIGBIRD Vol.2

■彩色済み半完成 ■価格650円

昨年“BIGBIRD”シリーズと題して一式陸攻、B-24リベレーターの彩色済み半完成モデルをリリースしたRLai Systems (アールレイ・システムズ) から第2弾が登場。気になる機種は、日本海軍の九六式陸上攻撃機、ドイツ空軍のハインケルHe111H、アメリカ陸軍航空隊のP-61Aブラックウィドウの3つ。それぞれにレギュラーカラー2種類とシークレットカラー1種類が用意され、さらに新金型のシークレット1機種の全10種類がラインナップ。全部欲しー!!

■問い合わせ/カフェレオ

03-5825-0801 <http://www.cafereo.co.jp/>



He111H-6 第27爆撃航空団第2中隊/第26爆撃航空団第5中隊



九六式陸上攻撃機22型 美濃航空隊/第一航空隊



P-61Aブラックウィドウ 6th FNS Saipan 1944 / 548th NFS Iwo Jima 1945

請勿以任何形式轉載至商業用途



バンツァーファースト対策を施した特殊バージョン

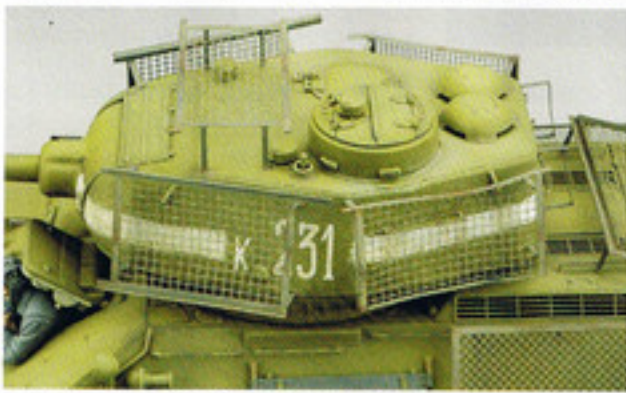


T-34/85

with Bedspring Armor

ベッドスプリングアーマー装着型

AFVモデラーに大好評のドラゴンモデル“プレミアムエディション”シリーズ。バンター、シャーマンなどに続き、WWII超人気アイテムのT-34/85が装も新たに登場した。毎週、新規パーツやボーナスパーツが楽しめる同シリーズだが、T-34/85では新金型の転輪パーツに加え、ベルリン戦で有名なあの“ベッドスプリングアーマー”を再現できるエッチングパーツがセットされている。こりゃ〜T-34ファンは買うしかない!!



対バンツァーファースト用のベッドスプリングアーマーはエッチングパーツで再現する



請勿以任和形式轉載至貪婪大陸
 嚴禁商業用途

“プレミアムエディション”にソ連を代表する戦車、T-34/85の2つ目のバリエーションが加わりました。ベースとなっている通常版「T-34/85 UTZ MOD.」は決定版キットとして既に多くのAFVファンが製作したことでしょう。“プレミアム”はさらなるグレードアップが図られ、ベルリン戦で有名なベッドスプリングアーマーを再現できるエッチングパーツまでセットされています。

■製作

さて、足回りから組んでいきますが、誘導輪の軸A6は履帯を巻き付けやすくするため接着は履帯装着時に行ったほうが良いでしょう。使用する履帯の枚数は、L1とL2合わせて片側72枚です。少数ですが若干反ったパーツがあり、組み合い難い場合がありますが、指でクセをつけ修整すれば問題はありません。

今回は、本キットの“ウリ”ともいえる成形炸薬弾用のベッドスプリングを車体に装着するため予備燃料タンクは使用しないので、車体上部の取り付け用の穴は塞ぎました。型フェンダーを切り取る際は余計な部分に傷を付けないように注意しましょう。丸型フェンダーT7、T8は、取り付け前に予めカッターで凹みを表現したり、熱を加えて変形させたりしています。



フィギュアはトライスターのフィギュアセット「ロシア戦車兵」の中の1体を使用。



フロントフェンダーは説明書の指示通り、車体と一体になった角形タイプを切り取り、別パーツの丸形タイプに変更。

ヘッドライトB7には、エッチングの切端を加工してフィラメントをそれっぽく再現してみました。ただし小さすぎて余り効果がなかったようです。

砲塔には、伸ばしランナーで鋳造接合ラインを再現。アルミ製の砲身は、砲口部分の肉厚が気になったので、カッターの刃先を入れ、

軽く回転させて削りました。この作業、力の入れすぎには注意が必要です。

さて、ベッドスプリングアーマーですが、説明書では組み立てが詳しく説明されていません。箱裏側と側面の完成写真を参考に作業を進めました。車体への取り付けは車体の塗装が済んでからの方が良いでしょう。エッチ

ングパーツに付いている折り曲げ用のラインは、ミシン目の場合は折り畳み、通常のラインの場合は直角に折り曲げます。一つ、折り曲げラインが途中で消えている箇所がありましたが、箱写真と類似パーツを参考に作業しました。

側面の支持架MB4、MB11、MB10は番号はそれぞれ違っていますが実は同じ形状です。この字型に折り曲げるパーツなのですが、そのままでは車体に対して上手く収まりません。そのため短辺を切断しI字型にしました。取り付け位置も曖昧だったので、独自の解釈をしています。

砲塔のMB5は右用と左用があります。注意してください。支持架MB3は、砲塔上部に付く側を2mm程短くして調整しました。MB6に接合する支持架は、組み立て図ではMB13ですが、箱写真に従うとMB8とMB14になります。この場合MB7にはMB13を接合します。

フィギュアはトライスターの「ロシア戦車

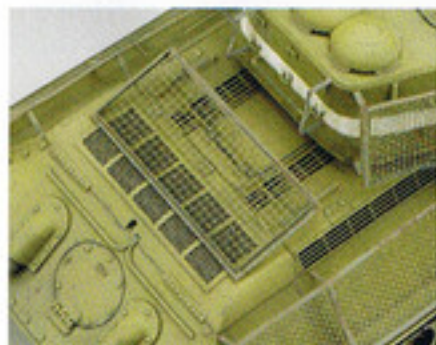




スプリングアーマーの取り付けは、砲の横や裏面に掲載されている写真を参考に。



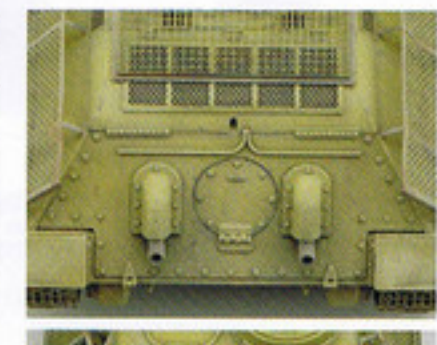
スプリングアーマーを装着する際は、外部燃料タンク取り付け用の穴は塞いでおこう。



砲台笠上にもトップアタック対策のスプリングアーマーを装着。



フロントフェンダーは至めてダメージを再現。



兵」(品番35012)の中の1体。スプリングアーマー付きT-34/85の記録写真に、よく似たポーズの人物が写っていたので使ってみました。

■塗装

車体の基本色はタミヤアクリルのNATOグリーン+オリーブドラブ+イエローグリーンです。マーキングはナンバーのみデカールで、白線は手描き。当時の写真を見ると白線は、かなり乱雑に描かれています。スプリングアーマーの色は判らないのでニュートラルグレ

ーで。
車体にハンプロールのカーキドリルやダークアースで簡単な汚しをかけ、スプリングアーマーを瞬間接着剤で接着。鋼板の跡はどうしても光ってしまいますが、つや消しクリアーを吹くことによって簡単に目立たなくすることができます。

スプリングアーマーにも車体と同様の汚しをかけ、レッドブラウンなどでサビを入れました。最後に車体にもキズやサビをいれ、足周りをピグメントで汚して完成です。



砲台上面にもスプリングアーマーを装着。市街戦では建物の上階から撃ち込まれることもあるので、この措置はかなり有効。



スプリングアーマーは多少重みを付けるビルドアップになる。



請勿以任何形式轉載至商業用途



サイドフェンダー上の固定ベルト用小フックもエッチングで再現。



機関室の吸排気口もエッチングによりリアルに再現できる。



エッチング製スプリングアーマーの加工と取り付けが、本キット製作の肝!!



ディテール用のエッチングパーツと金属物身がセットされている。



フロントフェンダーに小さな穴を開けし被弾痕を再現。



さらに熱でフェンダーに凹凸を付けて使い込まれた感じを表現。



ヘッドライトの中にエッチングの小片でフィラメントを追加。

T-34/85の資料ならコレ!!

MODEL FAN ENCYCLOPAEDIA

- No.5 T-34 STALIN'S WAR-HORSE Vol.1
- No.6 T-34 IN COMBAT Vol.2
- No.7 T-34 BLOODY PEACE-MAKER Vol.3

ポーランドのAJAKS社が発行しているAFV資料集。プロトタイプからA-20に始まりT-34/85までの全モデル(戦後型、ライセンス型有り、派生車は含まず)を3冊に分けて徹底解説。多数の戦場写真を交えた開発・戦史解説や1/35 各バリエーション五面図、各型変遷詳細図、ディテール写真、カラー塗装図、キットレビューなど役立つ資料が盛りだくさん。英語/ポーランド語併記、84~96ページ。問い合わせ: 西山洋書 Tel 03-3981-6301



T-34 MYTHICAL WEAPON

T-34の資料としては最高の本。多数の写真を交えT-34の開発から第二次大戦での戦況、戦後各国での生産・運用などを詳細に解説。さらにディテール写真、1/35 各バリエーション五面図、カラー塗装図、構造解説イラスト、各タイプごとの細部の相違を描いたカラーイラスト等々……、モデラーが知りたいあらゆる情報が詰め込まれている。年式、工場ごとの細部の相違点は言うまでもなく、転輪、履帯のすべてのバリエーションも一目瞭然。ARMAGEDON & AIRCONNECTION社刊、英語、ハードカバー520ページ!!

■問い合わせ: M.S.モデルズ Tel 020-276-7858



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

■写真取材・撮影：ゲオルゲ・ハインツ・トリューン・ブルジェニスラウ・スワルスキー
■Photos by George Papadimitriou, Przemyslaw Skalski



The detail photos of T-34/85 in Tank Museums

▲スウェーデン・アウスバルの戦車博物館に展示されているT-34/85中戦車。



▲車体前部。牽引フックや予備履帯の形状がよく分かる。



▲車体前部左側に機銃マウントを配置。写真の展示車は7.62mm DT機関銃が外されている。



▲車体後部の機関室上面。前方にV-2ディーゼルエンジン、その後部にラジエーター冷却器を配置。



諸君の任何形式轉載或商業用途均屬違法



▲車体後部右側面に設置した前部燃料タンク。



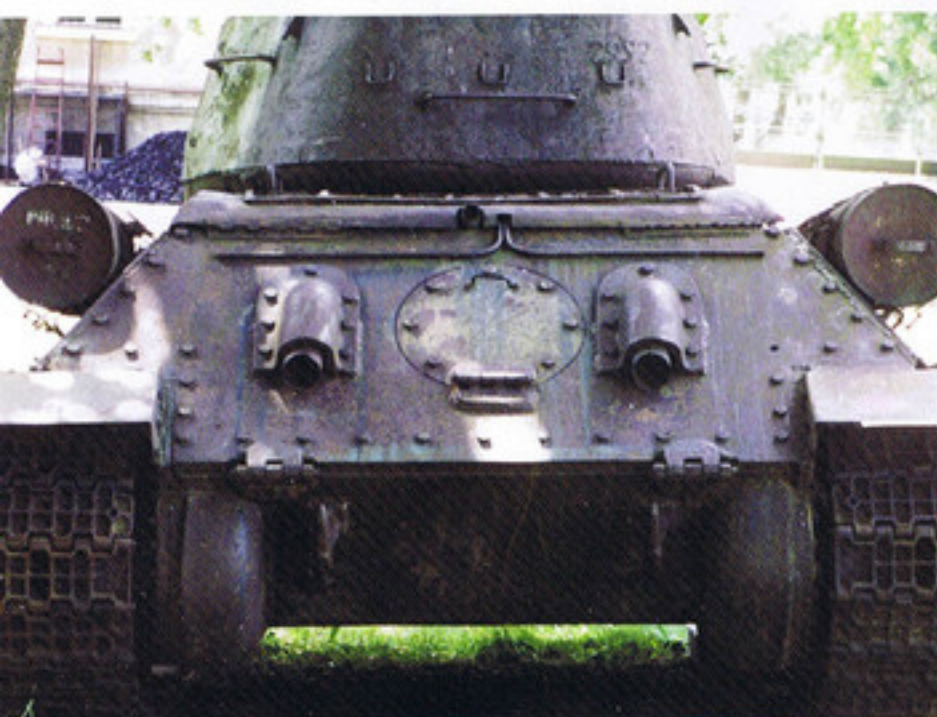
▲車体後部右側の後部燃料タンク。



◀T-34/85の車体後面。



The detail photos of
T-34/85
in Tank Museums



▼燃料タンクの固定器具のクローズアップ。写真は車体右側。



▶車体右側の燃料タンク固定具。右側には2個、左側は1個の燃料タンクを装着。



▲車体後面の中央に設置されている点検ハッチ。



▲点検ハッチ上部のパイプは外部燃料タンク用の給油管。



▲車体後面両側(写真は右側)には燃料タンクの固定具を設置。

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



▲リアフェンダー。



▲車体後部下側のデファレンシャルカバーの張り出し部と牽引フック。



▲車体後部の牽引フック。フックの下に牽引ロープが外れないようにするためのストッパーが設置されている。



▲車体前部に配された誘導輪。



▲写真の転輪はゴムリム部がなくなっている。



▲転輪中央のホイールキャップ。

◀上の転輪とはリブの形が異なる。



▲車体後部の駆動輪。



請の以何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商用用途
▼500個の鉄の履帯。7,3485で写真の履帯と異なるバタレンの履帯も使用されている。



T-34/85の砲塔。写真はいずれもポーランドの軍事博物館に展示されている車両で、側面部の形状が若干異なっている。



The detail photos of
T-34/85
in Tank Museums



▲砲塔のクローズアップ。砲塔も様々な形状のバリエーションがある。



▲砲塔後面。手すり、小フックの取り付け方が異なる。構造肌や溶接跡などにも注目。



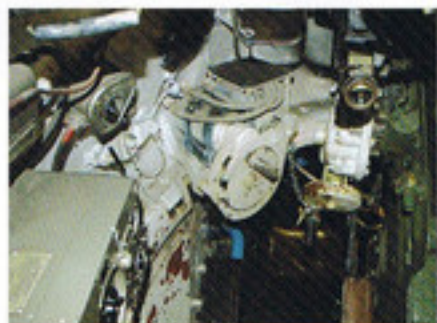
▲車体前部左側に設けられた操縦手席。茶色のシート座面の前方に操縦レバーや計器板、フットペダル類が見える。



▲操縦手席の左側周辺。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸





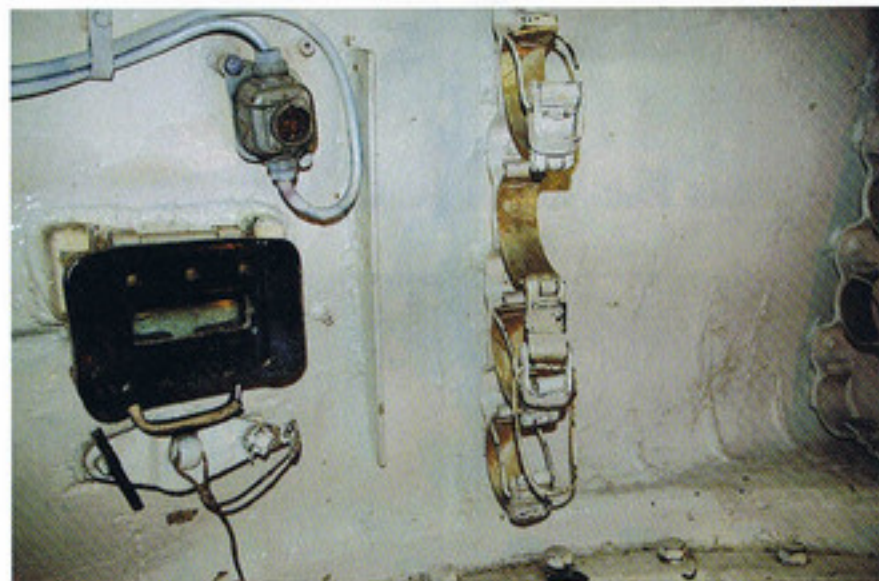
▲車長用キューボラ内側。写真は前方部分。



▲キューボラの左内側。



▲砲塔内右前部上面に設置された装填手用ペリスコープ。



▲砲塔内右壁面。黒い器具は装填手用の視察装置。
その後方(写真では右側)の留め具は85mm主砲弾の固定器具(4発収容)。



▲砲塔右側壁方付近。三角形の装填手用シートが見える。



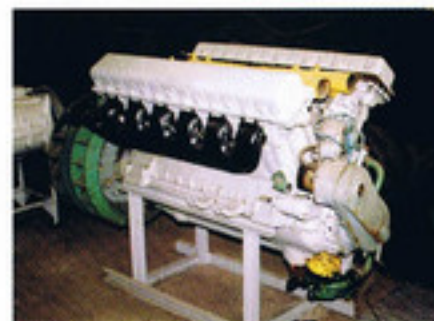
The detail photos of
T-34/85
in Tank Museums



▲砲塔内後部。4段式の砲弾ラックには12発(1段×3発)の砲弾を収納できる。



▲車体後面の点検ハッチを開いた状態。
冷却器の一部が見える。



▲T-34に搭載されたV-2液冷ディーゼル・エンジン。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

30年の歴史を誇るクラブの集大成発表！

エアークラフトモデラーズクラブ ストール 30周年記念展示会



■2007年4月29日～30日 東京都港区 東京交通会館 2Fギャラリー

大型連休初めの4月29日(日)～30日(月)の2日間、東京都港区にある東京交通会館 2Fギャラリーにて、「エアークラフトモデラーズクラブ ストール 30周年記念展示会」が開催されました。飛行機好きなモデラーが集まり会が結成されてから30年あまり、活動の集大成発表の場として今回の展示会を開催。年に1回、関東の4クラブ(ホラ・プロワーズ、無名会、リパティウィング)合同で行われる“大激作展”に出展された選りすぐりの作品が展示されていました。ゴールデンウィークの始まりで天候にも恵まれ、会場もJR有楽町駅前の絶好の立地条件ということもあり、開場から多くの来場者で賑わい、各時代の軍用機、旅客機からロケットまでの数々の力作に眼を凝らしていました。



民間機型の1/48デハビルランド・モスキート。WWII中にBOACが運行。



スイスの時計メーカーIWCの1/72ユンカースJu52/3m。右翼上の時計の絵が特徴。



バキュームキットを製作した1/48九八重轟。緑と茶の2色迷彩で仕上げています。



九七戦から改造、微妙な機首ラインが再現された1/48二式高爆。



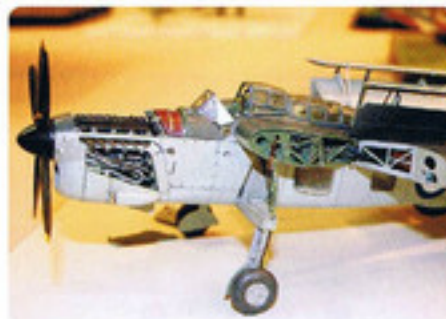
1/48 T-6テキサン“チノ・レーサー”。機体と車の赤がとてもキレイ。



1/144ダグラスDC-6B。4mm径のモーターと単4電池でプロペラを回転。

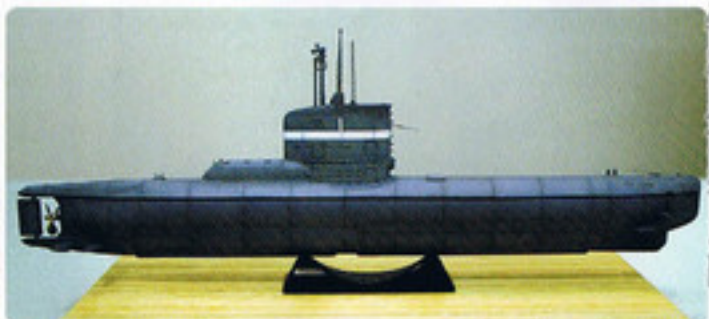


主翼の赤ラインが美しいイタリア水上機、1/72メリディオナリRo43。



主翼折り畳み、ラダー、キャノピーなど各部を可動にした1/48バラクワダ。

潜水艦の展示も。WWII末期ドイツの小型潜水艦、1/144 UボートXXIII型。



請勿以任何形式轉載至貴楚大陸



機体全面に繊細な
リベットが打たれ
た1/48流星艦攻。



1930年代の英国旅客機、1/72のハンドレーページ・ハンニバル。



ホークとモノグラムのキットから製作した1/48ノースロップT-38A
タロン。



各段のロケットは分解可能。最終的には帰投時のモジュ
ールまで分離できる。



1969年に打ち上げられた最初の月ロケット、
1/72のアポロ・サターンV。

米空軍、航空自
衛隊などの1/48
F-86Fセイバー
3機がシェプロ
ンを組む。

1/24のストール展
示会場ジオラマ、奥
にあるのは1/700
空母ホーネット。



日米の1/72艦載水上機
がカタパルトに載って
飛び立つ。右は丸式
水筒。



1/48の輸送機、デハビ
ランド・カリバー。パ
キュームキットをベ
ースにスクラッチ。



パキュームキットを製作した1/48デハビランド・シービクセンFAW2。



「はねだ 昔、むかし…」と題した1960年代の旅客機写真も数多く展示。



フルスクラッチによるRB-57Fキャンベラ。傍らのラダーやミニバンもスクラッチ。

請勿以任伺形式轉載至貧替大陸

■ ポーランド模型イベントに出品されたAFV優秀作品を紹介!

Krajowy Konkurs Modelarski 2006

パート2: AFV作品編

■ 2006年10月15～16日開催 ポーランド/ヴァウブジフ ■ リポート・写真: プルウェスラウ・スクリスキ ■ Photos & Text by Przemysław Skutski

前号に続き、ポーランド、ヴァウブジフのクシャーツ城で開催された模型イベント「Krajowy Konkurs Modelarski」の様子を紹介。今回はAFV部門における優秀作品を取り上げた。単品作品あり、ジオラマあり。いずれも細部までかなり作り込まれた力作ばかりだ。



ヤークトティーガー

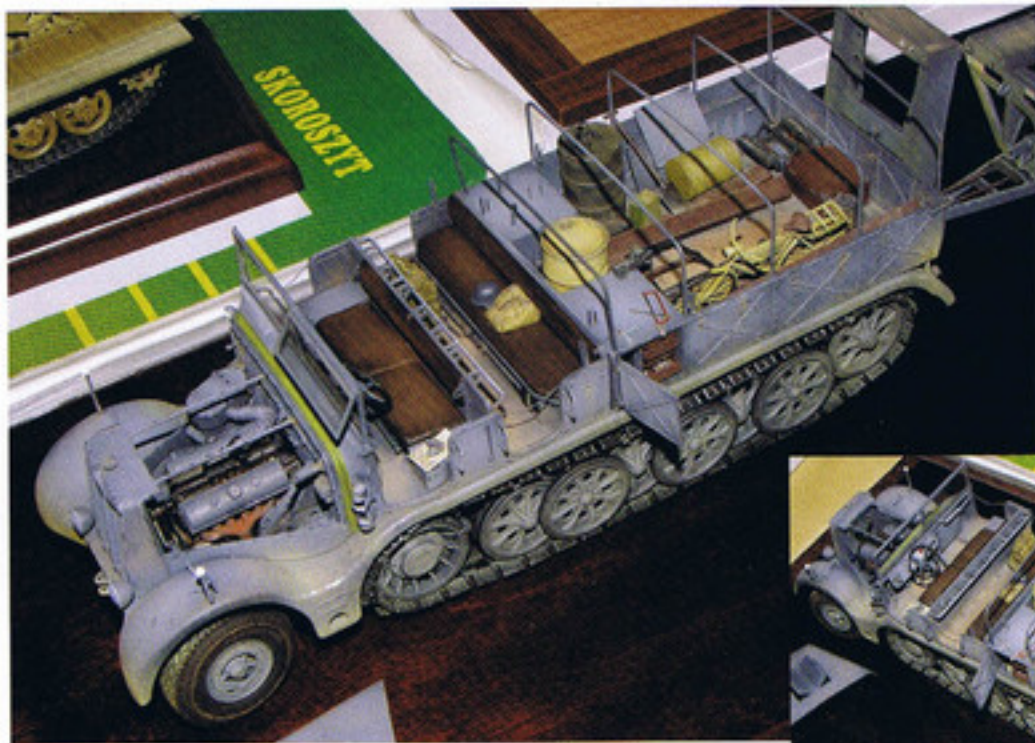
ドラゴンモデル105

Josef Vasak氏 製作

1945年春、第853重戦車大隊のヤークトティーガーを再現した作品。内部を再現するなど細部をディテールアップ。さらにフィギュア、ジオラマベースの作りも非常に良い。



資料に任何形式轉載至本誌大陸
商業用途

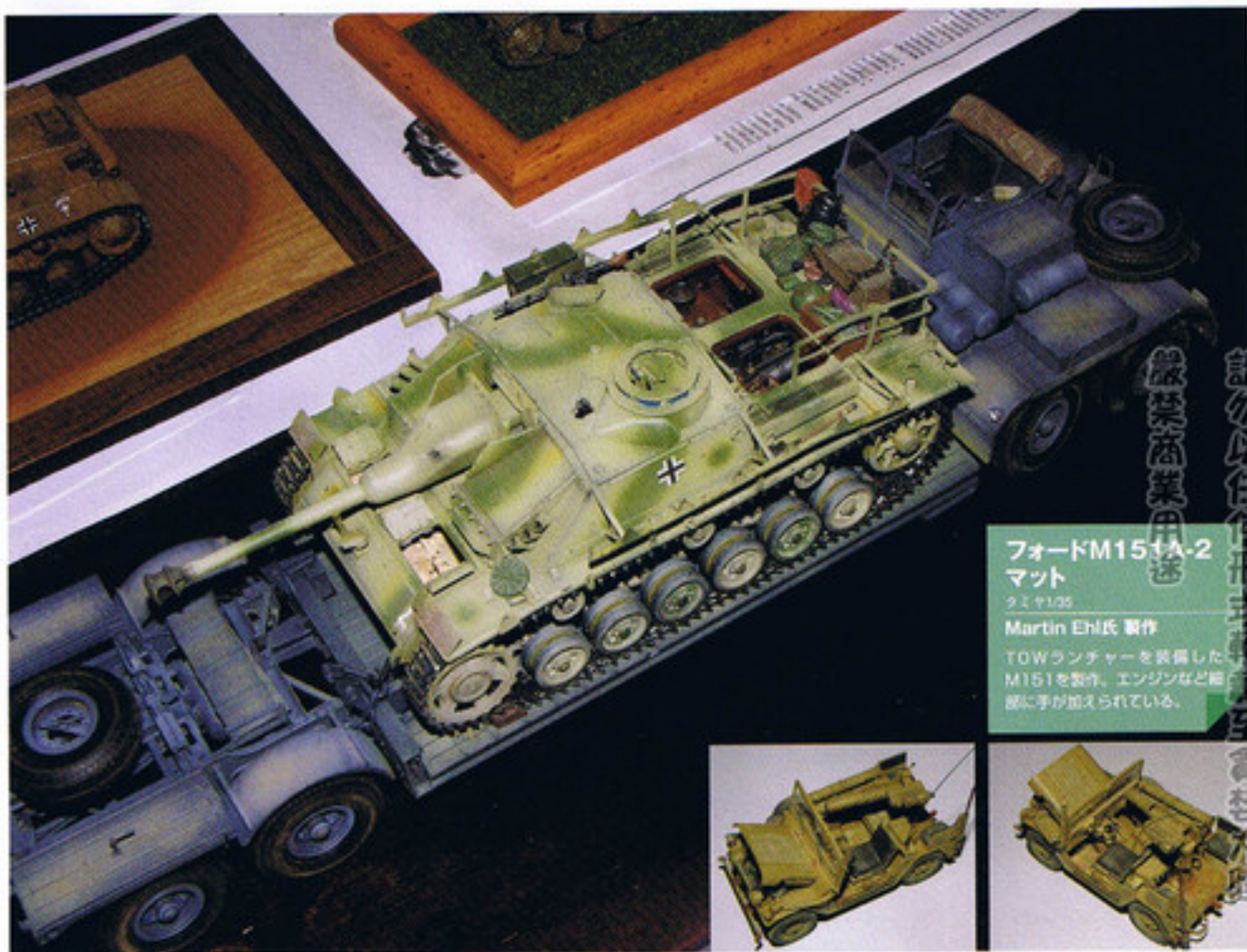
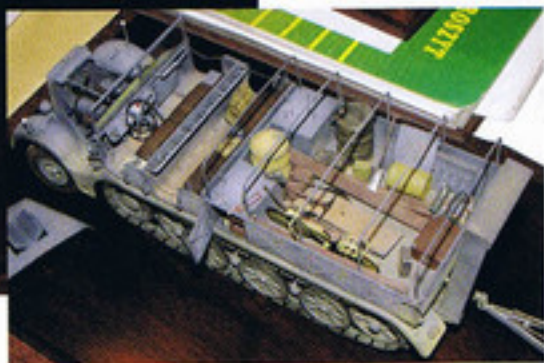


FAMO18t重 ハーフトラック& Sd.Ah.116

タミヤ1/35

Michal Tafil氏 製作

タミヤの大型キット、FAMO18t重ハーフトラックとSd.Ah.116戦車牽引トレーラーを製作。アペールなどのエッチングパーツを使用し、ディテールアップ。さらにSd.Ah.116にはこれまたディテールアップされた川突G型が載せられている。



フォードM151A-2 マット

タミヤ1/35

Martin Ehl氏 製作

TOWランチャーを装備したM151を製作。エンジンなど細部に手が加えられている。



読者の皆様へ
この雑誌は、
軍事模型の
世界を
紹介する
ための
雑誌です。



Sd.Kfz. 7 8.8cm Flak搭載型

1/72

Robert Porada氏製作

改造パーツを多用し制作した作品。1/72というミニスケールであっても手を抜かず細部まで細かく手が加えられている。

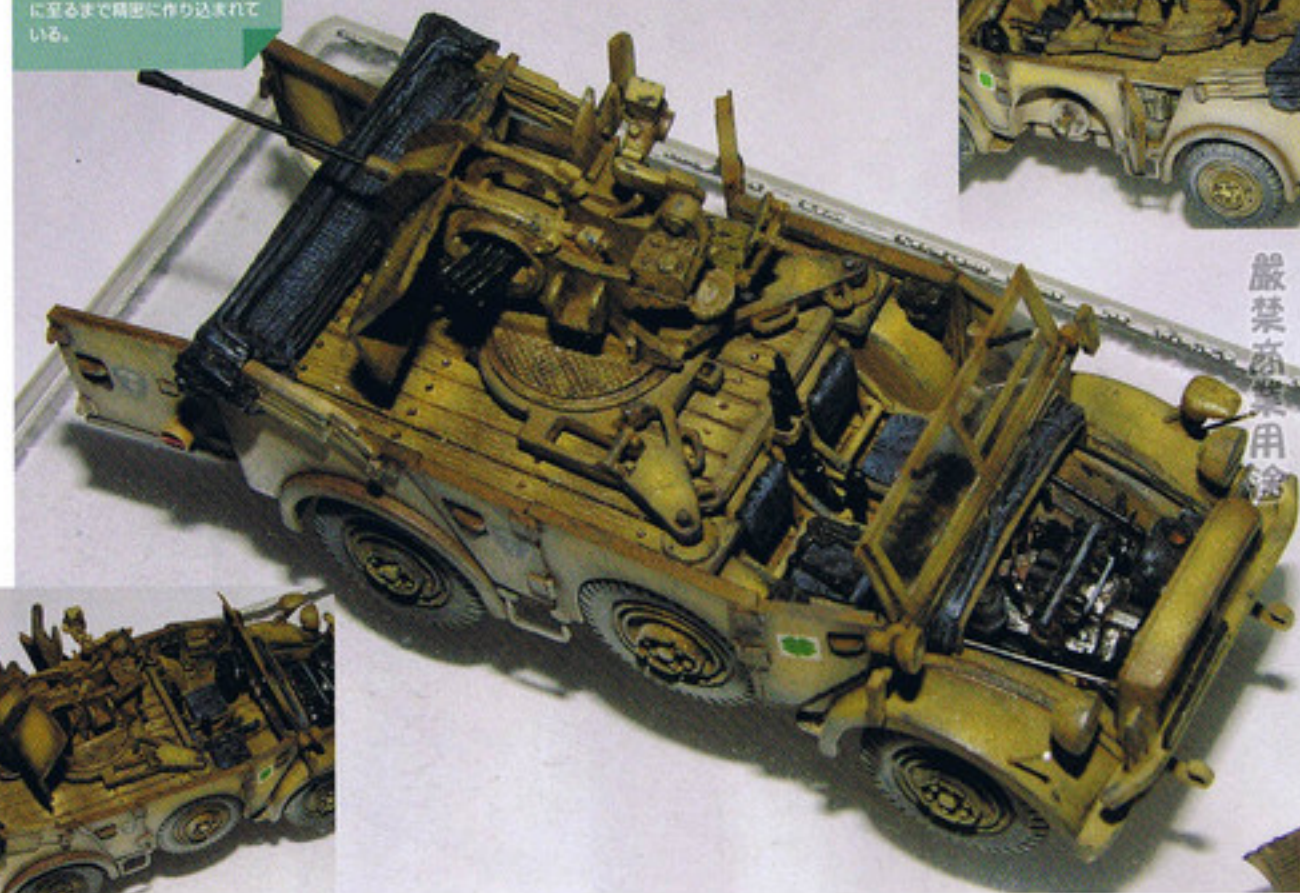


ホルヒ1a

1/72

Robert Porada氏製作

こちらもPorada氏の1/72作品。一見1/35と見間違えしそうなほどエンジンや車内に至るまで精密に作り込まれている。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

ACADEMY

HOBBY MODEL KITS

NEW

好評
発売中

AM12104 1/32スケール
F/A-18Cホーネット
"CHIPPY HO"
¥15,000/¥15,750(税込)

限定 カルトグラフ社製
デカル入



MR.
HOBBY
ミスターホビー

梅雨どきの塗装作業を 強力サポート



- 塗装後の乾燥はもちろん、各種バターの硬化促進にも使用できます。
- 塗装表面にやさしい対流乾燥方式を採用。穏やかな空気の流れてカブリ現象の発生を抑制させます。
- 室内35℃～40℃(外気温により変化します)の乾燥に最適な条件に保たれます。
- 大きく開く全面カバー。透明なので乾燥中の様子が見えかわります。
- 広い乾燥室内で大型モデルに対応。
- 可動式の棚板が2枚付属。取付け位置を対象物に合わせて変更できます。
- タイマーは連続・0～60分に設定可能です。
- マイナスイオン発生装置を組み込み、乾燥中の臭いを軽減するとともに、塗装表面にやさしくホコリのつきにくい環境をつくれます。

[仕様]

■本体の用途…塗装・バタ乾燥機 ■電圧…AC100V(50/60Hz)
■消費電力…44W ■温度調節方式…サーモスタット(露点設定温度40℃) ■本体寸法…幅424mm×奥行247mm×高さ365mm
■本体重量…2.7kg

Mr.パーツばさみ、ネジの手引きが利用出来るトレイです。
Mr.ドライブースのトレイと同じサイズなので、塗装後直ぐにセットでき、作業効率があがります。

NEW



GT-04T Mr.乾燥トレイ
¥1,500/¥1,575(税込) 好評発売中

GT-04 Mr.ドライブース
¥15,000/¥15,750(税込)

GXカラー発売

- あざやかな発色
- 高い隠ぺい力
- 強い塗膜
- クールホワイトは、ベースホワイトとしても使用可能



Mr.カラーGX 好評発売中

GX1 クールホワイト

GX100 スーパークリアーⅢ

各¥200/¥210(税込)

乾燥の速さと塗膜の強さが特徴のMr.カラーがさらに進化します。より鮮やかな発色と、下地の色の隠ぺい力、さらに強い塗膜を実現しました。薄くエアブラシでの作業において、高品質な仕上がりを実感していただけます。Mr.カラーGXは、従来のMr.カラーと混ぜることが可能で希釈にも従来のMr.カラー用溶剤、レベリングうすめ液を使用することができます。容量も従来の10mlから18mlと1.8倍の量。高性能化を図りつつも容量も従来の10mlから18mlと1.8倍の量。高性能化を図りつつも価格は200円とお買い得です。

[今後の発売予定ラインナップ] (色名は仮称です)



最新情報はこちらで

<http://www.mr-hobby.com/>

MR.
HOBBY
ミスターホビー

株式会社 GSIクレオス ホビー部

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-1

TEL. 03(5211)1844

Panther G w/Steel Road Wheel

新金型追加 1:72

2007
NEW
Smart Kit
[5~6月発売予定]

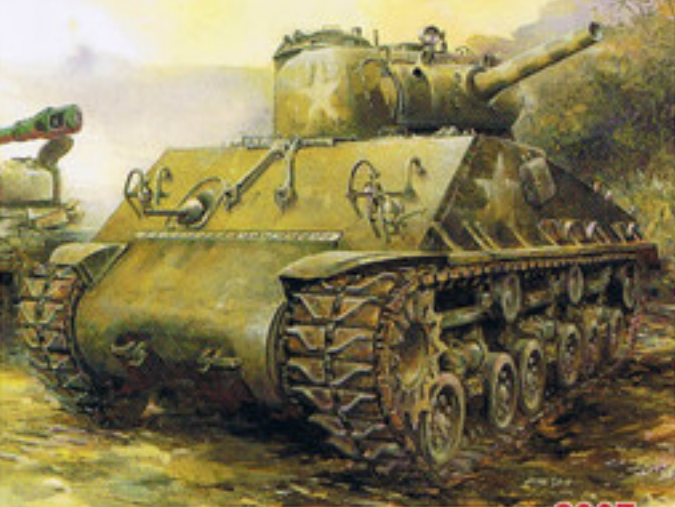


800mmスチールホイール&スベアホイール新金型。メタル製スベアトラックブラケットフック。エッチングパーツ。カルトグラフィックデカール。マジックトラック。他多数。

6370 パンサー-G w/スチールホイール

¥3,990 (本体価格¥3,500)

新金型追加 1:35



ファーストエイドボックス新金型。Ds素材キャタピラ。エッチングパーツ。カルトグラフィックデカール。他。

2007
NEW
[5~6月発売予定]

7313 M4A3 シャーマン 105mm HVSS

¥1,575 (本体価格¥1,500)



3.7cmPak 新金型。ATガン用ルーフプレート新規。Ds素材キャタピラ。エッチングパーツ。カルトグラフィックデカール。他。

7314 Sd.kfz.251/10 Ausf.C 3.7cm対戦車自走砲

¥1,575 (本体価格¥1,500)



トランスミッションカバー新規。車体上部&下部新金型。ドライバー/ラジオオペレーターハッチ新規。リアストエッジボックス新規。Ds素材T54E-1 HVSSキャタピラ。カルトグラフィックデカール。エッチングパーツ。他多数。

7288 シャーマン Mk.III ¥1,575 (本体価格¥1,500)



コンパートメントドア 開閉選択式。ヘリコプタークルー付属。塗装済みエッチングパーツ。カルトグラフィックデカール。他多数。

3538 UH-1D ヒューイ ¥3,990 (本体価格¥3,500)



塗装済み完成品。ウェザリング塗装済み。プラ製展示ケース入。

60289 Sd.kfz.181 タイガーI ハイブリッド 第506重戦車大隊 アルデンヌ 1944

¥2,415 (本体価格¥2,300)



塗装済み完成品。ウェザリング塗装済み。プラ製展示ケース入。

60292 M4A1 (76) W シャーマン ポーランド第1機甲師団 第2機甲連隊 オランダ 1944

¥2,079 (本体価格¥1,900)



塗装済み完成品。ウェザリング塗装済み。プラ製展示ケース入。

60313 Sd.Kfz.251/7 Ausf.D 装甲工兵車 第19装甲師団 ワルシャワ 1944

¥2,415 (本体価格¥2,300)

● 価格は、標準小売価格です。
● ドラゴンの製品は、輸入品のため発売時期が変更となる場合がございます。

(輸入販売元) 株式会社 ハセガワ 〒425-8711 静岡県 焼津市 八幡 3-1-2 TEL(054) 628-8241 FAX(054) 627-8046

Hobby kits